

# やがて 故郷に 変わる街

鎌ヶ谷

## 令和6年度事務事業評価 簡易評価表（施策順）



# 目 次

政策	施策	頁
保健・福祉	保健・医療の充実	1
	地域福祉の推進	5
	高齢者福祉の推進	7
	障がい者（児）福祉の推進	14
	社会保障制度の充実	17
子育て	子育て環境の充実	38
	保育サービス等の充実	44
教育	学校教育の充実	48
	児童・生徒の健康及び安全等の確保	54
	青少年の健全育成の推進	56
安全	危機管理体制・防災対策の強化	58
	防犯対策の強化	60
	消防・救急・救助体制の充実	61
環境	環境保全の推進	65
	循環型社会の構築	67
	環境衛生の向上	70
都市基盤	良好な居住環境の確保	72
	快適な公園・緑地空間の創出	74
	治水対策の推進	76
	持続可能な下水道事業の推進	78
	安全に利用できる道路環境の充実	79
	魅力ある都市機能の充実	84
産業	持続可能な都市農業の構築	88
	商工業の振興及び観光施策の充実	92
	消費者の安全及び安心の確保	95
生涯学習・文化・スポーツ	生涯学習の推進	96
	芸術文化の振興及び歴史的資源の保存活用	98
	生涯スポーツの振興	100
市民協働・男女共同参画・ 多文化共生	協働及び市民公益活動等の推進	101
	共生社会の実現	103
持続可能な行財政運営	財政の健全化及び行財政改革の推進	105
	公共施設の適正な管理運営の推進	116
	行政情報等の積極的な発信	118

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保健・医療の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：保健衛生事務に要する経費	健康増進課	○		市民が自分に合った適切な医療が受けられるよう、二次救急医療機関運営事業等を実施する。	・国の医療情報ネット（ナビイ）の開始を受け、令和5年度末でちば医療ナビが終了したことから、市のかまがや安心医療ナビを廃止した。 ・予防接種、母子保健分野等において、マイナンバーカードを活用しデジタル化を推進するPMH（パブリックメディカルハブ）事業について、令和8年度から全国運用が開始される予定	31,130	19,615	25,158	1拡大・拡充	地方公共団体情報システムの標準化・共通化の運用が開始されるほか、災害医療体制を拡充して実施していく必要があるため。	・令和7年から運用を開始する国の地方公共団体情報システムの標準化・共通化に併せ、健康管理システムの改修を行う。 ・災害時用医薬品等の備蓄に関する体制整備について、鎌ヶ谷市医師会と業務委託契約を締結し、災害時用医薬品等の購入及びローリング方式による管理を行うとともに、病院前救護所の設置に係る検討を行う。 ・保健師等修学資金貸付制度の運用状況や課題などを検討する。
2	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：健康づくり推進に要する経費	健康増進課	○		食育を含めた健康づくりの第一次予防である健康増進を進めるとともに、疾病の予防を図るため、第3次いきいきプラン健康かまがや21、第3次鎌ヶ谷市食育推進計画を推進する。	新型コロナウイルス感染症拡大や時代の流れにより、働き方やライフスタイルに大きな変化があった。特に、朝食の摂取状況について悪化傾向がみられる。健康寿命の延伸のため、若い世代から正しい生活習慣を選択できるような普及啓発が必要である。	1,480	1,613	2,332	1拡大・拡充	次期計画策定のための市民健康意識調査を実施するため。	家庭における望ましい食習慣の確立や生活リズムのとり方、よく噛んで食べることの大切さを啓発するため、引き続き「早寝早起き朝ごはん食育講演会」を実施し、朝食を食べている人の割合を増やす。また、より効果的な食育につながるよう講演内容を見直す。
3	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	健康増進課			新型コロナウイルスワクチンの住民接種に係る接種体制を構築し、予防接種法に基づく臨時接種として実施する。	・令和6年度から新型コロナウイルスワクチンが新たに定期接種化される。 ・令和6年度は臨時接種から定期接種への移行期となることから、市民への情報発信を丁寧に行う必要がある。	1,354,170	957,131	0	1拡大・拡充	国の助成金の動向により、令和7年度の自己負担額の検討が必要になる可能性があるため。	・近隣市の動向や市医師会及び市内医療機関との調整結果を踏まえ、自己負担額等を決定する。 ・予防接種委託料等の必要経費を補正予算に計上し、65歳以上の高齢者等が秋冬に1回接種できる体制を整備する。
4	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：健康管理事務に要する経費	健康増進課			円滑な事業展開のために必要な専門職を会計年度任用職員として配置し、母子保健・成人保健・精神保健・歯科保健事業を実施する。	事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図るとともに、市民の健康増進を図るため、時代の状況に応じた事業内容の見直しと改善が必要である。	11,018	7,310	12,296	1拡大・拡充	5歳児健康診査導入を検討中のため。	人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供し、見直しが必要な事業は改善案を決定する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保健・医療の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：歯科保健に要する経費	健康増進課			市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。	子どものむし歯は減少したが、子どもの歯肉炎や、成人の進行した歯周炎を持つ者の割合は依然高いことが課題である。	3,346	3,055	4,668	1拡大・拡充	若い世代からの歯周病予防を推進するため、歯周病検診での歯面清掃追加や、国の新マニュアルに対応するシステム改修を行うため。	若い世代からの受診率向上に向け、市公式SNSを利用した受診勧奨の実施や、令和7年度歯周病検診の内容変更に向け、関係機関との調整を行う。
6	会計名：国保 款項目：5-1-1 事業名：特定健康診査等に要する経費	保険年金課	○		年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨を行う。	令和3年度法定報告では、コロナ禍において、特定健診受診率36.7%と県平均を0.1%上回った。生活習慣病に起因する医療費は、医科医療費の約4割を占めており、発症予防と重症化予防が求められている。	71,505	68,056	78,754	2精査・検証	被保険者数は減少傾向であるが、高齢化が進行し、1人当たり医療費は増加している。生活習慣病重症化予防のため、受診率向上を目指し、効果的な事業の精査が必要。	国手引きの見直しにより検査項目等が変更になるため医師会説明会を実施し、健診勧奨の協力を依頼する。未受診者にA1勧奨はがきの送付を行い受診率の向上を図る。
7	会計名：国保 款項目：5-2-1 事業名：疾病予防に要する経費	保険年金課			人間ドック等助成事業や糖尿病性腎症重症化予防事業等により、生活習慣病の重症化予防等を実施する。	重症化予防事業について、より疾病リスクが高い健康無関心層の人等が利用につながるよう支援が必要である。	11,409	10,573	13,144	2精査・検証	1人あたり保険給付費は増加しており、生活習慣病重症化予防のため、随時、事業を検証していく必要がある。	糖尿病性腎症重症化予防のため、保健指導の実施の他、最新の医療情報を学べる場機会としてセミナーを開催する。また適正服薬方法普及の推進のためセミナーを開催し、被保険者のセルフケアを支援する。
8	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：各種健（検）診に要する経費	健康増進課	○		がん疾患等の早期発見、早期治療を促進し、市民の健康保持と増進を図るために各種健（検）診を行う。	・新型コロナウイルスが5類感染症になったことから、通常の検診体制への円滑な移行が求められる。 ・HPV検査単独法に係る公的検査導入の課題を整理する必要がある。	104,583	92,321	100,481	2精査・検証	がん検診の体制整備として、子宮がん集団検診等を継続して実施していくとともに、今後のがん検診事業の方向性を精査・検証する必要があるため。	・HPV検査単独法に係る公的検査導入の課題を整理する。 ・今後のがん検診事業の方向性を検討する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保健・医療の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：予防接種に要する経費	健康増進課	○		感染症の発生及びまん延を防止するため、感染防止対策を講じるとともに予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る。	・五種混合ワクチン、15歳小児用肺炎球菌ワクチン、新型コロナウイルスワクチンが新たに定期接種化される。 ・予防接種による健康被害救済制度に係る事務を遅滞なく行う必要がある。	284,790	299,476	360,176	2精査・検証	新型コロナウイルスワクチンが定期接種化されることなどから、予防接種委託料の精査・検証が必要であるため。	・HPVワクチンのキャッチアップ接種及び風しんの追加的対策が最終年度となるため、希望する方が接種・受検できるよう再勧奨を行う。 ・新たに定期接種化される五種混合ワクチンの接種体制を整備する。 ・高齢者肺炎球菌ワクチンについて、次年度以降の方針を検討する。
10	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：胃内視鏡検査（胃がん検診）事業	健康増進課	○	○	50歳以上の胃がん検診の検査項目について、集団検診の胃部エックス線検査に加えて、医療機関による胃内視鏡検査（2年に1回）を導入する。	・国等の指針やガイドライン等の一部改正において、任意型から対策型の検診になったことから、令和5年度から胃がん検診の検査項目に胃内視鏡検査を追加した。 ・精度管理の一環として、担当医を対象にした6か月に1度の画像評価及び定期的な研修会を開催する必要がある。	0	26,088	35,829	2精査・検証	検診精度の向上のため、絶えず担当医と協議し、事業の精査・検証をしていく必要があるため。	精度管理の一環として実施している担当医を対象とした研修会の内容について、担当医と協議し、決定する。
11	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：成人保健に要する経費	健康増進課			40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。	参加者や健康教育等の相談者が70代の高齢者に多く、若い世代への働きかけが難しいことが課題である。	1,801	1,450	1,989	2精査・検証	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の一環として、通い場等でのポピュレーションアプローチ等の実施場所の検討が必要であるため。	引き続き、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の一環として、通い場等でのポピュレーションアプローチ等を関係課と連携し実施する。
12	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：精神保健に要する経費	健康増進課	○		市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいように、講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施する。また、精神疾患の予防を図ることで、精神障がい者が地域で生活しやすくなるよう支援する。	精神疾患を理解し、市民・関係機関と協働し地域で支えていく必要がある。	690	694	743	2精査・検証	誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要であり、併せて自殺対策を精査・検証しながら進める必要があるため。	精神保健学習会や、全中学校を対象にした「SOSの出し方に関する教育」、「ゲートキーパー養成教育」等の自殺対策を継続実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保健・医療の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：フッ化物洗口に要する経費	健康増進課			保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。	洗口が全小学校全学年で円滑に継続実施できるようにするため、関係者と協働で行う必要がある	2,463	2,954	4,229	2精査・検証	子どものむし歯予防は、歯科医療費の抑制につながり、有効性が高い。今後も園医・学校医の協力を得て、継続的に事業を進める必要があるため。	小学校2～6年生については、学校と実施時期を調整のうえ継続実施、小学校1年生については、教育と洗口指導後、フッ化物洗口を週に1回実施する。

令和6年度 鎌倉谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 地域福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		地域において、地域住民の立場にたって相談に応じている民生委員・児童委員及び主任児童委員の相談活動等を支援する。	地域の担い手である民生委員について、定数に達していない状況にある。 また、民生委員の活動しやすい環境を整備するとともに、地域の福祉ニーズに対応するため、質の向上を図っていく必要がある。	7,569	7,537	7,951	1拡大・拡充	民生委員・児童委員の欠員が生じているエリアが発生しており、引き続き欠員解消に向けた取組みと質の向上を図る必要がある。	令和7年度に予定されている一斉改選に向け、推薦会地区準備会の立ち上げなどを行う。 また、欠員がある地区については、民生委員や自治会と連携を図り、欠員補充に努めていく。
2	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：地域福祉に要する経費	社会福祉課	○		地域福祉の推進を図るため、地域福祉計画策定・推進委員会において、地域福祉計画の進捗状況や施策等を審議するほか、避難行動要支援者の名簿作成など、地域福祉に関する各種業務を行う。	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、地域で支え合う取り組みを推進する必要がある。	3,898	3,052	3,696	1拡大・拡充	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、関係機関と連携を図り、各施策を総合的に推進していく必要がある。	地域福祉計画に掲げる施策を推進していくため、関係機関が情報共有や連携を図ることができる仕組みを構築し、総合的な推進をしていく。
221	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		社会福祉の向上を図るため、社会福祉協議会への助成、福祉健康フェア、社会福祉法人等の監査などを実施している。	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、ボランティアの育成や市民に対する意識啓発などを図っていく必要がある。	201,806	168,793	63,386	2精査・検証	福祉ニーズが複雑化している状況の中、ボランティアの育成方法の検討や市民に対する意識啓発を図っていく必要がある。	社会福祉協議会への活動に対して、助成を行うとともに連携を図り、福祉ニーズの対応やボランティアの育成を図っていく。 また、福祉健康フェアの実施方法について参加団体の意向などを踏まえ、実施方法の見直しを検討していく。
222	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			先の大戦で犠牲になられた方々に哀悼の誠をささげ、恒久平和を願い、毎年1回戦没者追悼式を実施する。	参列する遺族の高齢化等を踏まえ、実施方法について検討していく必要がある。	613	600	625	2精査・検証	参列する遺族の高齢化等を踏まえ、実施方法について検討していく必要がある。	実施規模などを検証しながら、追悼式を実施する方向で検討する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 地域福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
224	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：生活困窮者自立支援事業に要 する経費	社会福祉 課	○		生活困窮者の自立支援を図るため、 生活困窮者相談支援事業、住居確保 給付金の支給、就労準備支援事業、 家計改善支援事業の実施する。	福祉に対するニーズは多様化・複雑 化しており、相談窓口の利用促進や 関係機関と連携を図り、横断的な支 援体制を図っていく必要がある。	19,958	17,564	8,157	2精査・検証	生活困窮者に対して、制度の利用促 進を図るために周知を図るととも に、関係機関と連携を図り、横断的 な支援をしていく必要がある。	生活困窮者向けのチラシの作成を行 い、制度の更なる周知を図り、また 相談員の質の向上を図り、支援体制 を強化するために関係機関と連携す る。
226	会計名：一般 款項目：3-1-2 事業名：総合福祉保健センターの管理 に要する経費	社会福祉 課			総合福祉保健センターの安全な利用 を確保するため、施設の維持管理、 補修等を実施する。	総合福祉保健センターは高齢者、障 がい者、子育て家庭などが利用する ことから、施設の状況を把握し、安 全管理に務める必要がある。	47,381	40,778	50,818	2精査・検証	施設の状態を把握するため、点検等 を行い、その結果に基づき適正に改 修などを行う必要がある。	利用者の安全性や利便性の向上を図 るため、老朽化した備品を更新する とともに、施設点検や必要な補修を していく。
227	会計名：一般 款項目：3-1-2 事業名：総合福祉保健センター改修事 業	社会福祉 課	○	○	総合福祉保健センターの長寿命化と 利用者の安全を確保するため、設備 等の改修を行うものである。	鎌ヶ谷市公共施設等総合管理計画に 基づき、総合福祉保健センターの長 寿命化及び利用者の安全確保を図る ため、計画的な改修を行う必要があ る。	1,866	61,874	4,903	2精査・検証	令和5年度はエレベーター改修工 事、非常放送設備改修工事を実施し た。 また、令和6年度は脱炭素化を図る ため、照明器具をLEDへの改修を 計画的に進める必要がある。	総合福祉保健センターLED照明改 修のため、設計委託を行い、令和7 年度工事実施に向けて予算の積算を 行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-1-3 事業名：社会福祉センターの管理運営に要する経費	高齢者支援課			市民相互の交流の増大及び地域の連帯の強化を図ることにより、市民福祉の増進に資することを目的として、社会福祉センターの管理運営を指定管理者制度により推進するもの。	新型コロナウイルス感染症により利用者数が減少傾向にあったが、令和5年度から利用者数が増加に転じている。利用者数の増加に繋げるための事業や環境改善を図る必要がある。	22,044	21,796	24,518	1拡大・拡充	新型コロナウイルス感染症に伴う利用制限が解除されたことから、利用者数が増加しており、利用者アンケートを基に、老朽化している設備について、引き続き改善していくため。	令和6年度については、電気陶芸窯1基を更新するとともに、施設利用者の増加を図るため、利用者アンケート等に基づき、施設の環境改善を行う。
2	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者生きがい対策に要する経費	高齢者支援課	○		高齢者の健康増進や交流の場づくりの推進を図るため、敬老事業、老人憩の家設置、老人クラブの支援、はり・きゅう・マッサージ等費用助成を実施するもの。	高齢化の進展に伴い、敬老事業の対象者（75歳以上）が年々増加している。また、老人クラブでは、会員の高齢化により、役員の成り手が不足し、クラブ数が減少している。	32,204	35,729	38,457	1拡大・拡充	高齢化の進展に伴う老人クラブの解散に対応するため、老人クラブの機能の自治会編入による補助額の増加が見込まれるとともに、その他事業の継続的な実施が必要なため。	令和6年度については、老人クラブの機能の自治会編入に対応するため、交付基準の改正を行うとともに、敬老事業や老人憩の家の設置等に要する経費を支援する。
3	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護保険運営推進事業に要する経費	高齢者支援課			介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護保険運営及びサービス推進協議会」による事業運営に係る審議等を行う。また、介護サービス事業を実施する事業者を選定する委員会を開催する。 令和5年度は第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を委託し作成した。	高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向にあり、サービス内容等の見直しや充実強化について、議論を重ねる必要がある。	6,995	4,143	116	1拡大・拡充	介護保険事業の円滑な運営を検証する基本的な事業であり、絶えず検証を要する。 3年毎の計画であり、計画作成年度は予算化する委託等はなく、2年目にアンケート調査委託、3年目に計画作成委託を予算化しているが、令和7年度は計画策定2年目に当たるため。	介護保険運営及びサービス推進協議会において、介護にかかわる広範囲な意見を、介護保険制度に反映させ制度の円滑な推進を図る。
4	会計名：介護 款項目：2-1-1 事業名：介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課	○		要介護認定者が介護サービスを利用した際に、介護保険制度の定めるところにより、介護サービス給付費を支給するものである。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	6,845,596	7,209,237	7,611,374	1拡大・拡充	介護サービスの提供により、要介護状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう検証を要する。 高齢化の進展による介護保険認定者数・給付受給者数の増加により給付費は増加する見込である。	高齢者の住まいを整備する住宅改修をはじめとした介護給付は介護保険法に基づき継続して実施する。また、給付費の適正化事業にも努めていく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：介護 款項目：5-1-1 事業名：介護予防・生活支援サービス 事業に要する経費	高齢者支 援課			要支援認定者、事業対象者が総合事 業を利用した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、給付費の増 加見込まれる。	213,801	223,041	268,802	1拡大・拡充	介護サービスの提供により、要支援 状態の維持改善に努め、住み慣れた 地域で自立した生活を送れるよう検 証を要する。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施。
6	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防普及啓発事業に要す る経費	高齢者支 援課			介護予防事業委託費、運動指導講師 報償費等。	高齢者率増加傾向のため健康意識が 高まり介護予防の事業が必要とな る。	718	803	1,492	1拡大・拡充	高齢者率増加傾向のため介護予防の 意識が高まり、専門職が関与した事 業の必要性が大きい。	委託等により介護予防講座を開催 し、参加者の増加を図る。
7	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者在宅福祉に要する経費	高齢者支 援課	○		在宅の高齢者や介護者の負担を軽 減するため、補聴器の購入、紙おむ つの給付、緊急通報システムの設 置、寝具乾燥等サービス、住宅改修 費の助成等を実施するもの。	高齢化の進展に伴い、各種サービ スの利用者数は年々増加していく傾 向にある。介護が必要になっても、 引き続き在宅での生活が継続でき るよう、制度の周知を図る必要があ る。	24,152	23,568	23,112	2精査・検証	在宅福祉に関するニーズと展開する 各種サービスの現状を調査し、必要 なサービスを提供していくため。	各種サービスを必要とする方に適切 にサービスを提供するとともに、申 請からサービス提供までの期間を短 くできるよう事務の効率化等を図 る。
8	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護事業者の助成に要する経 費	高齢者支 援課			令和5年度は「電力・ガス・食料品 等価格高騰重点支援地方交付金」を 活用し、市内の介護事業所等に対し て、支援金を交付した。	例年は介護施設等の新設に対する助 成又は社会福祉法人の利用料減免に 対する助成であり、高齢化による要 介護認定者・サービス受給者の増加 に伴い、低所得者に対する利用料の 減免も増加が予想される。	48,800	18,151	1	2精査・検証	対象事業者の把握について検証を要 する。	制度に基づき、継続して実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者の施設措置に要する経費	高齢者支援課			養護老人ホームへの入所措置費。	高齢化に伴い対象者が増加傾向にある。	23,125	21,113	27,334	2精査・検証	対象者の状態や緊急性の判断に基づき、他の介護サービスを利用する等の対応ができないか等を精査する必要がある。	介護保険制度など他事業の活用を絶えず検証する。
10	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：老人福祉施設の助成に要する経費	高齢者支援課			施設整備に必要な費用で、福祉医療機構から借り入れた資金及び元金について、補助を行うもの。	本助成は、補助対象法人の安定的な運営に必要不可欠であり、今後も償還計画に基づき、補助していく必要がある。	2,159	2,115	2,091	2精査・検証	毎年度の事業計画や実績報告を踏まえ、法人の運営状況等を把握していく。	安定的な法人の運営を目指し、補助額を精査し、交付していく。
11	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：福祉有償運送の事務に要する経費	高齢者支援課	○		営利を目的としない法人（NPO法人等）により行われるボランティア輸送で、公共交通機関の利用が困難な者を対象に行う福祉有償運送事業について、その実施事業者の運営状況等を審議するもの。	鎌ヶ谷市を区域として運営している福祉有償運送事業者は2社あるが、構成員の高齢化等が課題となっている。	0	27	41	2精査・検証	利用する会員は少ないものの、外出の支援を望む意見もあることから、引き続き事業が継続できるよう、協議体制を整えるため。	新規で事業を実施する団体の登録を目指し、相談や制度の周知を図っていく。
12	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：シルバー人材センターに要する経費	高齢者支援課			高齢者の社会参加を促進するため、シルバー人材センターへ補助金を支出し、就労しやすい環境づくりを推進するもの。	雇用年齢の延長や高齢者の意識の変化により、シルバー人材センターの会員の平均年齢が上昇している。	16,110	16,110	16,110	2精査・検証	昨年度の実績や活動状況を踏まえ、補助額を精査検証していく。	高齢者の就労支援として、今後も就労の多様化に向け、職種の開拓や新たな就労形態への働きかけを行うなど、シルバー人材センターの活動を支援していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：介護 款項目：4-1-1 事業名：予防事業に要する経費	高齢者支 援課			閉じこもり防止により、要介護状態 への軽減を図る。	事業を担う推進員や参加者の高齢化 に伴う減少がある。	4,076	4,426	6,421	2精査・検証	参加者が安全に人との関わり合いを 通して生き生きとした活動ができる よう検証する。	新たに談話室事業を担う推進員や各 事業に参加する人を増やす。
14	会計名：介護 款項目：5-3-1 事業名：包括的支援事業に要する経費	高齢者支 援課	○		介護予防ケアマネジメント、総合相 談、権利擁護ケアマネジメントを包 括的に行う。	高齢化に伴い相談件数が増加すると ともに、介護する人がいない方の金 銭面を含めた介護や生活の相談、老 老介護や高齢者虐待の疑いなど、相 談内容も複雑化してきている。	106,498	115,752	115,524	2精査・検証	相談件数等が増加しているため絶え ず検証する。相談内容の複雑化にお いて基幹型地域包括支援センター、3 包括の活動を絶えず検証していく。	基幹型包括支援センターの設置後、 各包括支援センターの後方支援や質 の向上に取り組む。また、各地域包 括支援センターの役割を整理し、令 和8年度のセンター増設に向けた体 制を整備する。
15	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：家族等支援事業に要する経費	高齢者支 援課			高齢者本人並びに家族等の身体的、 精神的負担の軽減を図ることを目的 とした事業（徘徊高齢者位置情報提 供サービス、見守りシールの提供 等）。	サービス利用者が少ない。	776	594	1,514	2精査・検証	利用者の増減について絶えず検証す る必要があるため。	各事業の普及及び必要と思われる対 象者の発掘。
16	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：成年後見人制度利用支援事業 に要する経費	高齢者支 援課			市長申立て事務、後見人報酬助成、 市民後見人養成研修委託費等、後見 制度の利用促進に伴う事務費や助 成。	後見制度が周知されていない。	3,556	3,933	5,164	2精査・検証	市長申立ての必要性に関して、対象 者ごとの精査・検証が必要。	他課、他機関と連携し、後見制度の 利用促進をしつつも、対象者ごとに 事業利用の必要性を確認する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：福祉用具・住宅改修支援事業 に要する経費	高齢者支 援課	○		介護給付を受けていない虚弱の高齢者に対し、住宅改修について専門職が助言や指導を行うとともに、手すりの設置費用の助成を行う。	介護保険給付の住宅改修とすみ分けを図り、介護認定を受けていない虚弱な高齢者を対象としている。認知度が低いことや事業の対象者数が少ないことなどから利用数は少ないが、今後、高齢化に伴い、利用が増加すると思われる。	45	39	181	2精査・検証	介護給付を受けていない方を対象とするため、制度として継続は必要であるが、広く周知するため、その新たな方法の開拓が課題。また、住宅改修の内容等について継続して検討する。	必要な方が利用につながるよう、継続して事業の周知を図る。
18	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：地域自立生活支援事業に要する経費	高齢者支 援課			在宅1人暮らし高齢者等に対して栄養相談における管理栄養士によるアセスメント結果に基づいて配食サービスを提供することにより、在宅生活が維持できるよう支援する。	高齢化に伴い、給付増加が見込まれる。	2,705	2,830	5,074	2精査・検証	既存の組織等を活用しながら、地域に不足するサービスの検証を行う必要があるため。	今後も継続して事業を実施する。
19	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：認知症総合支援事業に要する経費	高齢者支 援課	○		認知症について理解を深め、認知症の方、またその家族が住みやすい地域づくりを目指す事業（認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、認知症推進員、認知症サポーター養成講座等）。	認知症患者は増加しているが、認知症対策の各事業は認知度が低いことが課題。認知症施策推進大綱に基づく国の指針等が未発出のため、国等の動向を注視し、指針等に沿った事業を展開する。	4,252	3,856	6,105	2精査・検証	認知症施策に対する国の指針の発出に沿って、事業を展開する必要があるため。また、効果的な認知症対策事業を行うため、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、内容や対象、時期等の検証が必要のため。	認知症への理解を深めるため、サポーター養成講座の受講者数を増加させる。認知症対策事業の周知方法を見直し、更なる利用者の増加を図る。関係機関と連携し、事例の共有などを定期的に行い、相談事業の質の向上を図る。
20	会計名：介護 款項目：5-3-3 事業名：在宅医療・介護連携推進事業 に要する経費	高齢者支 援課			相談窓口の運営、多職種の講演会・研修を実施。	研修会を実施することで連携、支援体制を強化していく必要がある。	4,222	4,115	4,486	2精査・検証	相談窓口の運営方法、研修結果について絶えず検証する。	相談窓口機能の強化、多職種のネットワークの構築を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：介護 款項目：5-3-4 事業名：生活支援体制整備事業に要する経費	高齢者支援課			地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築。	地域での問題解決能力を高めていく。	9,190	9,190	9,206	2精査・検証	地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築を検証し、次年度に活かしていく。	第2層協議体の活動を地域に周るとともに円滑に運営できるよう支援する。生活援助従事者研修を行い、その担い手を増やす。
22	会計名：介護 款項目：5-3-5 事業名：地域ケア会議推進事業に要する経費	高齢者支援課			地域包括ケアシステム構築のための有効な手法である地域ケア会議を開催する際の専門職報償費。	地域課題を把握するためには、事例を積み重ねる必要があるが、会議の開催回数が少ない。	13	26	98	2精査・検証	専門職から助言をいただくことの効果を精査・検証を要する。	会議開催回数を2回に増やし、課題に対する取組みを報告・協議することで、会議をさらに充実させる。
23	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防普及啓発事業に要する経費	健康増進課			介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに、講座参加者から健康づくりボランティアを育成し、介護予防活動の推進を図る。	ボランティアを育成し、活動が継続・活性化するように支援、協働していく必要がある。	291	335	1,138	2精査・検証	介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられており、事業内容等を継続的に検討していく必要があるため。	健康づくりボランティア定例会を定期的に実施し、活動を継続実施する。フレイル予防の健康教育を実施する。
24	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：四市複合事務組合負担金に要する経費	高齢者支援課			船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市の四市で構成する事務組合（四市複合事務組合）が管理する特別養護老人ホーム三山園の運営に対する負担金を交付するもの。	四市複合事務組合特別養護老人ホーム三山園の今後のあり方に関する基本方針に基づき、令和7年4月1日から民間移譲することが決定しているため、移譲に伴う対応を行う必要がある。	20,892	29,493	58,204	3縮小・統合	令和7年4月1日から民間移譲することに伴い、残務整理等による一部負担金は残るものの、運営に要する負担金は減少する見込みであるため。	令和7年4月1日から民間移譲することに伴う対応を行うとともに、令和6年度分の負担金を支出する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 高齢者福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
25	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者等への検査助成に要する経費	高齢者支援課			安全で安心して過ごせる介護施設の実現のため、市内在住で市内介護施設等に入所している65歳以上の高齢者に対し、PCR検査を実施する。	令和5年5月8日から5類相当に移行し、令和5年度中の申請件数は0件だった。	5,684	0	0	4終了・廃止・休止	令和5年5月8日から5類相当に移行し、ワクチン接種・感染の状況や申請状況により、令和5年度末で終了することとした。	令和5年度末で終了

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 障がい者（児）福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：障がい者支援事務に要する経費	障がい福祉課	○		障がい者（児）への支援等を適切に実施するため、生活状況や障害者手帳、障害福祉サービス、自立支援医療等の関連する情報をシステムで管理し、併せて事務の効率化を図る。また、障がい福祉計画及び障害児福祉計画を策定したので、見込み量の検証を行う。	令和7年度末までに現行のシステムを標準準拠システムに移行させるため、データ移行やサーバの準備、システムの構築等が必要になる。	15,106	22,469	18,558	1拡大・拡充	データの移行、新たなサーバーの準備、システム構築等に係る費用が必要となるため。	標準準拠システムへの移行に向けてシステムの構築を行う。障害福祉サービス等の種類ごとに必要なサービス量の見込みを示す障がい福祉計画・障がい児福祉計画に基づき、進行管理を行う。
2	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者の支援に要する経費	障がい福祉課			医療費や交通費の助成、グループホームの家賃補助等、負担の軽減や日常生活の便宜を図ることにより、障がい者（児）の地域生活を支援する。	介護を担う家族の高齢化や親亡き後の生活を考えて、グループホームの利用が増加している。	214,618	230,103	247,372	1拡大・拡充	高齢化に伴い、グループホームで生活をする障がい者が年々増加しており、それに伴い家賃補助や運営費補助も増加するため。	各種補助金及び助成金を適正に支給する。
3	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい支援区分認定調査に要する経費	障がい福祉課			障害支援区分の審査に必要な認定調査を行う。	障害福祉サービスの利用者の増加に伴い、認定調査の対象者も増加傾向にある。	921	1,416	1,656	1拡大・拡充	障害福祉サービスを利用するために必要な調査であり、継続して実施する必要があるため。	ケースワーカーがケースワークに注力できるよう、業務の負担を軽減するため、認定調査に係る事務の委託化を導入した。
4	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：自立支援給付事業に要する経費	障がい福祉課	○		障害者（児）が安心して自立した地域生活を営むことができるように、障がいの程度や生活状況等を踏まえ、障害福祉サービスや自立支援医療等の決定や給付を行う。	障害福祉サービスの利用が増加しており、これに伴い扶助費も増加している。相談体制が強化されたことから、障害福祉サービスの利用者が大幅に増加している。	2,484,315	2,820,794	3,089,483	1拡大・拡充	障害福祉サービスは、障がい者（児）が地域で、できるだけ自立した生活を送るためには欠かせないものであるとともに、利用者が増加しているため。	相談支援専門員やサービス事業所等の関係機関と情報共有など連携を強化し、障がい者の状況に応じた適切な支援を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 障がい者（児）福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：地域生活支援事業に要する経費	障がい福祉課		○	障害者（児）が安心して自立した地域生活を営むことができるように、地域の特性や利用者の状況等に応じたサービスや給付を行う。	市の相談業務の中核をなす期間相談支援センターでの相談件数の増加や、移動支援サービスの対象者拡大、福祉タクシー券の発行など事業費が拡大傾向となっている。	106,364	109,441	126,633	1拡大・拡充	今後も引き続き日常生活用具給付費の増加、移動支援サービスの対象者拡大や報酬単価の見直しなどを行うため。	ニーズの多様化に対応するため、既存のサービスの見直しや新たなサービスの検討を行う。
6	会計名：一般 款項目：3-1-3 事業名：福祉作業所の管理運営に要する経費	障がい福祉課			鎌ヶ谷市社会福祉協議会に指定管理により運営を委託し、利用者に障害福祉サービス（生活介護・就労継続支援B型）を提供する。	利用者及び介護を担っている家族が高齢化している。新たに利用者を増やす必要がある。	260	700	677	2精査・検証	障がい者の社会的自立を支援するため、継続して障害福祉サービスを提供する必要があるため。	利用者が安全に安心して利用できるよう、指定管理者である社会福祉協議会と情報共有及び連携の強化を図る。
7	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者介護給付費等審査会に要する経費	障がい福祉課			障害福祉サービスを利用するために必要となる「障害支援区分」を、月1～2回行う審査会で審査する。	障害福祉サービスの利用者の増加に伴い、審査件数が増加傾向にある。	2,136	2,143	2,236	2精査・検証	障害福祉サービスを利用するために必要な手続きであり、継続して実施する必要があるため。	審査会資料を1週間前に送付し、委員に事前に見てもらおうことで、当日の運営を効率的に行う。
8	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：五市共同知的障害者更生施設に要する経費	障がい福祉課			五市（市川市、松戸市、習志野市、浦安市、鎌ヶ谷市）が共同で設立した障害者支援施設等の運営に係る負担金を支出する。	もくせい園など五市共同施設の老朽化の問題がある中、長期的に安定した運営を行う必要がある。	32,182	32,182	32,183	2精査・検証	当該法人は、市内で唯一の入所施設を運営しており、施設の運営が継続できるよう、運営費や今後必要となる大規模修繕等の経費の負担について各市の負担金を増額させる必要があるため。	安定した運営が継続できるよう、五市負担金（法人運営経費）のあり方について、五市課長会議等で協議を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 障がい者（児）福祉の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：小規模作業所等の支援に要する経費	障がい福祉課			創作活動や生産活動の機会や社会との交流の場等を提供する団体に対して補助金を交付する。	利用者数は、ほぼ横ばいであるが、障がい者の地域や社会との交流の場を確保するため、運営を支援する必要があるため。	12,872	11,290	14,420	2精査・検証	障害福祉サービスの利用が難しい障がい者等が日中を過ごしたり、他者と交流したりする場として必要な施設であり、引き続き運営に対し支援が必要のため。	引き続き補助金を交付するとともに、地域生活支援センターに関する情報を提供し、利用の拡大を図る。
10	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者の手当の支給に要する経費	障がい福祉課			障がい者（児）に対して、国の手当や市の手当の支給を行う。	支給対象者が多く、異動もあることから、正確な事務処理が求められる。	122,536	122,552	136,610	2精査・検証	法令に基づく手当であり、継続して支給を行う必要があるため。	正確かつ効率的な事務処理が求められるため、適宜事務の見直しを行う。
11	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者福祉施設等の助成に要する経費	障がい福祉課			施設整備補助事業の支援のため、償還金の一部を助成する。	対象は2件のみとなっている。	10,192	4,114	813	2精査・検証	対象の2件の内、1件については5年度で償還が終了した。	借入金の返済状況等を正確に把握し、適切な助成を行う。
12	会計名：一般 款項目：3-1-5 事業名：身体障がい者福祉センターの運営に要する経費	障がい福祉課			身体障がい者の創作活動及び教養の向上に関すること、また、身体障がい者の社会との交流の促進に関することを実施する。	受講者の高齢化によるADLの低下がみられることが多くなり、参加者の減少に繋がっている。引き続き若年障がい者の参加を促す環境を整えていく必要がある。	8,000	8,391	10,341	2精査・検証	新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しつつ対面方式での講座を継続した。また、若年受講者を増やすため、新たにポッチャ体験講座を実施し、過去に人気のあったゲーム講座を復活させた。少しずつ新たな受講者の獲得に繋がっている。	新規受講者の確保策として通常行っている講座の他に特別講座を実施し、レクポッチャ、紙バンド工作、音楽会等を企画する。また、人気のあるヨガ講座やゲーム講座の回数を増やす。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者保健事業に要する 経費	保険年金 課			被保険者を対象に、保険者である広 域連合との委託契約に基づき、市が 受託事業として後期高齢者健康診査 等を行う。	被保険者の健康保持増進と健康寿命 の延伸のため、受診率の向上の取り 組みが必要になる。	64,456	64,410	80,136	1拡大・拡充	健康診査は広域連合からの受託事業 であるが、事業手法等は随時、検証 していく必要がある。	広報やポスター、LINE等を活用した 積極的な周知を行い、受診率の向上 を図る。
2	会計名：国保 款項目：2-2-3 事業名：一般被保険者高額介護合算療 養費に要する経費	保険年金 課			被保険者の年間の医療と介護の自己 負担額が高額になった時、申請後、 自己負担限度額を超えた分を償還す る。	高齢化等により、1人あたり高額療 養費は増加しており、医療費水準の 上昇は、翌年度納付金の増加につな がる。	1,101	1,599	1,700	1拡大・拡充	疾病の予防や重症化を防ぐととも に、医療費適正化の周知に取り組ん でいるが、高齢化等に伴い高額介護 合算件数が増加しているため増額と した。	1人あたり高額療養費は増加してお り、医療費適正化に、取り組む必要 がある。
3	会計名：後期 款項目：1-2-1 事業名：後期高齢者医療保険料の徴収 に要する経費	保険年金 課			後期高齢者医療広域連合が決定した 保険料を、被保険者に通知し、徴収 を行う。	特別徴収は、開始まで約半年かか り、非該当の場合、納付書払いとな り納め忘れが発生する場合がある。	16,222	15,787	22,802	1拡大・拡充	広域連合条例に基づき実施してい るが、収納率向上に向け、随時、検証 していく必要がある。	保険料の納付方法に関して、特別徴 収を原則とし、口座振替併用を推進 し、納め忘れ防止に努める。
4	会計名：後期 款項目：3-1-1 事業名：後期高齢者医療保険料還付に 要する経費	保険年金 課			後期高齢者医療保険料の重複納付・ 更正減額等による過誤納金の還付事 務を行う。	所得変更や資格の喪失に伴い発生す るため、適正な資格管理と所得把握 が課題である。	3,083	3,163	3,961	1拡大・拡充	保険料更正後に迅速に事務処理を実 施しているが、業務手法等は随時、 検証していく必要がある。	所得変更や資格の喪失など、迅速か つ的確な事務処理を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護保険運営推進事業に要する経費	高齢者支援課			介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護保険運営及びサービス推進協議会」による事業運営に係る審議等を行う。また、介護サービス事業を実施する事業者を選定する委員会を開催する。 令和5年度は第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を委託し作成した。	高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向にあり、サービス内容等の見直しや充実強化について、議論を重ねる必要がある。	6,995	4,143	116	1拡大・拡充	介護保険事業の円滑な運営を検証する基本的な事業であり、絶えず検証を要する。 3年毎の計画であり、計画作成年度は予算化する委託等はなく、2年目にアンケート調査委託、3年目に計画作成委託を予算化しているが、令和7年度は計画策定2年目に当たるため。	介護保険運営及びサービス推進協議会において、介護にかかわる広範囲な意見を、介護保険制度に反映させ制度の円滑な推進を図る。
6	会計名：介護 款項目：1-1-1 事業名：介護保険事務に要する経費	高齢者支援課			介護保険の事務処理全般にかかる事業経費。	介護保険システム関連経費が大部分を占めており、法改正等の都度改修費用がかかる。 また、介護保険システムの標準化に対応するための経費が必要となる。	44,254	57,351	73,746	1拡大・拡充	介護保険に係る事務処理全般の管理を行っており、事務を適正に進めていく上で検証を要する。 介護保険システムの標準化については、対応するための経費が必要となってくる。	事務経費及びシステム関連経費の削減。 介護保険システムの標準化に向けた検討。
7	会計名：介護 款項目：1-3-1 事業名：介護認定審査会に要する経費	高齢者支援課			介護認定審査会の開催経費。	高齢化に伴い審査会数が増加している。	18,413	21,600	28,154	1拡大・拡充	公平で効率的な審査が出来るよう絶えず検証しているが、審査件数が増加しているため、抜本的なシステムの見直しを検討していく必要がある。	効率的に審査を行うため、審査会のICT化を検討し、必要な予算を計上する。
8	会計名：介護 款項目：1-3-2 事業名：介護認定調査等に要する経費	高齢者支援課			介護認定審査会に提出する書類（医師の意見書、調査資料）の作成費。	高齢化に伴い作成件数が増加している。	28,983	51,079	58,445	1拡大・拡充	効率的に調査資料が作成できるよう絶えず検証しているが、システムの見直しを検討していく必要がある。	効率的に調査を行うため、審査会のICT化に付随し、調査についてもICT化を検討し、必要な予算を計上する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：介護 款項目：2-1-1 事業名：介護サービス給付費に要する 経費	高齢者支 援課		○	要介護認定者が介護サービスを利用 した際に、介護保険制度の定めると ころにより、介護サービス給付費を 支給するものである。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、介護給付の 増加が見込まれる。	6,845,596	7,209,237	7,611,374	1拡大・拡充	介護サービスの提供により、要介護 状態の維持、改善に努め、住み慣れ た地域で自立した生活を送れるよう 検証を要する。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	高齢者の住まいを整備する住宅改修 をはじめとした介護給付は介護保険 法に基づき継続して実施する。ま た、給付費の適正化事業にも努めて いく。
10	会計名：介護 款項目：2-1-3 事業名：地域密着型介護サービス給付 費に要する経費	高齢者支 援課			鎌ヶ谷市在住の要介護認定者が市が 指定した地域密着型サービス事業所 の介護サービスを利用した費用の保 険給付分。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、介護給付の 増加が見込まれる。	630,402	698,607	793,006	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施。 引き続き給付費適正化に努める。
11	会計名：介護 款項目：2-2-1 事業名：介護予防サービス給付費に要 する経費	高齢者支 援課			要支援認定者が介護予防サービス を利用した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービ ス受給者の増加に伴い給付費の増加 が見込まれる。	131,693	142,148	168,253	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施。 引き続き給付費適正化に努める。
12	会計名：介護 款項目：2-2-3 事業名：地域密着型介護予防サービ ス給付費に要する経費	高齢者支 援課			鎌ヶ谷市在住の要支援認定者が市が 指定した事業所の予防サービスを利用 した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービ ス受給者の増加に伴い給付費の増加 が見込まれる。	3,018	2,034	3,814	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施。 引き続き給付費適正化に努める。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：介護 款項目：2-3-1 事業名：審査支払手数料に要する経費	高齢者支 援課			介護サービス等提供事業者からの給 付費請求に係る審査支払事務を国民 健康保険団体連合会に委託している ため、その手数料経費。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、審査支払手 数料も増加するものと思われる。	7,658	8,010	8,804	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
14	会計名：介護 款項目：2-4-1 事業名：高額介護サービス費に要する 経費	高齢者支 援課			被保険者が在宅・施設・地域密着型 サービスを利用した月の利用者負担 額が上限額を超えた場合支給する。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、高額介護 サービス費の増加も見込まれる。	200,776	209,974	234,091	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
15	会計名：介護 款項目：2-4-2 事業名：高額介護予防サービス費に要 する経費	高齢者支 援課			被保険者が在宅・施設・地域密着型 サービスを利用した月の利用者負担 額が上限額を超えた場合支給する。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、高額介護 サービス費の増加も見込まれる。	218	160	415	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
16	会計名：介護 款項目：2-5-1 事業名：高額医療合算介護サービス費 に要する経費	高齢者支 援課			医療及び介護の両制度における自己 負担額の合計額が高額となった場合 に、一定の上限額を超えた分を支給 する。	高齢化に伴い介護・医療とも給付の 増加が見込まれる。	28,449	30,449	33,300	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：介護 款項目：2-6-1 事業名：市特別給付費に要する経費	高齢者支 援課			第1号被保険者の保険料を財源として 要介護者や要支援者に対し、法律で 定められている保険給付以外の鎌ヶ 谷市独自の給付サービス。	高齢化による要介護認定者、サービ ス受給者の増加に伴い、当事業の利 用者も増えていくことが見込まれ る。	3,062	2,545	3,442	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	要望が多かった保険給付外サービス として引き続き事業を実施し、利用 者の日常生活を支援していく。
18	会計名：介護 款項目：2-7-1 事業名：特定入所者介護サービス費に 要する経費	高齢者支 援課			負担限度額認定を受けた要介護被保 険者が介護保険施設へ入所等サービ スを利用した際の食費・居住費（滞 在費）について、基準額と自己負担 の限度額との差額を、国民健康保険 団体連合会を通じて事業者を支払 う。	高齢者の増加に伴い、要介護認定 者、介護サービス利用者も増加して おり、負担限度額認定の対象者数も 増加すると思われる。	187,389	188,032	189,915	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
19	会計名：介護 款項目：2-7-3 事業名：特定入所者介護予防サービ ス費に要する経費	高齢者支 援課			負担限度額認定を受けた要支援被保 険者が短期入所サービスを利用した 際の食費・居住費（滞在費）につい て、基準額と自己負担の限度額との 差額を、国民健康保険団体連合会を 通じて事業者を支払う。	高齢者の増加に伴い、要支援認定 者、支援サービス利用者も増加して おり、負担限度額認定の対象者数も 増加すると思われる。	12	36	107	1拡大・拡充	保険給付内容の精査、検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
20	会計名：介護 款項目：5-1-2 事業名：介護予防ケアマネジメント事 業に要する経費	高齢者支 援課			総合事業利用者の介護予防ケアマネ ジメント費。	高齢化に伴い、給付の増加が見込ま れる。	25,429	26,735	37,703	1拡大・拡充	対象者の把握について検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：介護 款項目：5-4-1 事業名：審査支払手数料に要する経費	高齢者支 援課			サービス費用の請求に対する審査・ 支払いに対しての手数料。	今後、利用者の増加に伴い手数料の 増加が見込まれる。	7,658	8,010	8,804	1拡大・拡充	保険給付内容の精査・検証を要す る。 高齢化の進展による介護保険認定者 数・給付受給者数の増加により給付 費は増加する見込である。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
22	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者医療費負担金に要 する経費	保険年金 課			市は自己負担分を除く医療費のう ち、法定負担分12分の1を、後期 高齢者医療制度の運営を行う広域連 合へ支払う。	被保険者の増加や被保険者一人当た りの医療給付費の増加により市負担 金も増加している。	1,056,265	1,088,980	1,179,702	2精査・検証	法定の負担金であるが、医療給付費 が増加しており、医療費の適正化に 向けて随時、検証していく必要があ る。	被保険者が安心して医療を受けられ るよう、市の法定負担分12分の1 を後期高齢者医療の運営を行う広域 連合へ支払う。
23	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者医療事務費負担金 に要する経費	保険年金 課			千葉県後期高齢者医療広域連合規約 に基づき、制度の運営費として市町 村負担金を納付する。	被保険者の増加に伴い、市負担金 が増加している。	36,839	49,447	59,976	2精査・検証	規約に基づく負担金であるが、運営 費について随時、検証していく必要 がある。	制度の安定的運営のため、広域連合 規約に基づき、均等割・市の人口 割・市の後期高齢者人口割分の負担 金を支払う。
24	会計名：一般 款項目：3-1-7 事業名：国民年金事務に要する経費	保険年金 課			国民年金被保険者の資格異動処理事 務、老齢基礎年金・障害基礎年金等 の裁定請求事務、保険料免除申請事 務及び相談事務等の法定受託事務を 行う。	申請者から提出された被保険者関係 届書や免除申請書等をいかに正確か つ効率的に処理するかが課題であ る。同時に、書類管理の負担軽減及 び窓口の混雑緩和対策のため、ねん きんネットの利用を周知することも 必要であると考えている。	10,217	9,796	17,099	2精査・検証	法定受託事務のため、業務手法等に ついて精査・検証の上、継続するこ とが必要のため。	国民年金の各種手続きに関して、迅 速かつ正確に対応すると同時にマイ ナポータルを利用した電子申請の周 知に努める等日本年金機構と連携 し、年金業務の充実を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
25	会計名：国保 款項目：1-1-1 事業名：資格・給付等に要する経費	保険年金課	○		国民健康保険の資格を管理し、被保険者証の交付、更新を行うとともに被保険者への給付業務を行う。	オンライン資格確認が導入されたことにより、資格重複者に対する資格の適正化が図られてきており、令和6年12月2日には健康保険証の廃止が予定されている。また、令和7年度にシステム標準化を実施する予定である。	50,539	46,723	62,651	2精査・検証	国民健康保険法に基づき実施しているが、業務手法等については、随時、検証していく必要がある。	今後も資格の適正化や、医療費の適正化に向け、周知に努める。また、保険証廃止に伴い資格確認書や資格情報のお知らせを新たに発行する予定。併せて、令和7年度に向けシステム標準化準備を行う。
26	会計名：国保 款項目：1-1-2 事業名：国保連合会等に要する経費	保険年金課			診療報酬審査支払機関の国民健康保険団体連合会に、事務費負担割、均等割、人数割に応じた負担金を支払う。	被保険者の減少に伴い、負担金は減少している。	2,843	2,701	2,631	2精査・検証	負担金については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要がある。	各保険者が共有する事務処理を委託して行うことにより、効率化を図る。
27	会計名：国保 款項目：1-2-1 事業名：国保料（税）の賦課徴収に要する経費	保険年金課	○		国民健康保険条例に基づき、保険料を賦課し、収納管理及び滞納整理を行う。	国民健康保険事業や事業費納付金の財源の安定確保のため、収納率の向上が必要である。 また、令和5年度は一般会計から赤字繰入を実施しており、保険料率の適正化について検討を行う必要がある。	29,705	26,703	29,338	2精査・検証	収納率は向上してきているが、随時、収納方法を増やすなど、検証していく必要がある。	滞納整理を進めるとともに、納め忘れを防止するため、口座振替加入率の向上を図る。保険料額の将来推計等を行い、保険料率の適正化について検討を行う。
28	会計名：国保 款項目：1-3-1 事業名：運営に関する協議会に要する経費	保険年金課			国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、国民健康保険事業の適正化を図る。	運営に関する協議会委員のそれぞれの立場からいただいた意見を集約し、運営に反映している。	48	117	273	2精査・検証	運営に関する協議会は、市町村の必置の機関であるが、その審議内容等は、随時、検証していく必要がある。	被保険者代表として公募委員を募集し、被保険者の立場から意見をいただく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
29	会計名：国保 款項目：2-1-1 事業名：一般被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			被保険者が疾病や負傷等により、受診した場合、医療費の保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に支払う。	高齢化等により、1人あたり療養給付費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	6,074,530	5,926,365	6,196,629	2精査・検証	1人あたり療養給付費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
30	会計名：国保 款項目：2-1-3 事業名：一般被保険者療養費に要する経費	保険年金課			被保険者が柔道整復師の施術、鍼灸等の施術をした場合、その保険者負担分を施術所等へ支払う。	高齢化等により、1人あたり療養給付費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	64,280	59,351	63,001	2精査・検証	1人あたり療養費は増加しており、療養費適正化に、取り組む必要がある。	高齢化等により、1人あたり療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。
31	会計名：国保 款項目：2-1-5 事業名：審査支払手数料に要する経費	保険年金課			国保連合会は医療機関からの診療報酬明細書を審査支払し、その審査手数料を各保険者が支払う。	被保険者数の減少により、審査件数の減少が予想される。	12,722	12,347	12,986	2精査・検証	手数料については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要がある。	診療報酬明細書の審査を強化し、医療費の適正化に取り組む。
32	会計名：国保 款項目：2-2-1 事業名：一般被保険者高額療養費に要する経費	保険年金課			被保険者が同月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。	高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	932,518	929,182	989,308	2精査・検証	1人あたり高額療養費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
33	会計名：国保 款項目：2-3-1 事業名：一般被保険者移送費に要する 経費	保険年金 課			被保険者が負傷、疾病等の治療のため、医師の指示で緊急的な必要で移送された場合に、移送費を支給する。	緊急性が審査されるため、該当となるケースは少ない。	0	70	100	2精査・検証	移送費は該当ケースが少ないため、随時、検証して行く必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
34	会計名：国保 款項目：2-4-1 事業名：出産育児一時金に要する経費	保険年金 課			被保険者が出産した場合に48.8万円を支給する。産科医療保障制度加入機関での出産は、1.2万円を上乗せする。	海外出産等の増加に伴い、年々厳格な審査や調査が求められている。	24,251	30,372	40,017	2精査・検証	被保険者の出産に係る費用の軽減が図られているが、随時、その審査方法等、検証していく必要がある。	安心して出産できるよう、出産育児一時金等の制度について周知に取り組むと共に未申請者には申請を勧奨する。
35	会計名：国保 款項目：2-5-1 事業名：葬祭費に要する経費	保険年金 課			被保険者が死亡した場合に葬祭費用として、喪主に5万円を支給する。	葬祭費の財源は保険料となっており、今後の支給は年間200名前後で推移すると予想される。	9,250	7,000	10,000	2精査・検証	被保険者の葬祭費用の軽減が図られているが、随時、その内容等を検証していく必要がある。	葬祭費の制度について、周知に取り組む。
36	会計名：国保 款項目：3-1-1 事業名：一般被保険者医療給付費分納 付金に要する経費	保険年金 課			国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水準に応じて算出した一般被保険者医療給付費納付金を納める。	激変緩和措置により納付金は減額されていたが、激変緩和措置の適用は終了となった。	1,859,844	1,965,780	1,914,170	2精査・検証	保険給付費はほぼ全額、交付されることとなったが、納付金に必要な保険料率について、検証していく必要がある。	保険料収納率の向上や医療費の適正化により、歳入確保に努める。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
37	会計名：国保 款項目：3-2-1 事業名：一般被保険者後期高齢者支援 金等分納付金に要する経費	保険年金 課			国保財政の運営主体である県が医療 費水準と所得水準で算出した一般被 保険者後期高齢者支援金等納付金を 納める。	激変緩和措置により納付金は減額さ れていたが、激変緩和措置の適用は 終了となった。	687,257	760,550	718,772	2精査・検証	納付金は増額傾向にあるため、納付 に必要な収入を確保する必要がある。 る。	保険料収納率の向上や医療費の適正 化により、歳入確保に努める。
38	会計名：国保 款項目：3-3-1 事業名：介護納付金分納付金に要する 経費	保険年金 課			国保財政の運営主体である県が医療 費水準及び所得水準で算出した一般 被保険者介護納付金分納付金を納め る。	激変緩和措置により納付金は減額さ れていたが、激変緩和措置の適用は 終了となった。	283,730	268,025	247,363	2精査・検証	納付金は増額傾向にあるため、納付 に必要な収入を確保する必要がある。 る。	保険料収納率の向上や医療費の適正 化により、歳入確保に努める。
39	会計名：国保 款項目：7-1-1 事業名：一般被保険者保険料（税）還 付金等に要する経費	保険年金 課			一般被保険者にかかる国民健康保険 料の重複納付・更正減額等による過 誤納金の還付事務を行う。	遡り喪失等を理由とする更正減額に よる還付が多数を占めるため、適正 な資格管理が課題である。	8,069	10,223	15,000	2精査・検証	保険料の適正賦課のため必要不可欠 であるが、適正な資格管理につい て、検証していく必要がある。	喪失手続きの周知・勧奨や、二重納 付防止の対策を講じ、過誤納金の抑 制を図る。
40	会計名：国保 款項目：7-1-2 事業名：退職被保険者等保険料（税） 還付金等に要する経費	保険年金 課			退職被保険者にかかる国民健康保険 料の重複納付・更正減額等による過 誤納金の還付事務を行う。	遡り喪失等を理由とする更正減額に よる還付が多数を占めるため、適正 な資格管理が課題である。	0	0	100	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度終了 した。	退職者医療制度終了により、退職者 医療制度該当者への還付金は減少す る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
41	会計名：国保 款項目：7-1-3 事業名：国民健康保険交付金・負担金 償還金に要する経費	保険年金 課			国や県から支払われる負担金及び交 付金について、過大に交付があった 場合に、翌年度に償還する。	実績報告により、償還額が確定する ため、毎年度、補正予算となる。	1,201	0	1	2精査・検証	前年度の実績報告に伴う返還金であ るが、申請金額について、検証して いく必要がある。	療養給付費等国庫負担金等は、30 年度より県が申請しているため、償 還額は縮小する。
42	会計名：後期 款項目：1-1-1 事業名：後期高齢者の資格・給付に要 する経費	保険年金 課			後期高齢者医療の被保険者証の交 付・高額療養費・療養費・葬祭費等 の申請を受付、広域連合へ送付す る。	被保険者の増加に伴い、給付申請も 増加しているため、迅速に事務処理 を進める必要がある。	5,308	4,386	5,170	2精査・検証	高齢者の医療の確保に関する法律に 基づき実施しているが、業務手法等 は随時、検証していく必要がある。	被保険者が必要な給付を受けられる よう、各種申請、届出の受付及び認 定証等の交付事務を確実にを行う。
43	会計名：後期 款項目：2-1-1 事業名：広域連合納付金に要する経費	保険年金 課			市が徴収した保険料や、保険基盤安 定制度に係る県と市の負担分等を広 域連合へ納付する。	保険基盤安定制度については、被保 険者の増加により予測が困難となっ ている。	1,593,382	1,645,149	1,833,987	2精査・検証	保険基盤安定制度は、広域連合の試 算に基づき予算を組んでいるが、随 時、検証していく必要がある。	定期的な保険料徴収状況の確認を行 うことで適切な保険料納付額を算定 する。
44	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：中国残留邦人等の支援に要す る経費	社会福祉 課			中国残留邦人等の生活の安定を図る ため、世帯の状況に応じて給付を行 う。	支援給付対象者の高齢化など、状況 に変化があるため、変化に対応した 細やかな支援が求められている。	6,025	5,762	10,391	2精査・検証	法定受託事務として実施。対象者が 高齢化しているため、きめ細かな支 援を検討する必要がある。	引き続き支援相談員やケースワ ーカー、その他関係機関などと十分に 連携しながら適切な支援を行って いく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
45	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：生活困窮者自立支援事業に要する経費	社会福祉課	○		生活困窮者の自立支援を図るため、生活困窮者相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施する。	福祉に対するニーズは多様化・複雑化しており、相談窓口の利用促進や関係機関と連携を図り、横断的な支援体制を図っていく必要がある。	19,958	17,564	8,157	2精査・検証	生活困窮者に対して、制度の利用促進を図るために周知を図るとともに、関係機関と連携を図り、横断的な支援をしていく必要がある。	生活困窮者向けのチラシの作成を行い、制度の更なる周知を図り、また相談員の質の向上を図り、支援体制を強化するために関係機関と連携する。
46	会計名：一般 款項目：3-3-1 事業名：生活保護事務に要する経費	社会福祉課	○		生活保護制度の適正な運用を行うため、生活保護システムを利用し、保護費の経理事務を行うとともに、生活に困窮する被保護世帯に対し、生活保護制度により最低限度の生活を保障するとともに、経済的・精神的・社会的自立を図る。	業務内容が複雑化かつ多様化しており、また国の制度改正に合わせて対応する必要があり、時間を要する事務がある。また、令和7年度末までに、生活保護システムの標準化に対応する必要がある。	56,364	196,906	16,975	2精査・検証	法定受託事務として実施。生活保護に係る事務の効率化・迅速化、給付の適正化を図る必要がある。また、被保護世帯に対し、最低限度の生活保障、自立支援をするとともに、適切で効果的な支援について検証を行う必要がある。	生活保護の適正な支給を行うとともに、法改正や基準改定の把握を行い適正に対応していく。
47	会計名：一般 款項目：3-3-2 事業名：生活保護に要する経費	社会福祉課			生活に困窮する被保護世帯に対し、最低限度の生活を保障するため、生活扶助や医療扶助などを支給する。	令和5年度は、昨年度と比較して生活保護の相談及び開始件数は減少したものの、被保護世帯は増加傾向にあり、引き続き適正な支援を行う必要がある。	2,583,468	2,618,175	2,723,000	2精査・検証	被保護世帯に対し、最低限度の生活を保障するため、適切な扶助費の支給を行う必要がある。	被保護世帯に対し、最低限度の生活を保障するため、適切な扶助費の支給を行う。
48	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護サービス利用者負担対策事業に要する経費	高齢者支援課			障害ホームヘルプサービスの利用において定率負担額が0円となっている者が介護保険の適用を受けることとなった場合には、利用者負担を全額免除する。	対象者は限定されるが、高齢化に伴い増加が見込まれる。	0	0	2	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	引き続き低所得者の負担軽減を図り、適切な介護サービスを利用できるようにする。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
49	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護人材確保対策事業に要する経費	高齢者支援課	○		介護サービスに従事する人材の確保、介護サービスの安定的な供給を図るため、特定の研修修了者に対して、資格取得に係った費用の一部を補助する。	介護サービス従事者が不足しており、介護保険利用者の増加と共にサービス不足となることが課題。補助金の活用等を通して人材確保を継続する。なお、千葉県介護人材確保対策事業費補助金の対象であり、県から3/4補助を受けることができる。	527	348	875	2精査・検証	積極的に補助金を活用して研修を受講することが望ましいため、各施設への周知方法について検証が必要である。	介護サービスに従事する人材の確保、介護サービスの安定的な供給を図るため積極的に周知を図る。
50	会計名：介護 款項目：1-2-1 事業名：介護保険料賦課徴収に要する経費	高齢者支援課	○		介護保険電算システムにより介護保険料の賦課・徴収等の処理を行い、出力された帳票をもとに各種事務を行う。	高齢化による被保険者の増加に伴い、介護費用も増加している。安定的な財源確保のため、介護保険料も引き上げとなっており、滞納額の増加要因になりうるが、滞納整理を強化しており、徴収率は90%台後半を維持、過去3年では僅かに上昇している。	18,776	12,187	15,364	2精査・検証	介護保険の安定的な財源確保のための事業であり、保険料の賦課徴収に関しては、介護保険法に基づき適正に実施するため、検証を要する。	介護保険料の収納相談の充実、電子マネー収納及びコンビニ収納の更なる周知により、収納率の向上を図る。
51	会計名：介護 款項目：2-1-2 事業名：特例介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	40	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
52	会計名：介護 款項目：2-1-4 事業名：特例地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	10	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
53	会計名：介護 款項目：2-2-2 事業名：特例介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	20	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
54	会計名：介護 款項目：2-2-4 事業名：特例地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	今まで実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
55	会計名：介護 款項目：2-5-2 事業名：高額医療合算介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた場合支給する。	高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	0	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
56	会計名：介護 款項目：2-7-2 事業名：特例特定入所者介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			低所得の要介護被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護保険施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費（滞在費）について、償還払いで支給する。	今まで実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	20	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
57	会計名：介護 款項目：2-7-4 事業名：特例特定入所者介護予防サ ービス費に要する経費	高齢者支 援課			低所得の要支援被保険者が認定の効 力の生じる日より前に、緊急その他 やむを得ない理由により、介護保険 施設への入所等サービスを利用した 際の食費・居住費（滞在費）につい て、償還払いで支給する。	過去の実績はないが、高齢化による 要支援認定者、サービス受給者の増 加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要す る。	介護保険法に基づき継続して実施す る。
58	会計名：介護 款項目：3-1-1 事業名：財政安定化基金拠出金に要す る経費	高齢者支 援課			介護保険財政の安定化のため、千葉 県に設けられた財政安定化基金に 国、県、市が3分の1ずつ拠出する。	各保険者において適切に給付費等を 見込むことにより、交付・貸付が減 少しており平成21年度以降、拠出金 は0円となっている。	0	0	1	2精査・検証	千葉県を通じて、他市の状況を検証 する必要がある。	介護保険法に基づき適正に事務を進 める。
59	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防把握事業に要する経 費	高齢者支 援課			一般介護予防事業対象者に対する実 態把握に関する経費	実態把握数が少ない。	710	693	1,076	2精査・検証	一般介護予防対象者の増減について 絶えず検証する。	市民へ事業を周知し、把握数の増加 を図る。
60	会計名：介護 款項目：5-3-1 事業名：包括的支援事業に要する経費	高齢者支 援課	○		介護予防ケアマネジメント、総合相 談、権利擁護ケアマネジメントを包 括的に行う。	高齢化に伴い相談件数が増加すると ともに、介護する人がいない方の金 銭面を含めた介護や生活の相談、老 老介護や高齢者虐待の疑いなど、相 談内容も複雑化してきている。	106,498	115,752	115,524	2精査・検証	相談件数等が増加しているため絶え ず検証する。相談内容の複雑化にお いて基幹型地域包括支援センター、3 包括の活動を絶えず検証していく。	基幹型包括支援センターの設置後、 各包括支援センターの後方支援や質 の向上に取り組む。また、各地域包 括支援センターの役割を整理し、令 和8年度のセンター増設に向けた体 制を整備する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
61	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：介護サービス適正化事業に要する経費	高齢者支援課			介護給付を必要とする被保険者に対し、適切にサービス提供を促し、費用の効率化を図る。	給付費が増加しているため精査が必要。	5,743	2,332	2,473	2精査・検証	適正にサービスが提供されているか絶えず検証していく。	介護給付費適正化のためのシステムを利用し、介護給付費の適正化等を進めていく。
62	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：家族等支援事業に要する経費	高齢者支援課			高齢者本人並びに家族等の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とした事業（徘徊高齢者位置情報提供サービス、見守りシールの提供等）。	サービス利用者が少ない。	776	594	1,514	2精査・検証	利用者の増減について絶えず検証する必要があるため。	各事業の普及及び必要と思われる対象者の発掘。
63	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：成年後見人制度利用支援事業に要する経費	高齢者支援課			市長申立て事務、後見人報酬助成、市民後見人養成研修委託費等、後見人制度の利用促進に伴う事務費や助成。	後見制度が周知されていない。	3,556	3,933	5,164	2精査・検証	市長申立ての必要性に関して、対象者ごとの精査・検証が必要。	他課、他機関と連携し、後見人制度の利用促進をしつつも、対象者ごとに事業利用の必要性を確認する。
64	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：福祉用具・住宅改修支援事業に要する経費	高齢者支援課	○		介護給付を受けていない虚弱の高齢者に対し、住宅改修について専門職が助言や指導を行うとともに、手すりの設置費用の助成を行う。	介護保険給付の住宅改修とすみ分けを図り、介護認定を受けていない虚弱な高齢者を対象としている。認知度が低いことや事業の対象者数が少ないことから利用数は少ないが、今後、高齢化に伴い、利用が増加すると思われる。	45	39	181	2精査・検証	介護給付を受けていたい方を対象とするため、制度として継続は必要であるが、広く周知するため、その新たな方法の開拓が課題。また、住宅改修の内容等について継続して検討する。	必要な方が利用につながるよう、継続して事業の周知を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
65	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：地域自立生活支援事業に要する経費	高齢者支援課			在宅1人暮らし高齢者等に対して栄養相談における管理栄養士によるアドバイス結果に基づいて配食サービスを提供することにより、在宅生活が維持できるよう支援する。	高齢化に伴い、給付増加が見込まれる。	2,705	2,830	5,074	2精査・検証	既存の組織等を活用しながら、地域に不足するサービスの検証を行う必要があるため。	今後も継続して事業を実施する。
66	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：認知症総合支援事業に要する経費	高齢者支援課	○		認知症について理解を深め、認知症の方、またその家族が住みやすい地域づくりを目指す事業（認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、認知症推進員、認知症サポーター養成講座等）。	認知症患者は増加しているが、認知症対策の各事業は認知度が低いことが課題。認知症施策推進大綱に基づく国の指針等が未発出のため、国等の動向を注視し、指針等に沿った事業を展開する。	4,252	3,856	6,105	2精査・検証	認知症施策に対する国の指針の発出に沿って、事業を展開する必要があるため。また、効果的な認知症対策事業を行うため、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、内容や対象、時期等の検証が必要なため。	認知症への理解を深めるため、サポーター養成講座の受講者数を増加させる。認知症対策事業の周知方法を見直し、更なる利用者の増加を図る。関係機関と連携し、事例の共有などを定期的に行い、相談事業の質の向上を図る。
67	会計名：介護 款項目：5-3-3 事業名：在宅医療・介護連携推進事業に要する経費	高齢者支援課			相談窓口の運営、多職種の講演会・研修を実施。	研修会を実施することで連携、支援体制を強化していく必要がある。	4,222	4,115	4,486	2精査・検証	相談窓口の運営方法、研修結果について絶えず検証する。	相談窓口機能の強化、多職種のネットワークの構築を図る。
68	会計名：介護 款項目：5-3-5 事業名：地域ケア会議推進事業に要する経費	高齢者支援課			地域包括ケアシステム構築のための有効な手法である地域ケア会議を開催する際の専門職報償費。	地域課題を把握するためには、事例を積み重ねる必要があるが、会議の開催回数が少ない。	13	26	98	2精査・検証	専門職から助言をいただくことの効果を精査・検証を要する。	会議開催回数を2回に増やし、課題に対する取組みを報告・協議することで、会議をさらに充実させる。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
69	会計名：介護 款項目：6-1-1 事業名：介護保険財政調整基金積立金 に要する経費	高齢者支 援課			介護保険事業の財政運営を安定的に行えるよう基金を設置し、事業運営の中で生じる剰余金を当該基金に積み立てる。	介護保険財政が安定的に運営できるよう、剰余金については毎年度積立てを行っている。	31,795	185,904	1	2 精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	計画値と実績値の検証を行い、剰余金の発生を最小限に留める必要があるが、剰余金が発生した場合は財政調整基金に積み立て、介護保険運営に役立てていく。
70	会計名：介護 款項目：7-1-1 事業名：第1号被保険者保険料還付金 に要する経費	高齢者支 援課			過年度分の還付発生者に対し、保険料の還付を行う。	高齢化による被保険者の増加により、還付金発生数の増加も予想される。	2,421	1,763	2,500	2 精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき事業を継続する。
71	会計名：介護 款項目：7-1-2 事業名：国庫支出金等過年度分返還金 に要する経費	高齢者支 援課			前年度の介護給付費に対し、交付を受けた負担金及び交付金に超過交付があった場合に返還する。	過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い交付申請をしたが、決算に伴い返還金が生じたため返還を行った。	51,981	57,108	10,000	2 精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険費用等積算については、計画値と実績値の検証を行い返還金を最小限にしていく。
72	会計名：介護 款項目：7-1-3 事業名：第1号被保険者還付加算金に 要する経費	高齢者支 援課			過誤納となった保険料に対し還付加算金を加えて還付する。	高齢化による被保険者の増加により、還付金発生数の増加も予想される。	0	0	30	2 精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき事業を継続する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
73	会計名：介護 款項目：7-1-4 事業名：高額介護サービス費貸付金に 要する経費	高齢者支 援課			介護サービス費の支払いに困窮する 者に対し、高額介護サービス費の支 給見込額の範囲内で無利子で貸付を 行う。	過去の実績はないが、高齢化による 要介護認定者、サービス受給者の増 加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	10	2精査・検証	対象者の把握について検証を要す る。	介護保険法に基づき、生活困窮者が 安心して介護サービスが利用できる よう、引き続き実施する。
74	会計名：国保 款項目：6-1-1 事業名：国民健康保険財政調整基金積 立金に要する経費	保険年金 課			保険財政の毎年の変動に対応するた め、国民健康保険財政調整基金への 積み立てを行う。	基金の活用により、納付金や繰越金 の変動に対応しており、一般会計か らの法定外繰入金解消につながる。	257,733	62,827	1	3縮小・統合	財政基盤の安定が図られたが、随 時、積立額について精査・検証して いく必要がある。	国民健康保険の財政基盤を安定させ るため、収支状況に応じて適切に積 み立てを行う。
75	会計名：国保 款項目：2-1-2 事業名：退職被保険者等療養給付費に 要する経費	保険年金 課			退職被保険者が疾病や負傷等によ り、受診した場合、医療費の保険者 負担分を国保連合会を通して医療機 関に支払う。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。
76	会計名：国保 款項目：2-1-4 事業名：退職被保険者等療養費に要す る経費	保険年金 課			退職被保険者が柔道整復師の施術、 鍼灸等の施術をした場合、その保険 者負担分を施術所等へ支払う。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
77	会計名：国保 款項目：2-2-2 事業名：退職被保険者等高額療養費に 要する経費	保険年金 課			退職被保険者が、同月内の医療費の 自己負担額が高額になった時、申請 後、自己負担限度額を超えた分を償 還する。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。
78	会計名：国保 款項目：2-2-4 事業名：退職被保険者等高額介護合算 療養費に要する経費	保険年金 課			退職被保険者の年間の医療と介護の 自己負担額が高額になった時、申請 後、自己負担限度額を超えた分を償 還する。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。
79	会計名：国保 款項目：2-3-2 事業名：退職被保険者等移送費に要す る経費	保険年金 課			退職被保険者が負傷、疾病等の治療 のため、医師の指示で緊急的な必要 で移送された場合に、移送費を支給 する。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。
80	会計名：国保 款項目：2-6-1 事業名：傷病手当金に要する経費	保険年金 課			新型コロナウイルス感染症に感染し た人等に対して、労務に服すること ができなかった期間について手当金 を支給する。	令和5年5月8日から新型コロナウ イルス感染症が5類感染症に引き下 げられることに伴い、令和5年度で 制度は終了した。	3,315	86	1	4終了・廃 止・休止	国からの事務連絡に基づき、期間を 延長して実施していたが、令和5年 5月8日から新型コロナウイルス感 染症が5類感染症に引き下げられる ことに伴い、令和5年度で制度は終 了した。	国からの事務連絡に基づき、期間を 延長して実施していたが、令和5年 5月8日から新型コロナウイルス感 染症が5類感染症に引き下げられる ことに伴い、令和5年度で制度は終 了した。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 社会保障制度の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
81	会計名：国保 款項目：3-2-2 事業名：退職被保険者等後期高齢者支 援金等分納付金に要する経費	保険年金 課			国保財政の運営主体である県が医療 費水準と所得水準で算出した一般被 保険者後期高齢者支援金等納付金を 納める。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	6	1	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月に制度が終 了した。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃目と した。
82	会計名：国保 款項目：4-1-1 事業名：退職者医療事務費拠出金に要 する経費	保険年金 課			退職者医療制度該当者を抽出するた め、拠出金を納付し、該当者リスト の提供を受ける。	平成27年4月より新規加入者への適用 ができなくなったため、退職者医療 制度の該当者はいない。	0	0	0	4終了・廃 止・休止	平成27年4月より新規加入者への適用 がなくなり、令和2年3月の制度終了 に向け経過措置中である。	退職者医療制度は令和6年4月に前 倒しで廃止されたことから、廃款と した。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事務 事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：家庭児童相談に要する経費	こども支援課	○		子育てや家族に関する相談、児童虐待の予防、早期発見、支援対象児童への支援を行う。また、鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。	児童虐待への迅速な対応が求められていることから、職員の専門知識や対応技術の向上を図るとともに、関係機関と情報共有等の連携を行いながら、児童虐待等への対応を行う必要がある。	17,299	15,372	13,821	1拡大・拡充	前年度と比べ相談対応件数が微減しているが、ほぼ横ばいの状態である。児童虐待相談対応においては、継続的な対応が必要であり、職員の専門的知識、対応技術の向上が必要である。	多種多様な相談に対し、迅速な対応が求められていることから、職員の専門性や対応技術の向上など人材育成に取り組むとともに、効率的な事業運営を行うため、会議の進行管理や家庭児童相談システムの活用方法を見直す。
2	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子ども医療費助成に要する経費	こども支援課			保護者が負担する子どもの医療に要する費用について、当該費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図る。	令和5年8月診療分からは、高校生等まで年齢を拡大のうえ通院等に係る医療費を助成対象としているが、所得制限撤廃分及び小学校4年生から高校生等までに係る医療費等については市単独事業として助成している。	301,129	382,252	409,099	1拡大・拡充	令和5年8月診療分より、助成対象者を高校生等まで拡大し、同一月に同一の医療機関入院10日、通院5回を超えた場合の受診は無料となる月額上限制度の導入を行った。子育て世代の経済的支援を推進するため、引き続き広く周知を行い、必要な助成を実施していく。	令和5年8月診療分より、助成対象者を高校生等まで拡大し、同一月に同一の医療機関入院10日、通院5回を超えた場合の受診は無料となる月額上限制度の導入を行った。子育て世代の経済的支援を推進するため、引き続き広く周知を行い、必要な助成を実施していく。
3	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：児童手当に要する経費	こども支援課			中学校終了までの児童を養育している保護者に対し、家庭等における生活の安定と児童の健やかな成長のため、児童手当を支給するもの。なお、制度改正により令和6年10月分からは、支給対象児童が高校3年生相当まで拡大する。	令和6年度10月より児童手当法が改正されることから、令和6年度の支給事務に向けた準備を行う必要がある。また、令和6年度1月に実施されるシステム標準化に向けた準備を行う必要がある。	1,471,185	1,409,442	1,773,976	1拡大・拡充	国の制度改正に伴い受給者へ周知するとともに、事務の効率化と適正化を図る必要があるため。	児童手当の制度改正について、広報、ホームページで周知するほか、対象者にチラシを送付することにより案内していく。また、国から事務のガイドラインが示される予定があることから、国の動向を注視し、適正かつ効率的な事務処理の方法を検討していく。
4	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：母子等福祉に要する経費	こども支援課	○		ひとり親家庭等の父母等及び児童に対し、医療費及び調剤費の一部を助成するもの。	令和2年11月診療分から現物給付化を実施したことに伴い、利便性が向上した。引き続き、適正かつ円滑な事務を遂行していく必要がある。	66,693	77,323	64,720	1拡大・拡充	現物給付化が実施され、受給者の利便性が向上したことから、助成額も増加している。また、令和6年11月の児童扶養手当の制度改正に伴い、受給者数が増加する見込である。引き続き市民への周知を行い、適正に事務を遂行していく必要がある。	引き続き、適正な助成事務を遂行するため、制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：児童扶養手当に要する経費	子ども支援課			18歳未満の児童を養育しているひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当を支給するもの。	申請書類等が複雑で、家庭の事情などを踏まえたきめ細やかな対応を行い、適正に事務を遂行していく必要がある。	299,277	300,760	333,426	1拡大・拡充	国の制度改正に伴い受給者へ周知するとともに、事務の効率化と適正化を図る必要があるため。	児童扶養手当の制度改正について、ホームページ等で周知するほか、対象者にチラシを送付することにより案内していく。
6	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：児童遊園等の管理に要する経費	子ども支援課	○		市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。	遊具、フェンスなどの老朽化が進んでおり、安全を確保するため、適正に管理する必要がある。 また、草刈りや清掃等を依頼している自治会から、高齢化により対応が難しいとの意見が寄せられている。	6,046	5,954	5,996	1拡大・拡充	児童遊園を適正に管理するとともに、楽しく利用しやすい児童遊園とする必要があるため。	子ども達の身近で魅力的な遊び場となるよう、令和4年度に実施した専門業者による遊具の一斉点検の結果に基づき、改修が必要と判定された遊具について、計画的に改修を実施する。
7	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：児童センターの管理運営に要する経費	子ども支援課	○		児童への健全な遊びを通して、その体力を増進し、情操を豊かにする。	子ども達にとって快適な居場所となるように、施設の老朽化への対応及び利便性の向上を図る必要がある。	42,777	50,962	57,422	1拡大・拡充	児童や保護者のニーズを把握し、子育て支援事業の充実を図る。	家庭・学校・地域と連携をとりながら、子どもの育成に適した遊びや教室を実施するとともに、乳幼児をもつ保護者を対象としたサロンや講座を開催する。
8	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：母子保健に要する経費	健康増進課	○		妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。	親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援が必要である。	81,788	85,291	101,574	1拡大・拡充	5歳児健康診査導入を検討中のため。	1か月児健康診査の一部費用助成（4,000円）、低所得妊婦初回産科受診料費用助成（妊娠1回につき10,000円）、産後ケア事業の拡充と利用者負担の減免を開始し、妊婦及び産婦の経済的負担の軽減と疾病の早期発見・早期治療、育児不安の軽減につなげる。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：結婚新生活支援事業	企画財政課	○	○	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。	平成25年度の婚姻数520人、人口1,000人当たりの婚姻率4.8人、出生数878人、合計特殊出生率1.33であったのに対し、令和元年度は婚姻数549人、人口1,000人当たりの婚姻率5.1人、出生数688人、合計特殊出生率は1.22となっており、婚姻数及び婚姻率は増加傾向にあるが、出生数及び合計特殊出生率は減少傾向にある。	7,958	14,908	12,600	2精査・検証	結婚や子育てに不安を抱えている新婚世帯に対し、住宅費及び引越費用を補助することで、合計特殊出生率の向上を図る必要があるため。	・鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、市の事業や子育て支援などを紹介し、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心がける。 ・申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。 ・当該事業の周知啓発について、新たな方法（動画作成など）を検討する。
10	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：児童総務事務に要する経費	子ども支援課	○		子ども基本法に基づき「鎌ヶ谷市子ども計画」を策定する。策定にあたっては、庁内推進会議で議論し、子ども・子育て会議への諮問・答申を踏まえ、庁議、市長決裁を経て、決定していく。	第2期子ども・子育て支援事業計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策など検討を行い、今年度策定する子ども計画に反映していく。	90,895	29,907	16,099	2精査・検証	令和6年度策定する子ども計画に掲げる施策について、子ども・子育て会議で点検、評価を行っていく。	令和5年度に実施したアンケート調査に基づき、第3期子ども・子育て支援事業計画を包含する（仮称）子ども計画を策定する。なお、策定にあたっては、庁内推進会議で議論し、子ども・子育て会議への諮問・答申を踏まえ、庁議、市長決裁を経て、決定していく。
11	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：つどいの広場の運営に要する経費	子ども支援課	○		つどいの広場を開設しおおもね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽につどい相互交流する場を提供する。	少子化や核家族化、地域社会の変化など子育てをめぐる環境が変化している。子育て中の親の孤立感や不安・負担感が大きくなっている。	10,049	10,244	19,115	2精査・検証	事業の質の向上を図るため、利用者のニーズに合わせた事業展開を検討する。	令和6年3月に開設した東部児童センターで新たにつどいの広場を実施していく。
12	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て支援センターの運営に要する経費	子ども支援課			子育てに関する情報提供を行うとともに相談を通して子育ての不安軽減を図る。 子育て及び子育て支援に関する講習を行う。	サービスの向上及び相談事業の充実を図るとともに利用者のニーズを把握する必要がある。	12,756	13,383	9,700	2精査・検証	事業の質の向上を図るため利用者のニーズに合わせた事業展開を検討する。	アドバイザーの資質の向上及び相談事業の充実を図るためアドバイザーを対象に研修を実施する。また利用者のニーズに沿った事業展開を実施するためアンケート調査を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：未熟児等養育医療に要する経費	こども支援課			身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に係る医療費を一部助成する。	市民への周知を行うとともに、対象家庭を支援するため、健康増進課などの関係機関と連携を図る必要がある。	8,194	7,960	7,704	2精査・検証	対象家庭を支援し、制度の周知を図る必要があるため。	対象家庭を支援するため、窓口での受付方法及び周知方法を再度確認のうえ、チラシ等の見直しを行い、窓口業務の改善を図る。
14	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：利用者支援事業に要する経費	こども支援課			子育て家庭が保育園や子育て支援事業を、円滑に利用できるように支援するとともに、関係機関と連携し、地域の子育て支援の育成を行う。	サービスの向上及び相談業務の充実を図るとともに利用者のニーズを把握する必要がある。	3,087	3,827	4,825	2精査・検証	事業の質の向上を図るため、利用者のニーズに合わせた事業展開を検討していく必要があるため。	乳幼児をもつ保護者を対象とした「子育て情報ラウンジ かますく」を新たに実施し、気軽に相談できる場や子育て支援情報の更なる周知を図る。
15	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：こども発達センターの管理運営に要する経費	こども支援課			心身の発達に心配のある児童に対し、個々の状況に合わせて、発達に沿った様々な支援を行う。	関係機関や市民に対し、障がいについての理解が深められるように情報提供、支援強化を行い、障がい理解の普及、啓発を図る。	46,446	46,432	56,506	2精査・検証	障がい児や発達に不安がある児童へのきめ細やかな発達支援、家族支援、地域支援の療育支援体制を図る。	他機関との連携を密に行い、ライフステージに応じた適切な支援が確保できるように支援体制の構築をしていく。
16	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：伴走型相談支援・出産子育て応援給付金に要する経費	こども支援課			国において、妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と経済的な支援を一体として実施する事業が創設され、経済的支援である出産・子育て応援給付金を妊娠届出時に妊婦1人に5万円、出生届出後に児童1人に5万円を支給する。	健康増進課と連携を図りながら、制度の周知を図るとともに、適正に事務を遂行し、支給していく必要がある。	48,400	86,600	72,000	2精査・検証	出生数を精査したうえで、適正に支給していく必要があるため。	引き続き、適正に助成をするとともに、市民へ制度の周知を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：伴走型相談支援・出産子育て 応援給付金に要する経費	健康増進 課			伴走型相談支援及び出産子育て応援 給付金（出産5万円、子育て5万 円）事業を一体的に実施すること により、妊娠期から子育て期まで安心 して子育てできるよう、切れ目ない 支援を行う。	孤立予防や育児不安の軽減等、市民 の多様化する子育て支援のニーズに 対応するため、支援サービスの充 実、関係機関との連携を図る必要が ある。	959	6,349	7,762	2精査・検証	妊娠期から子育て期まで継続的な相 談支援体制を維持するためには、関 係機関との連携を図るとともに、支 援方法等について、継続的に検討し ていく必要があるため。	妊娠届出時の保健師・助産師による 全数面接、妊娠7カ月アンケート及 び産後のサービス等の情報提供、新 生児訪問全数実施を継続し、母子の 孤立予防や育児不安に早期に対応 し、必要時関係機関と連携してい く。
18	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：高校生等医療費助成に要する 経費	子ども支 援課			子育て世帯の生活の支援を行うた め、子ども医療費助成の対象となら ない高校生を対象として、医療費の 一部を助成するもの。	令和3年10月1日から令和4年2 月28日の間に診療を受けた医療費 を対象として期間限定で実施した が、4年度より継続的に実施するこ ととした。対象者に対して周知を図 り、対象者に利用していただしてい るが、引き続き周知する必要がある。 る。	19,265	25,588	13,500	3縮小・統合	令和5年8月診療分からは、子ども 医療費助成制度に統合した。令和5 年7月分までの医療費助成について は、高校生等医療費助成制度に基づ き助成していく必要がある。	子ども医療費助成制度の高校生まで の拡大について、広報、ホームペー ジで周知する。
19	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯への応援特別給付 金に要する経費	子ども支 援課			新型コロナウイルス感染症による影 響が長期化するなかで、食費等の物 価高騰等に直面する子育て世帯の生 活の支援を行うとともに、子どもの 健やかな成長を応援するため、市独 自の事業として、子育て世帯に対 して、児童一人あたり1万円の給付金 を支給するものである。	申請期限を令和5年6月30日とし 適正に支給のうえ令和5年度で事業 が終了したため無し。	134,630	1,076	0	4終了・廃 止・休止	令和5年度で事業が終了したため。	令和5年度で事業が終了したため無 し。
20	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：あふれるえがお出産給付金に 要する経費	子ども支 援課			新型コロナウイルス感染症の流行が 続くなか、感染症等の不安を抱えな がら、過ごした妊婦の方、その家庭 や児童の健やかな成長を支援するた め、令和4年4月2日から令和5年 4月1日に生まれた新生児の保護者 に対して、出産給付金5万円を給付 するもの。	申請期限を令和5年6月30日とし 適正に支給のうえ令和5年度で事業 が終了したため無し。	33,607	4,915	0	4終了・廃 止・休止	令和5年度で事業が終了したため。	令和5年度で事業が終了したため無 し。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 子育て環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯生活支援特別給付金（その他子育て世帯分）に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	令和5年度で事業が終了したため無し。	40,359	41,871	0	4終了・廃止・休止	令和5年度で事業が終了したため。	令和5年度で事業が終了したため無し。
22	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、ひとり親世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	令和5年度で事業が終了したため無し。	49,368	52,536	0	4終了・廃止・休止	令和5年度で事業が終了したため。	令和5年度で事業が終了したため無し。
23	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：（仮称）東部地区児童センター設置事業	こども支援課	○	○	児童センターが未整備となっている東部地区に、東部地区児童センターを整備する。	令和5年度中の開設に向けて、関係機関と調整を行い、計画的に工事を実施する必要がある。	57,368	556,942	0	4終了・廃止・休止	東部地区児童センター建設工事は、令和6年1月末までに完了し、令和6年3月に開館したため、事業は終了となる。	なし

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保育サービス等の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	子ども支援課	○		様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。	保育のニーズが高く、依頼件数が前年度と比べ増加している。しかしながら依頼を受ける提供会員数が減少しているため、提供会員の増加が課題である。	3,812	3,415	4,630	1拡大・拡充	事業の安定化、サービスの向上を図るため、提供会員の募集及び委託化を検討する。	現在、直営で運営している事業の業務の安定化、サービスの向上を図るため、委託化を検討していく。また、依頼件数の増加に対応するため提供会員募集のため、ポスター等を活用した周知を継続的に行う。
2	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：放課後児童クラブ整備・改修事業	子ども支援課	○	○	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。	利用児童数の状況をふまえ、クラブ室の環境整備、児童の安全性及び利便性を図る必要がある。	2,684	16,187	3,000	1拡大・拡充	利用児童数を踏まえ、クラブ室の環境整備、児童の安全性及び利便性の向上を図る必要がある。	西部小学校第1放課後児童クラブの改修工事を実施するための設計を行う。 また、利用人数が増加している道野辺小学校放課後児童クラブに対応していく。
3	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：民間保育所等の補助に要する経費	幼児保育課	○		民間保育所等の安定的運営のため補助を行う。また、保育士の確保、離職防止のため必要な処遇改善事業を行う。	保育需要が増加する中、保育の質を確保しながら、受入れ数を確保することにより、待機児童対策を図る必要がある。	356,803	363,066	422,891	1拡大・拡充	国・県補助基準額の改正及び保育事業者からの事業拡充の要望により、増額が想定されるため。	継続的に補助金を交付するとともに、保育事業者が必要とする物価高騰などの補助に対し、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。
4	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：私立幼稚園等に要する経費	幼児保育課	○		幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。	保育需要が増大するなか、幼稚園の積極的な利用を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	467,917	450,986	478,765	1拡大・拡充	令和元年度より幼児教育・保育無償化が実施され、必要な補助・助成を実施しているが、今後効率的な事務の執行が必要であるため。	継続的に補助金を交付するとともに、幼稚園事業者が必要とする物価高騰などの補助に対し、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保育サービスの充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：病児保育に要する経費	幼児保育課			集団保育で受け入れられない病児・病後児に対して、病院内にて保育する。	病児保育・病後児保育を実施し、子育て支援の充実を図る必要がある。	7,424	7,854	9,503	1拡大・拡充	市内では病後児保育のみ実施しており、病児保育を実施していない為、病児保育の実施について検討する必要があるため。	市内施設での病児保育事業の新規実施について事業者と引き続き協議する。
6	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：民間保育所等整備助成事業	幼児保育課	○	○	待機児童対策及び保育サービスの充実のため、民間事業者による保育施設整備の助成を行う。	保育需要が増加するなか、保育の質を確保しながら、利用定員数を確保することにより、待機児童ゼロを継続する必要がある。	0	14	157,500	1拡大・拡充	待機児童が発生しないよう、保育量の見込みを踏まえ、新たな保育施設の整備を検討する必要があるため。	令和5年度に選定した民間事業者に対して、認定こども園整備の助成を行う。 また、今後の保育量の見込みを踏まえ、保育の必要量が確保できるよう、新たな保育施設等の整備について検討を行う。
7	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：施設型給付に要する経費	幼児保育課			公立保育園以外の保育所・認定こども園に入園している児童の給付費を支払う。	保育需要が増加するなか、積極的な入所を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	1,027,074	1,106,825	1,188,387	1拡大・拡充	今後も保育需要に対応する必要があるとともに、令和7年4月に開所を予定している認定こども園の給付費について、検証をしていく必要があるため。	令和7年4月に開所予定している認定こども園に伴う公定価格等について検証し、的確な予算要求を行う。
8	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：市立保育園の管理運営に要する経費	幼児保育課			公立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。	保育士を安定的に確保することにより、保育の質の維持・向上を図る必要がある。	421,208	422,109	411,134	1拡大・拡充	発達の問題や医療的なケアのため保育に配慮が必要な児童の受入に伴い、保育士を安定的に確保し、保育の質の維持・向上を図る必要がある。また、施設の老朽化に伴う修繕等の対応が必要であるため。	会計年度任用職員に加えて保育士派遣委託も組み合わせることにより、必要な保育士を確保することで、7年度当初における人員体制を構築できるような対応を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保育サービス等の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：放課後児童クラブの管理運営に要する経費	子ども支援課	○		小学校で放課後児童クラブを管理運営し、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。	放課後児童クラブの安定的な運営を継続するため、運営業者とも連携し、質・サービスの向上を図る必要がある。 また、利用児童数の状況を踏まえ、今後の整備などを検討していく必要がある。	240,689	265,183	275,934	2精査・検証	放課後児童クラブの安定的な運営を継続するため、運営業者とも連携し、質・サービスの向上を図る必要がある。	放課後児童クラブの運営事業者のうち、1社の契約期間が令和6年度で満了するため、プロポーザル方式により、事業者を選定する。また、年に数回、全クラブの主任支援員を集め、運営方法について協議を行う。
10	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：児童総務事務に要する経費	幼児保育課	○		保育認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。	複雑な制度について分かりやすい周知に努め、必要な方に適正な助成等（認可外・一時預かり事業等利用費、特定保育・保育施設等実費徴収助成金、保育手当）を実施し、待機児童対策に資する取り組みを継続する。	32,142	31,104	11,627	2精査・検証	子ども・子育て支援制度及び幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、必要な補助・助成を実施しているが、今後効率的な事務の執行が必要であるため。	幼児教育・保育の無償化に関する複雑な制度について、利用者に対して分かりやすい説明に努め、適正な給付事務を継続する。
11	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：地域型保育給付に要する経費	幼児保育課			小規模保育事業等に入园している児童の給付費を支払う。	保育需要が増加するなか、積極的な入所を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	426,828	445,742	508,624	2精査・検証	小規模保育事業の利用率の増加に伴い、多様化する保育需要に対応していく必要があるため。	利用率の上昇に基づき、的確な予算要求を行う。
12	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：保育園総務事務に要する経費	幼児保育課			保育園の運営に係る事務について、システムの運用により適正、迅速な事務を行う。	保育園運営に係るシステムを改良することにより、より効率の高い事務執行ができる体制を構築する。	3,742	2,646	8,884	2精査・検証	より効率的な保育園運営に向けて、システム改良のため、検証を行う必要があるため。	幼児教育・保育の無償化に伴う各システムの改良等について、運用実績に基づき、必要な改善箇所等がないか検証する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 保育サービス等の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：中高齢者交流保育事業に要する経費	幼児保育課			公立保育園に保育士を補助する職員として、人生経験豊かな中高齢者1名を配置する。	中高齢者の園内における活用方法について、更なる検討を行う必要がある。	1,606	1,751	2,030	2精査・検証	中高齢者の知識や経験を保育園の運営に活用する方法について、検証を行う必要がある。	引き続き園や園児への効果を検証する。
14	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：保育園改修事業	幼児保育課	○	○	公立保育園の保育環境を良好に維持するため、受変電設備や照明のLED化など、必要な改修を行うもの。	公立保育園は建築から40年以上経過しており、老朽化により改修を要する箇所が増加している。	0	9,872	134,300	2精査・検証	公立保育園の良好な保育環境を維持し、長寿命化を図るため、計画的な改修を進めていく必要があるため。	実施計画に基づき、道野辺保育園・粟野保育園受変電設備改修工事、南初富保育園受変電設備改修設計、粟野保育園LED照明改修設計を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：義務教育施設維持補修事業	教育総務課	○	○	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。	836,176	712,107	1,087,900	1拡大・拡充	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。	鎌ヶ谷小・南部小・道野辺小の体育館空調設備設置、鎌ヶ谷小・南部小の受変電設備改修、北部小・道野辺小のLED照明改修等を行う。 鎌ヶ谷中の受変電設備改修、第四中の校舎屋上防水改修、第二中・第三中のLED照明改修等を行う。
2	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：外国語指導助手に要する経費	学校教育課			外国青年を招致して外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して国際社会に生きる児童生徒を育てる。	市内小中学校に外国語指導助手が入ることで、児童生徒が生きた英語に触れられ、意欲が向上している。週1回のミーティングを実施し、学校内での業務のほか、外国語指導助手内での情報共有を図っている。	54,777	50,436	60,013	1拡大・拡充	児童生徒の意欲は向上しているため、継続していく。JETプログラムを利用した外国語指導助手の採用を継続してきたが、個人の生活に関する補助業務が多く、企業を利用した派遣を令和6年度は1名入れていく。今後、JETプログラムと比較し、事務業務について精査する。	教育委員会の指導訪問時には外国語活動もしくは外国語の授業展開を実施し、市内の先生と授業実践について情報共有し、指導力の向上を図る。 JETプログラムで承知している外国青年と企業の派遣と比較し、事務業務について精査する。
3	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：学校地域支援に要する経費	学校教育課			中学校の部活動外部指導を5校で実施、また部活動移行に向けて外部指導者を会計年度任用職員として採用する。小中学校からの希望により社会人講を師派遣する。市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。地域学校協働本部事業8校実施。	第五中学校で文化部の指導員を採用した。部活動外部指導者は各学校とも充実している。社会人講師派遣は小学校からの希望で活用している。ボランティア公募は各学校にて行い、実情に応じた活動ができ、成果を上げている。	5,059	5,168	12,980	1拡大・拡充	部活動の地域移行に向けて中学校の校長先生方に説明し、各校の先生方への説明動画の作成、先生・生徒へのアンケートを実施した。コミュニティ・スクールの設置に向けて、地域学校協働本部事業の全小中学校展開を目標に協議会を実施した。社会人派遣を継続する。	地域協働活動についてコーディネーターの県主催の研修への参加を促すとともに、校長先生方への研修を実施する。道野辺小学校において試験的にコミュニティ・スクールの運営を行い、問題点の洗い出し等を行っていく。市の要項を制定する。
4	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：特別支援教育推進に要する経費	学校教育課			市内小中学校に1名ずつ、鎌ヶ谷小学校と中部小学校と道野辺小学校は2名ずつ、特別支援教育推進指導教員（ほほえみ先生）を配置し、また学校教育課指導室内に心理発達相談員を置き、きめ細かな教育支援を行う。	特別支援学級には属さない通常級における児童生徒についての対応をしており、個々の児童生徒に合った対応が重要となっている。必要としている児童生徒数が増加しているため、現状のほほえみ先生の人数で対応が可能か、もしくは増員するのかが検討していく必要がある。	37,021	37,700	46,345	1拡大・拡充	特別な支援を要する児童生徒が増加しており、保護者からの教育的ニーズの高まりが継続している。	児童生徒への効果的な指導について情報共有できる機会を設け、個々の児童生徒に応じた対応ができるようにしていく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：小中学校ICT環境整備事業	学校教育課	○	○	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒1人1台の学習用コンピュータの維持管理を行う。	校内の全児童生徒が一斉に回線接続すると安定しないことがあるため、回線状況について確認する必要がある。テストなどで大人数が接続する場合には、現状では時間を分けて行っている。	94,466	95,204	108,847	1拡大・拡充	校内での活用については、ICT活用推進委員会において各学校の実践事例を持ち寄り、情報共有する。令和7年度は学習用端末更新がある。	令和7年度の児童生徒用端末の入れ替えに向けてアセスメントをする必要がある。その結果、回線状況を改善していく必要があり、検討する。児童生徒用端末に入れ替えに向け、県の調達会議に参加する。アプリ等についての情報収集を行う。
6	会計名：一般 款項目：10-1-4 事業名：心身障がい児の教育に要する経費	学校教育課			特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保のため、特別支援学級等介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のために必要な援助を行う。	対象となる児童生徒の増加が継続しており、介助員の確保と各学校及び保護者との調整が課題である。また、就学前の学校見学や体験の件数が増加しており、担当指導主事の負担及び心理発達相談員が行う検査や相談の負担が増加している。	96,367	109,200	174,181	1拡大・拡充	市内小中学校の特別支援学級の児童生徒の増加に伴い、特別支援学級数も増加している。介助員の人員確保が必要のため。また、医療行為を必要とする児童のための看護師の配置が必要となっているため。	市内小学校に必要な介助員および看護師の人員確保を行い、適正に配置する。
7	会計名：一般 款項目：10-1-1 事業名：教育委員会運営に要する経費	教育総務課			定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し、決定している。	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。	2,208	2,214	2,288	2精査・検証	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き定例会を通して把握する必要がある。	鎌ヶ谷市教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の場を設ける。
8	会計名：一般 款項目：10-1-2 事業名：教育委員会事務局の運営に要する経費	教育総務課			鎌ヶ谷市の教育行政の向上を図るため、教育行政の総括的業務及び教育施策の調整を行う。	各担当課との連携を密に業務を実施し、教育委員会の活動を市民に周知することにより、市民の関心を高める必要がある。	318	366	632	2精査・検証	引き続き教育行政に関する事務及び調整を図り、情報共有、情報連携をする必要がある。	地域住民の意向を踏まえ、地域に根ざした教育行政を展開する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教育事務に要する経費	教育総務課			学校の記念行事への負担金補助や卒業記念品の贈呈を行っている。	児童・生徒にとって良い卒業記念となるように、今後も継続して記念品の贈呈を実施する必要がある。	1,539	2,590	2,229	2精査・検証	補助の内容等の妥当性について、継続して検証する必要がある。	児童・生徒のニーズを踏まえ、卒業記念品について検討する。
10	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：小学校の管理運営に要する経費	教育総務課	○		良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。	学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	345,542	335,554	355,408	2精査・検証	引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。	学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。
11	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：義務教育施設楽器更新事業	教育総務課	○	○	小学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、リース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。	学校施設における楽器については、老朽化が著しいことから、計画的に更新を行っていく必要がある。	10,786	10,965	11,252	2精査・検証	引き続き、計画的に更新していく必要がある。	令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノ及び令和4年度に更新した鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について、賃借料の支払いを行う。また、中学校5校の楽器更新を行う。
12	会計名：一般 款項目：10-2-2 事業名：小学校の図書に要する経費	教育総務課	○		計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。	全校に図書館司書を配置し、蔵書の整備を進め、令和3年度に全小学校の図書館図書標準100%を達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	9,522	9,554	9,557	2精査・検証	引き続き、図書を充実させる必要がある。	学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：10-3-1 事業名：中学校の管理運営に要する経費	教育総務課	○		良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。	学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	170,113	170,307	181,285	2精査・検証	引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。	学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。
14	会計名：一般 款項目：10-3-2 事業名：中学校の図書に要する経費	教育総務課	○		計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。	全校に図書館司書を配置し、蔵書の整備を進め、平成30年度に全中学校の図書館図書標準100%を達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	6,973	6,974	6,975	2精査・検証	引き続き、図書を充実させる必要がある。	学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。
15	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教職員の研修に要する経費	学校教育課	○		市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。	市内小中学校で自主的に行っている研修等の支援をしている。研修や研究内容について担当指導主事が関わり充実した研究になるようにしている。	300	410	547	2精査・検証	研修は毎年各学校がテーマを決め取り組んでいる。市内の教員の若年層化が進み、経験が浅いため、市主催の研修に県の講師等を依頼して実施している。	教員の指導力向上のために、講師を依頼して研修を実施する。教員の自主的な研修への依頼を受けて指導主事を派遣したり、東葛飾教育事務所指導主事の派遣調整を行う。
16	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教育指導に要する経費	学校教育課	○		鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、自主公開助成金や研究指定助成金等を行う。	デジタル教科書の有効活用や、学力テストについてのデジタル実施を検討していく必要がある。市の指定や県の指定での研究について、市の指導主事を派遣して充実した内容にする必要がある。	49,623	81,909	73,420	2精査・検証	継続して学力調査を実施することで経年結果があり分析できているが、テストのデジタル化が進んでおり、切り替え時期の検討をした。切り替えることで、経年の結果が見られなくなる。令和6年度から県の指定が多くなっている。	市の研究指定で中部小学校が最終年で授業公開、県の指定で西部小学校と第三中学校が授業公開を行う。担当指導主事が研究内容について確認していく。県の指定で南部小学校と第四中学校が「心のバリアフリー」に取り組む。日本語指導の講師について個人登録システムを整える。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：小中学校体育文化活動に要する経費	学校教育課			豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行う。	各種負担金が増額となっている。市主催の行事においてバスを確保しておく必要があり、バス代も値上がりしている。児童生徒の体育文化活動の向上を図るため、児童生徒の大会等の出場経費の軽減を図る必要がある。	4,172	4,882	4,666	2精査・検証	体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費の助成を行った。今後も引き続き行う。	体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費削減を図り、制度の周知も行う。市主催の行事のバスの確保も行う。
18	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：学校運営に要する経費	学校教育課			入学通知書、入学予定通知書、学齢簿及び学区別人口統計等を作成する。また、学校施設環境の整備を行うため、学校用務員業務委託を行う。	市職員の用務員が配置されている学校と業務内容に差が生じないよう、学校及び業者との調整が必要となる。	24,394	24,349	26,793	2精査・検証	学校用務員業務の民間委託は、人件費の削減を図るため、継続的に行う事業であり、今後も推進する必要がある。学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人員補充を行う。	学校用務員について、学校及び委託業者と連携をとり、円滑な学校運営を図る。
19	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：情報教育に要する経費	学校教育課			小中学校14校の児童生徒のタブレット端末の賃料やICT支援員報償費等の負担をするもの。	各学校工夫してタブレット端末を使用している。各学校での活用方法について情報共有していく。令和7年度の児童生徒用端末の入れ替えを見据え、必要なアプリ等の検討をしていく必要がある。	100,399	101,871	100,353	2精査・検証	児童生徒の故意ではないタブレット端末の損傷について、負担した。関係機関からの文書がデータのみとなったものも多く、各学校でのカラー印刷が増加した。印刷枚数を抑えつつ、有効活用していく必要がある。	賃料や修繕費、および支援員報償が継続して必要となり、改善は特にない。
20	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：少人数教育推進に要する経費	学校教育課			市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員（きらり先生）を配置し、きめ細やかな学習指導を行う。	各学校での活用についてサポートしやすい算数・数学で少人数体制で授業に入っていることが多い。各学校からの事例を集めて情報共有を継続して実施していく。	29,052	29,497	37,630	2精査・検証	市内小中学校の指導において、効果的な指導がなされている。事例研修などを定期的に行い、指導教員の指導力向上を図っていく必要がある。	連絡協議会において事例紹介を行い、効果的な指導方法について周知し、参加者で情報共有する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 学校教育の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：一般 款項目：10-2-2 事業名：要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			経済的に就学困難な児童の保護者に対して就学援助を行います。	原則として前年の所得を基に審査を行います。新型コロナウイルス感染症の影響等による経済、雇用状況等に鑑み、支援を必要とする世帯を迅速に支援するため、家計が急変した世帯等については直近の収入を年間に換算して審査を行うなど柔軟な対応が必要です。	49,138	51,355	84,200	2精査・検証	義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	引き続き家計の急変した世帯等を含めた就学援助事務が行えるよう、制度の周知徹底と迅速な審査に努めます。
22	会計名：一般 款項目：10-3-2 事業名：要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			経済的に就学困難な生徒の保護者に対して就学援助を行います。	原則として前年の所得を基に審査を行います。新型コロナウイルス感染症の影響等による経済、雇用状況等に鑑み、支援を必要とする世帯を迅速に支援するため、家計が急変した世帯等については直近の収入を年間に換算して審査を行うなど柔軟な対応が必要です。	49,138	51,355	84,200	2精査・検証	義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	引き続き家計の急変した世帯等を含めた就学援助事務が行えるよう、制度の周知徹底と迅速な審査に努めます。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 児童・生徒の医療及び安全等の確保】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：通学路整備事業	道路河川 整備課	○	○	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。	緊急合同点検により対策が必要な通学路を抽出し歩道整備に取り組んでいるが、他にも対策が必要な路線がある。	34,468	89,493	15,907	1拡大・拡充	市民の方や学校関係者からの改善要望が多い通学路の整備を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。
2	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：通学路・歩道等整備事業	道路河川 管理課	○	○	登下校時における児童生徒の安全確保を図るため、通学路の交通安全施設の整備を行う。また、歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。	歩道整備には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。	0	33,683	36,550	2精査・検証	令和5年度より「10款通学路安全対策事業」から移行した安全施設設置工事などを含め、引き続き道路の機能管理面の安全確保の責務を継続する。	通学路安全対策および歩道等総合整備計画に基づく効果的な推進。
3	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：学校保健事務に要する経費	学校教育 課	○		児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症予防等を行う。	学校健診の実施にあたっては、医師会や民間業者等と連携し、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施していくことが必要です。	35,681	34,601	37,908	2精査・検証	円滑な検診の実施にむけ、課題の解決に向けた検討を継続して行う必要があるため。	児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、且つ感染症対策に配慮して実施する。
4	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：学校安全事務に要する経費	学校教育 課	○		学校管理下における児童生徒等のケガ等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担する。また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配付する。	災害共済は、他の制度との併用が多く見られることから、学校管理下の災害については災害共済給付制度を優先することを保護者に対し周知徹底していくことが必要です。	10,169	10,867	11,260	2精査・検証	児童生徒が安全な学校生活を送る上で継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	各学校の養護教諭と連携し、事務手続きを正確に行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 児童・生徒の医療及び安全等の確保】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：通学路安全対策事業	学校教育課	○	○	第4次通学路安全対策推進行動計画の進行管理、児童生徒の安全指導等の対策を行う。	事故に遭わないよう、自転車講習会などの安全指導は、なるべく早い時期に行う必要がある。	29,453	1,944	3,872	2精査・検証	通学路の安全対策に係る事業を効果的に展開するため、通学路(市道)の管理と施設整備に係る予算を、教育費から土木費に移管した。	通学路合同点検を実施する。自転車講習会などの安全指導を継続して実施する。
6	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	○	○	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。	下校時間帯の不審者情報が多いことから、学校、地域、青少年センター、警察と連携し、迅速に対応していく必要があります。	13,877	14,749	15,712	2精査・検証	通学路の安全確保は継続的に行う事業であることから、各関係機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。	学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。
7	会計名：一般 款項目：10-5-3 事業名：学校給食運営に要する経費	学校教育課	○		安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。	栄養バランスのとれた給食の提供及び食物アレルギーをもつ児童生徒への安全な給食の提供。給食を通して食への関心を高めるため取組みなどが必要となっている。	917,827	940,179	943,551	2精査・検証	食物アレルギー対応の除去食について、小中学校において安定した提供体制を整えるため。	地産地消費材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。
8	会計名：一般 款項目：10-4-5 事業名：非行防止対策の推進に要する経費	青少年センター	○		子どもたちの非行防止を図り、また安全確保を図る観点から補導活動等を実施し、青少年の非行防止及び健全育成を推進する。	今後も非行の低年齢化が進むとともに、犯罪の被害者となってしまうケースの増加も想定される。	11,034	12,083	14,298	2精査・検証	学校・地域・関係機関との連携を図りながら子どもたちの見守り、子どもたちが心身ともに安全な生活が送れるように周辺環境の整備を継続して実施していく必要がある。	引き続き子どもたちの安全安心のため、関係機関との連携を深め、街頭パトロールの強化とともに「子ども110番の家」は、共働き世帯の増加と高齢化により減少傾向にあることから、事業所や商業施設へ依頼し推進を図る。また子どもたちやその保護者からの相談についても重点的に取り組む。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 青少年の健全育成の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費	生涯学習推進課	○		青少年の異年齢交流、自然体験・社会体験の機会提供及び地域ボランティア、関係団体の活動支援を行う。	家庭状況の変化等で青少年の異年齢交流、自然及び社会体験等の社会形成に必要な機会が減少し、その機会を事業として求めるニーズは高まっている。 一方、地域の青少年関係団体（子ども会、ボーイ・ガールスカウト）の団体数や会員数の減少が続いているため、これらの青少年関係団体への側面的支援に努める必要がある。	8,754	10,157	11,379	2精査・検証	事業を継続するが、新型コロナウイルスの感染症が五類感染症となつて以降の事業手法等については精査検証が必要なため。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と同等の事業を実施できるよう、会員募集や広報など活用し事業を実施する。
2	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：家庭・地域の教育力の向上に要する経費	生涯学習推進課	○		家庭教育に関する活動の啓発や、保護者及び地域のニーズに対応した学びの機会や情報の提供を行う。	家庭と地域との結びつきが希薄化しており、より一層の支援が必要である。	254	157	261	2精査・検証	家庭や地域を取り巻く課題は年々多様化しており、様々な角度からアプローチをする事業を実施していく必要があるため。	家庭教育を支援するため関係機関と連携し、各学習センターで家庭教育に関する課題に対応した学習機会を提供する。
3	会計名：一般 款項目：10-4-2 事業名：生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	生涯学習推進課			安定した施設予約システムの提供や学習機会の充実、学習情報の収集・提供、適切な施設の維持管理を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。学習ニーズに対応した学習情報を提供するため、ニーズの把握や提供方法に工夫が必要である。	33,338	33,227	36,084	2精査・検証	市民の多様な学習ニーズに対応できる、サービスの向上や学習機会の充実を図る必要があるため。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関係機関と連携し、魅力ある事業を実施する。ホームページや掲示物等の様々な媒体を利用し幅広く情報提供する。
4	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：学習センターの管理運営に要する経費	生涯学習推進課	○		地域の学習拠点としての有効性を高め、学習機会の充実、学習情報の収集・提供、適切な施設の維持管理を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。こうしたニーズに応える講座の提供が求められる。	103,038	101,955	116,977	2精査・検証	地域の生涯学習の拠点として、市民の多様な学習ニーズに対応し、サービス向上や学習機会の充実を図る必要があるため。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関係機関と連携を深め、事業を展開していく。また、学習成果の地域還元や、市民相互の交流機会の創出等の方策について創意工夫し事業を実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 青少年の健全育成の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：10-4-5 事業名：非行防止対策の推進に要する 経費	青少年セ ンター	○		子どもたちの非行防止を図り、また 安全確保を図る観点から補導活動等 を実施し、青少年の非行防止及び健 全育成を推進する。	今後も非行の低年齢化が進むととも に、犯罪の被害者となってしまう ケースの増加も想定される。	11,034	12,083	14,298	2精査・検証	学校・地域・関係機関との連携を図 りながら子どもたちの見守り、子ど もたちが心身ともに安全な生活が送 れるように周辺環境の整備を継続し て実施していく必要がある。	引き続き子どもたちの安全安心のた め、関係機関との連携を深め、街頭 パトロールの強化とともに「子ども 110番の家」は、共働き世帯の増 加と高齢化により減少傾向にあるこ とから、事業所や商業施設へ依頼し 推進を図る。また子どもたちやその 保護者からの相談についても重点的 に取り組む。
6	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館の管理運営に要する経 費	図書館			図書館システムを活用した図書資料 の貸出業務・レアレンス等を行うと ともに各世代に向けたサービスを提 供する。	生涯学習の意欲の高まりに伴い従来 の図書館サービスの提供に加え、多 様な情報提供への取組が求められて いる。	106,008	117,101	117,274	2精査・検証	生涯学習の支援機関として時代の要 請に応じ資料の整備・充実及びレ アレンス等が求められており、多 様な利用者ニーズを把握し応えてい く必要があるため。	「鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計 画」に位置付けられた事業を引き続 き実施するとともに、令和6年10 月～5年間を契約期間とする図書館 システムについて、市民サービスを 向上すべく更新作業を実施してい く。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 危機管理体制・防災対策の強化】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災対策に要する経費	安全対策課	○		鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード両面において防災体制の強化のため計画的な整備を進めていく。	避難所環境の向上や、感染症対策、災害時要配慮者への対応などのため新たな備蓄品の配備、保管場所の確保、備蓄品の計画的な管理と更新について検討する必要がある。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も老朽化しており更新や修繕を検討する必要がある。	18,378	23,032	22,011	1拡大・拡充	防災備蓄品の保管場所の確保及び効率的な更新、管理方法を検討していく必要がある。災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も老朽化しており更新や修繕を検討する必要がある。	衛生用品などの物品についても更新計画を作成し計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効率的な保管場所や管理方法について検討する。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も更新や修繕を検討するとともに、飲料確保のための新たな手段を検討する。
2	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：自主防災組織資器材整備に要する経費	安全対策課	○		自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。	大規模災害時には、自主防災組織などの共助の機能が重要になるが、東日本大震災から10年以上が経過し防災に対する意識の高揚と自主防災活動の充実強化が課題となっている。	77	336	800	1拡大・拡充	引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく必要があるため。	引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく。また、自主防災組織を継続して支援していただくための交付制度を検討していく。
3	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災対策に要する経費	総務課			災害から市民の生命、身体、財産を守るため、災害発生時に時間外勤務に従事し、避難所の開設や道路封鎖、土のうの運搬等を行う。	市の通常業務を行いながら災害への対応が必要となることから、参集体制や参集時刻、職員の交代等、人員の効果的な運用が必要である。	2,008	7,250	0	2精査・検証	発生時期、頻度を事前に想定することが困難な災害への対応が必要であるため。	災害対策の担当課で、災害対応に従事した職員の意見等を踏まえて、より効果的な災害時における体制の構築を行う。
4	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災行政無線管理運営に要する経費	安全対策課			災害発生時の市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段である防災行政無線を運用するため、適切な維持管理を行う。	市民の生活様式の多様化や住宅の高層化・高気密化等により、放送がうるさい、聞き取りづらい等の様々な意見が市民から寄せられているが、今後も災害に備えて必要な整備を行う必要がある。	19,460	16,486	17,741	2精査・検証	災害発生時の市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段であり、事業手法等の精査・検証が必要なため。	災害に備えて保守点検等の必要な維持管理を行い、引き続き市民への効果的な情報伝達手段の調査研究を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 危機管理体制・防災対策の強化】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：危機管理に要する経費	安全対策課	○		鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備を進める。	国際状況の変化などにより、これまで以上に危機管理体制の構築の推進が求められている。危機事案に柔軟に対応するためマニュアル等の見直しを適宜行っていく必要がある。	0	2	120	2精査・検証	業務継続計画（BCP）及び危機管理マニュアルの見直しを適宜行っていく必要があるため。	地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しをする。
6	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：千葉県防災行政無線再整備事業	安全対策課	○	○	千葉県が実施する千葉県防災行政無線の再整備について事業費の負担をする。	千葉県防災行政無線は県内の関係機関間で災害情報の収集や伝達を行う通信設備として県が整備したもので、整備から15年以上が経過し安定した稼働が難しくなったことから、通信機能の向上のため再整備が必要となっている。	0	0	0	2精査・検証	再整備に必要な部品の納品に時間を要することが判明し5年度施工完了が難しいということで、令和6年度に繰越したため。	千葉県防災行政無線の再整備について繰越した事業を実施する。
7	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：避難場所案内標識設置等事業	安全対策課	○	○	避難場所等を示す標識について、劣化が進んでいることから、更新工事を実施する。	経年劣化が進んでいることから、既存の案内標識の撤去及び新規設置を行う。また、新たに設置する標識は、多言語化を進めるとともに、案内標識全体を蓄光式とし、より安全性や視認性を高めたものとする必要がある。	4,046	4,620	0	4終了・廃止・休止	9箇所の既存標識の撤去を行うとともに、5箇所の新規設置を行い事業が完了したため。	-

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 防犯対策の強化】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防犯対策に要する経費	安全対策課	○		防犯灯の維持管理、防犯カメラの適切な運用、自主防犯団体や鎌ヶ谷市防犯協会との連携等により、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。	市内刑法犯認知件数は4年連続で減少していたが令和5年は増加し、電話d e詐欺被害認知件数は前年から減少した。今後も自治会、関係行政機関等の協力を得て防犯対策の強化を図り、事業効果を向上させる必要がある。	7,771	44,323	52,621	1拡大・拡充	自主防犯団体や防犯協会との連携による防犯活動の支援強化を図る必要があるため。	自主防犯団体への防犯灯維持管理費補助金及び防犯カメラ設置費補助金の交付、防犯協会との連携による活動支援を強化することにより、自主的な防犯活動による防犯体制を整備する。また、令和5年度に開始した電話d e詐欺対策機器の配付を引き続き実施する。
2	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：夜間防犯パトロール事業	安全対策課	○	○	犯罪が多く発生する時間帯である夜間に、青色回転灯付パトロール車に警備員2人1組で乗車し、計2台4人の体制で、市内全域のパトロールを実施する。	市内刑法犯認知件数は4年連続で減少していたが令和5年は増加した。今後も犯罪が起きやすい夜間のパトロールを継続して実施し、犯罪を抑制する必要がある。	17,588	18,665	22,506	2精査・検証	犯罪発生状況等の情報収集を行い、より効果的な防犯活動を行うために、事業手法等の精査・検証が必要なため。	犯罪を未然に防ぐため、市内全域のパトロールを実施し、市民や庁内からの情報提供・依頼等により、積極的にパトロール重点活動地域を指定する。
3	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	○	○	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。	下校時間帯の不審者情報が多いことから、学校、地域、青少年センター、警察と連携し、迅速に対応していくことが必要です。	13,877	14,749	15,712	2精査・検証	通学路の安全確保は継続的に行う事業であることから、各関係機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。	学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 消防・救急・救助体制の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消防事務に要する経費	消防総務課			災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資機材整備を継続する必要がある。	118,774	127,490	133,428	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。	災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。
2	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			消防庁舎各種設備の保守管理業務委託	消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点機能維持に必要であり、継続する必要がある。	16,066	16,936	16,603	2精査・検証	消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。	継続的に保守点検を実施し、消防活動拠点としての機能を維持する。
3	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：職員研修に要する経費	消防総務課	○		消防職員として業務遂行に必要な専門知識及び技能を習得させるため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。	3,932	3,229	3,829	2精査・検証	専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。	消防力維持のため、職員19人を消防大学校等の各種研修所に派遣する。
4	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：消防車両更新事業	消防総務課	○	○	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	73,958	50,598	93,573	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、消防用自動車等の更新は継続していかなければならない。	救急自動車1台の更新及び救急件数増加に対応するため、新たに救急自動車1台を追加配備する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 消防・救急・救助体制の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：消防団車両更新事業	消防総務課	○	○	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防自動車及び車両積載品を更新整備する。	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	19,841	20,804	0	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならない。	救急自動車の増車に伴い、消防用自動車更新計画を見直し、非常備用消防自動車の更新を令和6年度から令和7年度に変更する。
6	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：鎌ヶ谷消防署改修事業	消防総務課	○	○	鎌ヶ谷消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、仮眠室及び浴室の個室に必要な新棟を増築し、救急消毒室の拡充や資機材備蓄倉庫を整備するため、既存庁舎の施設改修を行う。	改修工事等に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないように考慮する必要がある。	0	33,951	329,700	2精査・検証	鎌ヶ谷消防署の災害拠点としての機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、仮眠室の個室化などの改修工事を行う必要がある。	実施設計に基づき新棟増築及び内装改修工事を実施する。
7	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：予防業務に要する経費	予防課	○		火災予防を推進するため、消防訓練時の防火指導や住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理を啓発するとともに、建築確認申請時における消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。	住宅用火災警報器の設置率は継続的に啓発を実施した結果年々上昇しているため、引き続き啓発を実施するとともに、設置後10年を経過した住宅へ点検や交換等の適正な維持管理の啓発を実施する必要がある。	3,931	3,103	4,321	2精査・検証	市のホームページやSNSを活用した火災予防広報や、住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理の啓発を実施するとともに、建築確認申請時に適正な消防設備の設置指導を実施したが、引き続き内容等を精査し、実施する必要があるため。	住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、市ホームページやSNSを活用するとともに、消防行事の開催時に、設置済み機器の点検・交換等の適正な維持管理の啓発を引き続き実施する。
8	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：警防業務に要する経費	警防課	○		救急車到着までの間、現場に居合わせた人が、適切な応急手当を実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。	一般市民によるAEDを使用した心肺蘇生法が周知されるようになった。心肺蘇生法のガイドライン改訂やAED屋外収納ボックスの設置などにより、市民の関心が高まり受講者数の増加が見込まれる。	21,340	20,337	18,789	2精査・検証	救命率を向上させるためには、応急手当の普及啓発を継続的に実施する必要がある。	救命講習（一般公募）の年間計画を見直し、年間12回のうち2回を、小児、乳児を対象とした救命講習に変更する。また、新型コロナウイルス感染症の影響から制限していた人工呼吸等の実技練習を近隣市の状況を鑑み、通常の講習内容に戻していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 消防・救急・救助体制の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：大規模災害時応援に要する経費	警防課			緊急消防援助隊・千葉県消防広域応援隊として、県内県外に応援隊を派遣する。	人員、資器材、燃料、食料等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	0	837	2精査・検証	有事の際に応援隊の派遣に係る資器材、燃料、食料等派遣体制の充実及び運用を円滑かつ迅速に行うことが必要である。	出動時の資器材等の確認及び速やかな準備体制の構築を行う。
10	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消火栓改修事業	警防課	○	○	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市総合基本計画に基づき、計6基の消火栓を毎年1基ずつ改修する。	現在使用することができない消火栓について、早急に改修を行う必要がある。	1,805	2,475	4,000	2精査・検証	消防活動に欠かせない消防水利について、災害時に支障がないよう今後も継続管理を行う必要がある。	優先度の高い消火栓1基の改修を行う。
11	会計名：一般 款項目：9-1-2 事業名：消防団運営に要する経費	警防課			各種災害に出動して、地域防災の中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、環境整備をする。	環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ、人員を確保する。	28,765	27,579	32,142	2精査・検証	防災に関する市民のニーズは上昇傾向にあり、今後、更に高まると予測できるため、継続して行う。	消防団施設・車両・資器材の維持管理及び消防団のイメージアップを図り人員確保に努める。
12	会計名：一般 款項目：9-1-2 事業名：消防団装備品整備事業	警防課	○	○	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。	消防体制を充実させるため、災害活動に従事する消防団の装備品を計画的に整備する必要がある。	1,718	2,442	1,848	2精査・検証	消防団員が安全かつ効果的な活動を行うため、体力低下抑制及び疲労軽減など災害活動に適した機能性のある消防団装備品の整備を継続して行う必要がある。	チェーンソー2基、投光器1器、消防用ホース20本の整備を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 消防・救急・救助体制の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：中央消防署等改修事業	消防総務課	○	○	中央消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、トイレ改修・仮眠室の個室化などの内装改修工事を行う。	改修工事等に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないように考慮する必要がある。	13,086	112,523	261,341	4終了・廃止・休止	中央消防署の災害拠点としての機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、仮眠室の個室化などの改修工事を行い事業が完了した。	実施設計に基づき内装等改修工事を実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 環境保全の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：環境保全の啓発に要する経費	環境課	○		令和5年3月に策定した鎌ヶ谷市第3次環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止対策や生物多様性等の環境保全を啓発・推進するため、環境講座やイベント、補助事業等を実施する。	市が率先して温室効果ガスの排出削減を推進していくため、令和6年3月に鎌ヶ谷市公共施設エコアクションプランを改定し、職員の意識を高める取組みや、公共施設へ再生可能エネルギー設備等を導入していく必要がある。また、市民・事業者の環境に関する問題意識の向上を図るため、各種情報ツールによる情報発信、企業や大学との協働事業等を実施し、さらなる啓発活動を行っている。	11,234	14,308	14,449	1拡大・拡充	コロナ禍における感染対策も緩和され、効果的に市民に対する環境保全の意識の醸成を図る必要があるため、さらに多くの主体と協働で事業を進めていく。	国が掲げる2050年カーボンニュートラルを目指し、本市もゼロカーボンシティ宣言を行ったことから、引き続き、P P A方式による太陽光発電設備等の導入を進める。また、環境保全団体や学校、庁内他課など、より多くの主体と連携して事業を実施し、各種講座やイベント開催等のPRを図る。
2	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：地下水汚染防止対策の推進に要する経費	環境課			揮発性有機化合物（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・1・1、トリクロロエタン、四塩化炭素）による地下水汚染の実態を把握するため、定期調査し地下水汚染状況のモニタリングを実施する。	汚染解消には長期間を要し、またその地下水汚染状況調査結果には、環境基準を達成していない箇所が未だにある。	127	203	255	1拡大・拡充	汚染状況に係る調査結果を長期にわたって注視していく必要がある。	長期間にわたり地下水汚染状況を把握する必要があるため、今後もモニタリングを継続する。令和2年度に実施した栗野地区の地下水汚染調査で環境基準を超過した。令和4年度から県補助金を活用し周辺調査及び飲料指導の実施している。また、市内において暫定指針値を超えたPFASが検出されたため、更なる調査を行っていく。
3	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：生活排水対策に要する経費	環境課	○		手賀沼水環境保全協議会と印旛沼水質保全協議会で行う水質改善事業に係る運営費を負担し、湖沼の水質改善に取り組む。	千葉県北部・北西部に位置する手賀沼・印旛沼は昭和30年代以降の都市化の影響により水質が悪化し環境基準を達成していない状況が続いている。手賀沼・印旛沼に流れ込む鎌ヶ谷市の水域にも更なる水質改善を図っていく必要がある。	2,609	3,523	2,922	2精査・検証	手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。	水質改善を図るため、鎌ヶ谷市内の公共用水域10カ所で行う水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。市民の意識向上の為、水質浄化の啓発活動回数を増やす。
4	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：手賀沼・印旛沼等水質保全に要する経費	環境課			手賀沼水環境保全協議会と印旛沼水質保全協議会で行う水質改善事業に係る運営費を負担し、湖沼の水質改善に取り組む。	協議会の運営並びに事業の一部に参画しているため、業務運営並びに運営費の効果的な活用に努める必要がある。	1,064	1,125	1,004	2精査・検証	水質改善の啓発活動や協議会の構成市として当会の効果的な運営を注視していく必要がある。	手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 環境保全の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：大気汚染・騒音・振動防止対策の推進に要する経費	環境課	○		基地を抱える鎌ヶ谷市として市民生活への影響を把握するため下総航空基地周辺騒音調査を行う（県4箇所、市1箇所）。また、県が自動車騒音対策を計画的総合的に行うため、騒音規制法第18条により市が自動車騒音の状況を常時監視することになっており、主要幹線道路の自動車騒音監視業務を行う。	本市が測定した下総航空基地周辺騒音調査では環境基準値を下回っていた。自動車騒音監視業務では環境基準達成率は87.7%であった。	2,468	2,152	3,255	2精査・検証	法令等により、市に義務付けられた業務であるため、下総航空基地や主要幹線道路による公害状況を今後も長期にわたって測定し、結果を注視していく必要がある。	下総航空基地への要望活動や県の自動車騒音対策の基データとして必要なため継続して実施する。
6	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：放射線対策に要する経費	環境課			市民の不安を解消するため、食品等の放射性物質の簡易測定検査及び、空間放射線量の測定を行う。	放射性物質の半減期は、30年と科学的にも立証されているため、長期にわたるモニタリングや、偶発的に放射線量が局所的に高くなるホットスポットの解消も必要になる。	1,769	33	35	2精査・検証	モニタリング結果は10年以上、基準値を下回っているため取りやめ、除去土壌の取扱いなどを注視していくため。	除去土壌を保管しているがその処分基準が示されていない。令和6年度末までに処分基準の策定方針が示されるとのことであるため、国の動向を注視していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 循環型社会の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：ごみ減量業務に要する経費	クリーン 推進課	○		有価物回収運動奨励金や生ごみ処理 容器等購入費補助金等を支出する。	循環型社会の構築には、ごみの減量 に繋がる資源化の促進を図る必要が あるが、有価物の回収量は減少傾向 にある。また、PTAの負担軽減の課 題が挙げられている。 生ごみ処理容器等購入費の補助金は 利用者が増加している傾向であり、 市民の関心の高まりも感じられるた め、制度を活用した生ごみの減量促 進につなげたい。	8,229	7,223	9,795	1拡大・拡充	ごみの減量化及び資源化の促進は、 市民に直接働きかけを行う施策であ るため、PR活動等を継続して実施 する必要がある。 生ごみ処理容器等購入費補助金は、 利用者が年々増加傾向にあるため、 当該制度の利用拡大を図りたい。	ごみ分別アプリを活用するなど啓発 の向上を図るとともに、さらに効率 的効果的にPRを行う。
2	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：旧クリーンセンター管理に要 する経費	クリーン 推進課			休止中である旧クリーンセンターの 維持管理を適正に行い、周辺環境や 安全を確保するもの。	・旧クリーンセンターは建設後35年 が経過し老朽化が顕著であり施設の 保全と安全の確保のため、周辺に十 分に配慮しながら適切な管理を要す る。 ・特に施設の内部の壁や天井、扉に 不具合が生じてきており、適切な対 応が必要である。	628	3,548	764	1拡大・拡充	効率的・効果的な管理について検証 を行いながら、継続して管理を行っ ていくため。	・施設の保全と安全の確保を目的と して、効率的な管理を行う。 ・必要最小限の対応がとれるよう、 計画的な点検を行いながら、必要な 修繕及び維持管理について実施す る。
3	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：最終処分場に要する経費	クリーン 推進課			埋立てが終了した鎌ヶ谷市一般廃棄 物最終処分場を適正に管理し、周辺 環境及び地下水の水質を保全するも の。	・埋立終了から20年が経過している ことから、廃止に向けて調査研究を 進めていくことが求められている。 ・当該用地は、環境衛生組合が行う 周辺整備実施事業計画区域にあたる ため、事業の進捗を見極めながら廃 止の手続きを検討する必要がある。 ・令和4年度の県の实地検査にて、浸 出液観測池の遮水シートの老朽化に よる破損が指摘されたため、必要に 応じた計画的な修繕を要している。	4,015	8,463	5,256	1拡大・拡充	埋立て終了から20年が経過してお り、廃止に向けて各種データ収集等 を行いながら、継続して維持管理を 行っていくため。	・安全を確保した適正な維持管理を 継続しながら、廃止に向けた各種 データの収集及び調査研究を行う。 ・浸出液観測池の遮水シート修繕の 必要性について確認しながら必要な 対応を実施していく。
4	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：ふれあい収集事業	クリーン 推進課	○	○	自らごみを出すことが困難な高齢者 や障がい者等に対して、ごみの戸別 収集となるふれあい収集事業を実施 することに伴い、柏・白井・鎌ヶ谷 環境衛生組合に係る経費等を負担す る。	適正な運用を図るため、利用者の要 望等を検証するとともに、引き続き 当事業の周知啓発を行う。また少子 高齢化の更なる進行により利用者の 増加が見込まれるため、環境衛生組 合と連携し事業経費の検証等が必要 となる。さらに3年ごとの利用者の 現況調査を実施する。	9,769	9,937	10,370	1拡大・拡充	少子高齢化により、さらに利用者の 増加が見込まれる。 ごみ出しが困難な方に対して、戸別 収集を行うことは、地域生活の負担 や不安の軽減につながるものであ る。	適正な運用を図るため、利用者の要 望等を検討するとともに、引き続き 必要とされる方に事業案内が伝わる ような効率的・効果的な啓発を実施 する。また、事業開始から3年経過 するため、現況調査を実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 循環型社会の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：道路の安全衛生管理に要する 経費	クリーン 推進課			道路上の小動物の死体処理、市民に よる側溝清掃で発生した汚泥処理等 を実施するもの。	市内のほぼ全域の路上等で、恒常的 に小動物の死体が発生している。ま た、市民による側溝清掃も各地区で 定期的に行われているため、いず れも速やかに回収を行い、路上等 の安全及び衛生管理を確保する必 要があるが、将来的に持続可能な 回収体制を構築することが課題とな っている。	5,068	4,838	6,589	2精査・検証	環境衛生の確保のため、道路上の 小動物や残土を速やかに回収する ため事業について精査・検証のう え継続する。	小動物の死体や側溝清掃の残土の 回収依頼に、速やかに対応できる よう、委託業者との連携を図りな がら、持続可能な体制を確保する。
6	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：清掃事務に要する経費	クリーン 推進課			廃棄物の出し方、分別などについ て、電話や窓口における相談やそ の他廃棄物処理に関する事務、苦 情処理等を行う。	日常的に窓口や電話対応による相 談や苦情の相談件数が非常に多く 、正規職員だけでは対応が十分で はないため、対応体制を確保する とともに、苦情や相談が減るよう ごみ出しに係る仕組みを整えるこ とも必要である。	106,003	56,363	7,621	2精査・検証	電話や窓口対応が日常的に多いた め、業務を熟知した会計年度任用 職員による対応を継続する必要が ある。	市民への指導内容等について統一 を図るため、正規職員・会計年度 任用職員間で常に情報共有を図る。
7	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組 合に要する経費（周辺整備等）	クリーン 推進課			廃棄物処理施設周辺住民に対する環 境整備を目的とした還元施設の維 持管理や周辺環境の改善に必要な 経費を負担するもの。	・廃棄物処理施設周辺整備につい ては、施設が立地する地域の環境 整備等に係る協定の履行が必要で あるが、構成市等の理解と協力を 要するため関係各所との調整を図 りながら着実に進めていく必要が ある。 ・柏市と共同処理に関する協議を 行っており、協議による影響が見 込まれる。	136,541	156,113	163,050	2精査・検証	還元施設の運営について常に検証 を行いながら、必要経費について 継続して負担していくため。	廃棄物処理施設の周辺整備に係る 協定の履行について進捗状況を 把握し、環境衛生組合及び構成 市等と協議を進める。また、柏 市と共同処理について協議を行 う。
8	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：廃棄物処理施設周辺整備事業	クリーン 推進課	○	○	廃棄物処理施設周辺の環境整備を 目的として、柏・白井・鎌ヶ谷環 境衛生組合が定める廃棄物処理 施設周辺整備基本計画に基づき 実施される事業に係る必要な経 費を負担するもの。	・廃棄物処理施設が立地する地区 と締結した協定に基づく周辺整備 基本計画の履行には、本市実施計 画に基づく着実な進捗及び事業費 の確保が必要である。 ・継続的に同地区の生活環境が向 上するよう、周辺整備基本計画の 実現に向け事業を実施する必要が ある。 ・柏市と共同処理に関する協議を 行っており、協議による影響が見 込まれる。	5,440	2,391	2,568	2精査・検証	補助制度の活用など、常に効率的 な実施を検討しながら、必要経 費について継続して負担していく ため。	廃棄物処理施設周辺整備基本計 画に基づき、引き続き構成市とし て事業の進捗を図る。また、柏 市と共同処理について協議を行 う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 循環型社会の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：廃棄物処理事務に要する経費	クリーン 推進課	○		ごみゼロ運動などの事業を主催する 環境美化対策推進協議会への補助金 の交付並びにごみの出し方パンフ レットの印刷、ごみ分別アプリの提 供や、ごみ集積所の登録などを行 う。	ごみ集積所は年々増加しているた め、集積所に必要なプレートや防鳥 ネットなどの消耗品が不足しないよ う調達する必要がある。ごみの分 別・減量化が進むよう、ごみ分別ア プリについてもすべての年齢層の方 が利用しやすいよう今後も改良し提 供する必要がある。	4,715	4,884	5,548	2精査・検証	増えていくごみ集積所について、適 正な利用者の運営環境を整えるた め、精査・検証のうえ継続する必要 がある。	利用者による適正なごみの分別及び ごみ集積所の運営環境を確保するた め、ごみの出し方についてアプリ ケーション、印刷物による啓発、出 前講座の実施を通して、さらに利用 者の利便性の向上を図る。
10	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組 合に要する経費（ごみ処理等）	クリーン 推進課			柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合構成 団体の地区内（柏市沼南地区・鎌ヶ 谷市全域）で排出されたごみを適正 処理するために建設された施設の建 設施設償還金及び移送運転管理等の 経費を負担するもの。	・柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に おいて、本市と柏市（旧沼南地区） のごみの共同処理を実施している が、20年以上経過し老朽化した施設 の継続した安定稼働を確保するた め、維持管理費の増加が見込まれ る。 ・柏市と共同処理に関する協議を 行っており、協議による影響が見込 まれる。	1,298,743	1,373,658	1,363,931	2精査・検証	継続して老朽化した施設の安定稼働 を図るための適切な維持管理及び運 営を行うとともに、柏市と共同処理 について協議を行っていくため。	環境衛生組合及び構成市とともにク リーンセンターしらかぎの運営が円 滑に進むよう継続して協議・調整を 進める。また、柏市と共同処理につ いて協議を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 環境衛生の向上】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：狂犬病予防等に要する経費	環境課	○		狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射（集合注射）を実施する。 登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。 また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。	狂犬病予防注射の接種率は全国平均70.9%（令和4年度）であるが、本市の令和5年度実績はそれを上回る76.9%となっている。狂犬病による被害を防止するため、引き続き、予防接種率の向上に努める必要がある。 また、飼い主のいない猫の不妊去勢手術件数は53件となり、予算に執行残額が生じてしまっている状態である。引き続き、件数の向上に努める必要がある。	3,908	7,939	7,414	1拡大・拡充	狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、予防注射を未接種の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。また、昨年度より狂犬病予防法の特例制度によるワンストップサービスを開始し、市民の利便性の向上に努めている。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。	狂犬病予防集合注射の接種率は増加したが、未接種の犬を減らすため、飼い主に対し接種を促すとともに接種率向上の対策を講じる。 「飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業」については、引き続き飼い主のいない猫の個体数の抑制を図り、1回の申請において5頭の頭数制限を設けることで、より多くの方に制度を利用して頂くよう周知するとともに、保健所巡回指導の強化を図る。
2	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：害虫駆除に要する経費	環境課			民有地にできたスズメバチの巣について、人的被害が及ばないよう、委託業者に駆除の依頼を行う。	気候変動や生活環境の変化などにより、今後、スズメバチの巣の駆除について、市民からの相談や駆除要請が増加する可能性がある。	861	517	959	1拡大・拡充	地球温暖化により、外来生物（害虫）が生存しやすい生態系になりつつあり、またその外来生物が原因で市民の安全を脅かす生活環境になりつつあるので、市民の安全・安心の観点からも、引き続き人の生命の危険を及ぼすスズメバチについては駆除を行う必要がある。	近年デング熱を媒介するヒシマカや、ヒアリ、セアカゲコモ等新たな外来害虫の生手が次々に確認され、今後も増加傾向が予想されるため、行政が駆除すべき害虫の選別や実施方法等の精査検証を行う必要がある。また、空き家の場合でも一部対応が可能となるようスズメバチの要領を改正する。
3	会計名：一般 款項目：4-2-3 事業名：し尿処理事務に要する経費	クリーン推進課	○		し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行うもの及び合併浄化槽の設置の補助を行い水質汚濁の改善を図るもの。	・物価上昇等により、汲取り・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数が伸び悩んでいる。 ・本市の汚水処理事業を経済的かつ効率的に推進できるよう公共下水道整備計画による進捗を注視する必要がある。 ・し尿処理手数料収入は、公共下水道等の普及進捗により減少してきている。	86,879	86,856	95,266	2精査・検証	・し尿処理事業を適切に運営するため、堅実な事業管理の継続と、更なる効率的・効果的な運営に努める。 ・合併処理浄化槽転換補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について検証を行いながら、継続して事業を展開し、また、水系保全・改善の観点から合併処理浄化槽の普及を図る。	・合併処理浄化槽への転換件数の増加を図るため、対象者に対してより効果的な周知を行い、当該制度の利用促進を図る。
4	会計名：一般 款項目：4-2-3 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費（し尿処理等）	クリーン推進課			柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合構成団体の地区内（柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市）で排出されたし尿及び浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の維持管理等の経費を負担するもの。	・アクアセンターあじさい稼働後20年以上が経過し、施設設備の老朽化の進行による維持管理費の増加が見込まれる。 ・国が定めるインフラ長寿命化基本計画に基づき環境衛生組合が作成した当該施設の個別施設計画を検証する必要がある。	204,808	247,703	241,706	2精査・検証	当該施設の老朽化が進行していることから必要な修繕計画を環境衛生組合と検討及び検証し、継続して適切な維持管理等に必要な経費を負担していくため。	当該施設の適切な機能保全のため、計画的な修繕等について、環境衛生組合及び構成市と継続して協議・調整を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 環境衛生の向上】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：生活排水対策に要する経費	環境課	○		水質を保全するため、水質汚濁防止法により公共用水域の水質の測定を行い、県に報告する。また、市民への河川等への浄化意識の啓発を促す。	千葉県北部・北西部に位置する手賀沼・印旛沼は昭和30年代以降の都市化の影響により水質が悪化し環境基準を達成していない状況が続いている。手賀沼・印旛沼に流れ込む鎌ヶ谷市の水域にも更なる水質改善を図っていく必要がある。	2,609	3,523	2,922	2精査・検証	手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。	水質改善を図るため、鎌ヶ谷市内の公共用水域10カ所で水質調査を行い汚染状況の把握をする。市民の意識向上の為、水質浄化の啓発活動回数を増やす。
6	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：四市複合事務組合に要する経費	環境課			斎場事業の運営にかかる分賦金として、管理運営費と施設整備費を支出している。	本市の利用率が高い馬込斎場については、継続的に安定的な運営が見込まれる。また、令和5年4月から火葬料金や式場料金の改定が行われたが、火葬料金については、令和7年度からしおかせホール茜浜と同額（値上げ）になるものの、市によって各斎場の利用率に差が見られることから、利用料の見直し等について検討の余地がある。	97,008	119,621	100,179	2精査・検証	斎場利用状況の将来予測等により、斎場事業の総合的な検討を行っている必要があるため。	本経費は四市複合事務組合へ支払う負担金額である。引き続き、適正な管理運営が行われているか確認する。
7	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：水道の衛生対策に要する経費	環境課	○		地方分権改革の推進のため平成25年度より保健所から権限移譲された事務（専用水道、簡易専用水道、小規模専用水道、小規模簡易専用水道）を実施する。	届出のある水道施設（16施設）の立入検査を実施している。また、専門知識を有する職員の確保・育成が必要である。	2,226	2,980	3,397	2精査・検証	法令等により、市に義務付けられた業務であるため、今後もより効率的な体制で事業を継続していく。	水道施設の立入検査を実施し、適正な飲用水の確保をするとともに、引き続き、事務（専用水道及び簡易専用水道）の習熟を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 良好な居住環境の確保】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-5-1 事業名：市営住宅の管理運営に要する経費	建築住宅課	○		市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。	市営住宅（全146戸）は昭和47年から昭和62年の間に建設され、住宅セーフティネットの中核として、福祉的な対応が求められているが、入居希望者数はほぼ横ばいである。入居者から施設の老朽化に伴う改善要望や、入居者の高齢化等に伴い福祉的対応が必要。	59,973	20,279	21,280	1拡大・拡充	適切な施設の維持管理及び入居者管理を図るために修繕箇所増加やシステムの更新など必要な経費の増加が見込まれるため。	家賃納入について管理システムを利用した口座振替への誘導を積極的に行うとともに、滞納者については個別にきめ細かな対応をする等徴収率の向上を目指す。
2	会計名：一般 款項目：8-5-2 事業名：空家等対策事業	建築住宅課	○	○	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。	空家等の所有者が死亡し、相続人の存在が明らかでないときや、相続人全員が相続放棄をするなどして、管理不全な空家等が放置されるケースが増えつつある。	6,724	4,739	4,339	1拡大・拡充	生活環境の保全及び防犯のまちづくりを推進するために、空家等について更なる適正な管理の推進と量の抑制に取り組む必要がある。	令和6年2月に策定した第2期空家等対策計画に基づき計画を推進する。
3	会計名：一般 款項目：8-1-2 事業名：建築指導に要する経費	建築住宅課	○		建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。	違反建築物等の防止を図るために検査済証交付率の向上が必要となるほか、相隣トラブルへの対応が必要。	1,143	9,260	10,894	2精査・検証	法律に基づく業務であるが、窓口や受付業務の対応方法など検討が必要。	令和5年度に引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。
4	会計名：一般 款項目：8-1-2 事業名：住宅耐震改修促進事業	建築住宅課	○	○	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。	旧耐震基準の木造住宅や、危険コンクリートブロック塀は依然として市内に多く存在することから、これらの促進を図るため補助の申請を増加させる必要がある。	3,234	941	6,930	2精査・検証	補助内容の拡充や、耐震化の必要性の周知及び相談を市が行うことで、市民が安心して相談等を行うことが出来る。	相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 良好な居住環境の確保】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：8-5-1 事業名：市営住宅長寿命化事業	建築住宅課	○	○	対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。	対象施設は、老朽化が進み、更新時期を迎えるものが増加する。これらを建替えや改修・修繕など効率的に長寿命化計画を推進していく必要がある。	75,879	9,545	164,648	2精査・検証	市営住宅は、老朽化が進み更新時期を迎えるものが増加するため、建替えや改修・修繕など効率的に長寿命化計画を推進していく必要がある。	令和6年度は栗野市営住宅1号棟屋上防水・外壁改修等工事及び栗野市営住宅2号棟屋上防水・外壁改修工事設計委託を実施する。
6	会計名：一般 款項目：8-5-2 事業名：住宅政策に要する経費	建築住宅課			特定空家等を除却するために必要な資金を貸し付ける。	経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置され、空家等が社会問題化している。	26	29	1,032	2精査・検証	空家等が社会問題化している中、経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置されることを防止する必要がある。	特定空家等所有者に対し法に基づく措置手続きを行うとともに、貸付制度等の情報提供を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 快適な公園・緑地空間の創出】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：公園維持管理に要する経費	公園緑地課	○		都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。	都市公園及びふれあいの森の箇所数の増加や既存施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加している。	231,514	264,799	226,901	1拡大・拡充	公園管理において、多くの地域住民が公園サポーターとして活動することで、公園に対する愛着や意識を高め、維持管理費の削減に努めていく必要があるため。	公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状態に応じた管理を行う。
2	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：地区公園整備事業	公園緑地課	○	○	市制記念公園水遊び場整備工事を実施する。	近年、夏は猛暑の日が続き、今後も毎年暑くなる中、本市には子どもたちが水遊びをする場所がなく、他市の公園へ行っているため、市内に気軽に遊べる水遊び場を造って欲しいという要望をいただいている。	0	19,220	0	1拡大・拡充	子育てしやすいまちづくりの一環として、未就学児が楽しめる施設の整備を進めていく必要があるため。	繰越となった工事を速やかに完了させ、5月3日のプレオープンを迎え、夏期に水遊び場を開放する。
3	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：公園施設長寿命化事業	公園緑地課	○	○	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。	修繕費や更新費の平準化を図り、計画的に事業を進めていくため、財源となる国費の確保が必要である。	34,636	23,912	16,010	1拡大・拡充	安心、安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に応じ順次維持や更新を実施する必要があるため。	新たに策定した、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施する。
4	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：緑化推進に要する経費	公園緑地課	○		公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。	個人所有の樹林地の適正な維持管理には相当な費用を要することから、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。	70,606	70,320	21,876	2精査・検証	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要である。	公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 快適な公園・緑地空間の創出】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：街区公園整備事業	公園緑地課	○	○	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。	アンケート調査では、公園は災害時の避難地としての役割や、かまどベンチの設置などが多く要望されており、防災意識の高揚が見受けられる。	97,791	33,985	59,555	2精査・検証	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の必要水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。	丸山三丁目ふれあいの森公園の整備工事をし、供用開始する。鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園の整備附帯工事を実施する。囃子水公園の再整備に伴う基本計画を策定する。
6	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：（仮称）緑道整備事業	公園緑地課	○	○	東京10号線延伸新線跡地の「公園・緑地・広場ゾーン」について、緑にふれあい、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の機能を有する施設の整備を行う。	整備については、社会資本整備総合交付金を活用し、市の財政負担の軽減を図ることとする。なお、交付金の活用にあたっては、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業のメニューを適用させることとする。	0	3,355	13,395	2精査・検証	当該地の整備にあたっては、当該地に求められる機能を確保するとともに、気候変動に伴う災害リスクの増大などの課題の解決を図るため、グリーンインフラの導入について積極的に検討することとする。	基本構想の策定を完了させる。基本構想に基づき、基本設計及び実施設計を行う。
7	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：（仮称）緑道整備事業	道路河川整備課	○	○	新鎌ヶ谷駅から北初富駅までの東京10号線延伸新線跡地について、令和7年度の供用開始に向けて自転車歩行者専用道路の整備を行う。	自転車歩行者専用道路の整備に向けた設計や工事等の実施にあたり、関係各課と調整しながら事業を推進していく必要がある。	0	11,592	237,000	4終了・廃止・休止	令和6年度に自転車歩行者専用道路の整備工事が完成する見込みであるため。	自転車歩行者専用道路の整備工事を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 治水対策の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：河川・水路整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市の雨水流末に位置する河川、水路改修事業について、事業主体市に流域面積に応じた負担金を支出する。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。下流の整備が進むことにより、市内の河川・水路施設の整備を図る。また、浸水被害に対する改善要望等が多い。	17,794	1,589	4,139	1拡大・拡充	治水対策として有効な事業であることから、雨水流末の河川、水路の整備を引き続き実施する必要があるため。	事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。
2	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：準用河川整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上を目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。河川整備が進むことにより、浸水被害の改善を図る。また、浸水被害に対する改善の要望等が多い。	277,410	255,156	86,337	1拡大・拡充	浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあるため、速やかに改修を行う必要があるため。	浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。
3	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：地域排水整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、道路冠水等の浸水被害が生じている。また、浸水被害に対する改善要望等が多い。	12,542	5,650	49,901	1拡大・拡充	治水対策として有効な事業であることから、放流先の整備状況や費用対効果を考慮し、事業を進める必要があるため。	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の調査を行い、事業化の検討を行う。
4	会計名：一般 款項目：8-3-1 事業名：河川事務に要する経費	道路河川 整備課			河川事業を行う中で必要な経費を支出する。	旅費、事務用品及び各種協会への負担金が主な内容であり経常的な経費である。	508	1,056	976	2精査・検証	河川事業を進めていく上で、必要な経費であるが、さらに精査・検証が必要であるため。	事務の効率化を図りながら、効率的な執行を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 治水対策の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：雨水浸透貯留に要する経費	道路河川 整備課			浸透施設の整備及び、市民協働事業 による過程で手軽に取り組める雨水 浸透施設等の設置を行うことで、雨 水管及び河川への負担を軽減させ る。	協働事業により、市民に対し、いか にして雨水浸透施設の普及・啓発を 進めるかが課題である。	12	0	0	2精査・検証	市民に対し雨水浸透貯留に対する知 識を深めて頂くため、市民協働事業 として平成20年度から開始した事業 でもあることから、事業の効果検証 の必要があるため。	今後さらに雨水浸透貯留の効果への 理解を深めて頂くための内容の精 査・検証を行う。
6	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：雨水貯留池整備事業	道路河川 整備課	○	○	大雨時における流出抑制のための貯 留池整備を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象 状況変化により、雨水の流出量が増 加し、河川の施設能力を超えるよう になった。整備は現時点で可能な最 も効果のある箇所に整備を図る。ま た、浸水被害に対する改善要望等が 多い。	11,220	118,529	60,400	2精査・検証	放流先の河川の能力が不十分となっ ている中で、貯留池整備は有効な治 水対策であるため。	串崎新田貯留池の整備工事を行う。
7	会計名：一般 款項目：8-3-1 事業名：河川管理に要する経費	道路河川 管理課			河川施設（調整池、貯留池）の財 産、機能の適正な管理を行う。	水路（法定外公物）が国から譲与 されたことにより、境界確定や占用 許可等の管理業務が増加している。	4,275	9,048	3,575	2精査・検証	河川台帳を整備し、河川のさらに適 正な管理を図る必要があるため。	河川台帳電子化のための検討を行 う。
8	会計名：一般 款項目：8-3-2 事業名：流域環境整備事業	道路河川 管理課	○	○	河川、水路、調整池の適正な管理を 行うため、除草、清掃やパトロール の委託を行うとともに、必要な補修 工事を行う。	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や 長持ちさせるための対策。	42,882	42,098	39,235	2精査・検証	法定管理者の責務として河川機能確 保と併せて周辺の生活環境の改善を 図る必要があるため。	鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた効率 的な点検方法を検討する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 持続可能な下水道事業の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：下水道事業 款項目：0-0-0 事業名：下水道事業会計（収益的収入 及び支出）	下水道課			公共下水道施設の適切な維持管理	老朽化する既存公共下水道施設につ いて計画的に改築更新を進める。 下水道整備後の未普及世帯の水洗化 が急務となっている。	1,713,096	1,763,957	1,749,462	1拡大・拡充	長期的な施設の状況を予測しなが ら、計画的かつ効率的な管理を行う ため、点検・調査を実施する必要があ る。 水洗化の促進を行い、生活環境の改 善を図る必要がある。	下水道施設の調査・点検を実施す る。 水洗化の普及を促進し、生活環境の 改善を図る。
2	会計名：下水道事業 款項目：0-0-0 事業名：下水道事業会計（資本的収入 及び支出）	下水道課			事業認可を取得している区域の管 きょの設計、施工	昭和49年度に印旛処理区、昭和57年 度に手賀沼処理区、平成25年度に江 戸川左岸処理区において、順次事業 に着手し公共下水道を整備するが、 普及率は近隣市よりも低い。	1,455,958	1,671,057	1,866,826	1拡大・拡充	公共用水域の水質保全や衛生的で快 適な生活環境の向上を図るため、公 共下水道の計画的な整備を進める。	コスト縮減や実施時期など効率的に 整備を進める。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 安全に利用できる道路環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-1-1 事業名：用地事務に要する経費	道路河川 整備課			事業用地取得後に係る参考図書の購入及び協議会負担金、研修費、旅費及び消耗品等の購入。	事業用地取得事務に関する法改正等による基準の変更等に迅速に対応する必要がある。	44	282	6,024	1拡大・拡充	事業用地取得事務に係る経常的な経費であり、千葉県との用地交換に係る委託費用を計上する必要が生じたため。	事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。また、千葉県との用地交換に係る委託を発注する。
2	会計名：一般 款項目：8-2-1 事業名：道路橋梁事務に要する経費	道路河川 整備課			主要市道や一般市道等の整備に伴う業務を遂行するうえで必要な経費。	道路網の整備、生活道路等の整備は追いついていない。 また、市管理用地を適正に維持管理していく必要がある。	952	2,838	3,582	1拡大・拡充	道路整備を進めていくうえで必要な経費であるため。	・関係機関と連携し交付金等の導入を積極的に図り道路事業を推進する。 ・作業着をまとめて購入することで効率的な支給と統一性の確保を行う。
3	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：主要市道整備事業	道路河川 整備課	○	○	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性や利便性を高め、生活環境の向上を図る。	主要市道でありながら歩道が整備されておらず、また舗装の劣化や損傷により改善が必要な路線を対象に、事業を推進する必要が生じている。	111,262	97,407	90,784	1拡大・拡充	市民意識調査「道路の状況」の結果から、不満足度を下げするために、主要市道の整備を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。
4	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：交差点改良事業	道路河川 整備課	○	○	交通量の多い主要な交差点を対象に、歩道設置や右折車線設置等の交差点改良を実施し、利用者の安全性の向上を図る。	交通が集中する交差点において、歩道待機スペースが無く、また交差点形状が悪いため見通しが阻害され、改善が必要な交差点がある。	2,405	3,434	33,203	1拡大・拡充	市民の方や学校関係者からの改善要望が多い交差点を中心に、整備を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 安全に利用できる道路環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：一般市道整備事業	道路河川 整備課	○	○	一般市道において、排水施設の整備、舗装改良、狹隘路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。	排水施設や舗装状況等に課題がある一般市道については、更なる改善が必要である。	23,081	33,048	138,016	1拡大・拡充	生活道路など市民生活に密接した一般市道の安全性や快適性の向上を図るため、引き続き整備を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。
6	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：通学路整備事業	道路河川 整備課	○	○	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。	緊急合同点検により対策が必要な通学路を抽出し歩道整備に取り組んでいるが、他にも対策が必要な路線がある。	34,468	89,493	15,907	1拡大・拡充	市民の方や学校関係者からの改善要望が多い通学路の整備を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。
7	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：街路事務に要する経費	道路河川 整備課			都市計画道路や連続立体交差事業などの街路事業の業務を遂行するうえで必要となる経費。	都市計画道路等の街路事業の整備率が低く、機能的な道路ネットワークの構築に至っていない。 また、市管理用地を適正に維持管理していく必要がある。	2,048	1,107	8,124	1拡大・拡充	街路事業を進めていくうえで必要な経費であるため。	・事業の効率化を図りながら事業経費の執行を行う。 ・市管理用地の適正な維持管理を行う。
8	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：北千葉道路整備推進に要する経費	道路河川 整備課			沿線7市等で構成する北千葉道路建設促進期成同盟の事務局として要望活動や特別講演会に伴う事務を行う。	効果的な要望活動を行い、北千葉道路の早期事業化及び全線同時開通を目指す。	1,688	1,743	2,046	1拡大・拡充	未事業化区間の早期事業化を推進するために必要な経費であるため。	事業の進展に合わせて活動内容を精査し、引き続き国、県に対して効果的な要望活動を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 安全に利用できる道路環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：都市計画道路3・4・5号船 橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川 整備課	○	○	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。	バイパス道としての機能を早期に発揮するべく事業に取り組んでいる。	1,959	3,887	9,263	1拡大・拡充	北千葉道路の推進に伴い、道路ネットワーク構築の観点からバイパス道の整備は重要となるため。	引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。
10	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	道路河川 整備課	○	○	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。	用地取得を鋭意進めており、戸建て地権者を中心に協力を得られ約25パーセントの取得率である。引き続き地権者の協力を得ながら事業を推進する。	133,981	86,009	59,058	1拡大・拡充	新鎌ヶ谷周辺地区など中心市街地の交通環境改善が期待される事業であることから引き続き事業を推進していく必要がある。	交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。
11	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：私道整備事業	道路河川 整備課	○	○	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。	私道舗装整備要綱の見直しを行い、補修工事についても実施することとなったことから、この制度を広く市民に周知する必要がある。	1,955	1,791	2,675	2精査・検証	道路は市民生活に必要不可欠であることから、地域の要望を精査検証しながら事業を進めていく必要があるため。	申請のあった際には早期に私道整備工事を発注することが出来るよう、申請者と調整を行う。
12	会計名：一般 款項目：8-1-1 事業名：道路管理に要する経費	道路河川 管理課			市道及び法定外公共物の財産、機能の適正な管理を行う。	開発行為による道路の帰属等により、道路は増加傾向にあり、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	27,726	23,618	30,376	2精査・検証	道路台帳の電子化により、窓口での照会等の時間短縮に繋がり業務改善が図れたが、今後も施設に付随する情報や図書関係の管理のシステム化を検討して行く必要があるため。	道路台帳情報の更新及び追加情報の検討。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 安全に利用できる道路環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通安全対策に要する経費	道路河川 管理課	○		交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。	交通事故発生件数のうち高齢者が占める割合が増加傾向にあるため、高齢者への交通安全対策が課題である。	12,267	29,079	28,984	2精査・検証	鎌ヶ谷市内の令和5年の人身事故件数は年間242件であり、令和3年の254件から減少傾向にあるが、今後も効果的な交通安全対策を行う必要があるため。	啓発パンフレットの有効な配布と活用、交通事故発生箇所における安全対策の検証。
14	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：自転車駐車場整備・維持管理に要する経費	道路河川 管理課			(公財) 自転車駐輪場整備センターで設置・運営している新鎌ヶ谷駅東口暫定自転車等駐輪場用地購入及び新鎌ヶ谷駅西口暫定自転車等駐車場の用地借地に関すること。	新鎌ヶ谷駅周辺の自転車駐車施設のセンター運営は時限契約であるため、市営に引き継いだ後の維持管理業務。	13,232	13,117	13,012	2精査・検証	市内駅周辺では自転車等駐輪場は十分に確保されているが、民間駐輪場は今後の土地利用により減少する可能性があり、駐車場確保のための取組が必要となるため。	民間駐輪場の動向への注視。
15	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：放置自転車対策に要する経費	道路河川 管理課			市内6駅周辺で指定している放置禁止区域内における自転車の放置指導、撤去、移送及び保管、返還業務。	放置禁止の啓発活動の拡充。	7,412	7,543	8,481	2精査・検証	放置自転車の台数は減少傾向が続いており、令和5年度の撤去台数は81台となったが、依然として道路での自転車の放置の実態があることから、今後もより効果的な啓発を行う必要があるため。	啓発パンフレットの有効な配布と活用。
16	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通災害共済事務に要する経費	道路河川 管理課			県内41市町村で共同して運営する交通事故による死傷者に対する共済制度で、この制度への加入受付、見舞金の支払を行うもの。	新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、見送っていた自治会回覧を再開したことにより令和4年度の加入者数1,691人を令和5年度も維持した。引き続き、加入数維持の方策を継続する。	495	506	560	2精査・検証	共済制度加入により、交通事故死傷者及び家族（遺族）への経済的負担軽減が目的であり、継続的に加入する市民が多いため。	加入数維持のための方策の継続。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 安全に利用できる道路環境の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：通学路・歩道等整備事業	道路河川 管理課	○	○	登下校時における児童生徒の安全確保を図るため、通学路の交通安全施設の整備を行う。また、歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。	歩道整備には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。	0	33,683	36,550	2精査・検証	令和5年度より「10款通学路安全対策事業」から移行した安全施設設置工事などを含め、引き続き道路の機能管理面の安全確保の責務を継続する。	通学路安全対策および歩道等総合整備計画に基づく効果的な推進。
18	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通安全施設更新事業	道路河川 管理課	○	○	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。	市民要望やパトロール等により随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。	2,578	2,597	3,071	2精査・検証	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。
19	会計名：一般 款項目：8-2-2 事業名：道路維持・補修事業	道路河川 管理課	○	○	市民要望や市内パトロール等により得た情報を基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。	市民要望やパトロール等により随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。	136,266	218,764	150,973	2精査・検証	法定管理者としての機能維持に努めることが必要なため。	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討および道路通報システムの導入。
20	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：新京成線連続立体交差事業	道路河川 整備課	○	○	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。	令和元年12月に全線高架化が完了し、引き続き令和6年度の事業完了に向けて関連側道などの周辺整備や清算業務等を行う必要がある。	124,576	178,694	170,996	3縮小・統合	令和6年度が事業の最終年度であるため。	事業完了に向けて関連側道などの周辺整備や清算業務等を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 魅力ある都市機能の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：景観形成事務に要する経費	都市計画課	○		鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。	良好な都市景観の形成を図るため、地区の特性に合わせた景観形成内容の周知や現状の把握に取組む必要がある。	34	41	71	1拡大・拡充	鎌ヶ谷市景観計画は策定から10年を迎えた。今まで積み重ねてきた知見を元に、市民や事業者へより分かりやすく解説できるよう、景観ガイドラインの改定を行うことは、より良好な景観形成に資することに繋がるため。	鎌ヶ谷市景観ガイドラインの見直し方針を作成し、景観審議会による検討を進める。
2	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：新鎌ヶ谷地区広域交流拠点形成推進に要する経費	都市計画課			新鎌ヶ谷地区において更なる広域交流拠点機能の集積や地区の賑わいづくりのため地域の活性化やコミュニティの形成を推進する。	地区の現状及び、まちづくり活動に対する企業、地域住民の意識が把握できてきた中で、今後ご理解・ご協力を得られるよう市内部における他事業との調整を図る必要がある	25,853	26,130	29,665	1拡大・拡充	新鎌ヶ谷地区において、魅力ある地域づくりをするためには、新鎌ヶ谷駅自由通路の適切な維持管理は、必要不可欠である。また、住民の意識醸成に合わせた施策展開が必要であり、さらに、地区周辺のまちづくりも検討していく必要があるため。	新鎌ヶ谷駅自由通路の点検や、活用方法などの検討を行う。また、地域住民のまちづくり活動に対する意識醸成を見据えつつ、利用者や住民ニーズに適した対応を検討する。
3	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。	初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	3,410	26,844	7,645	1拡大・拡充	初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また、市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進するには、用地の確保に向け関係地権者と合意形成を図る必要があるため。	用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。
4	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：近隣商業拠点整備事業	都市計画課	○	○	近隣商業拠点の一翼を担う北初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。	北初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	1,912	61,128	4,029	1拡大・拡充	北初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また、地域住民や駅利用者の利便性の向上を図るため推進する必要がある。引き続き用地の確保に向け、関係地権者と合意形成を図る必要があるため。	計画区域内にある所有者不明土地について、相続財産清算人や所有者不明土地管理人の制度を活用するため、裁判所に申立てを行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 魅力ある都市機能の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：都市計画事務に要する経費	都市計画課	○		市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。	本市の都市施設（都市計画道路等）、地域地図（生産緑地地区等）の変更に伴い、数値地形図データ他備え付け資料図を修正し、都市計画図の印刷、都市計画支援システムデータの更新を行う必要がある。	6,780	4,241	4,325	2精査・検証	広く一般公衆に本市の都市計画を周知する必要があることから必要不可欠である。	生産緑地地区等の変更に合わせて都市計画図を発注する。
6	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：開発指導事務に要する経費	都市計画課			良好な住環境の確保を目的として、市街化区域での宅地造成、大規模建築や市街化調整区域の住宅建築などに伴う開発許可制度の適切な運用を行うもの。	市街化区域における開発許可等の申請件数はテレワーク導入企業の増加に伴う住宅需要の影響により、宅地造成が増加している。また、市街化調整区域においては、少子高齢化に対応する社会福祉施設等の相談が増加傾向にあり、今後も相談及び許可申請は増えることが見込まれる。	2,992	3,047	3,784	2精査・検証	良好な住環境の確保のため、公共施設等の整備基準や開発等の立地について開発許可基準や規則を定めている開発許可制度は今後も必要となるため。	鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱の精査及び条理化、立地基準の調査研究を行う。
7	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			北総線沿線の活性化に資するため、北総線車両のラッピングを、千葉県及び北総線沿線の自治体と北総鉄道で構成する「北総線沿線地域活性化協議会」の事業として実施するもの。	沿線地域の知名度向上や、地域に活力を生む若い世代の北総線沿線への居住促進に繋げる必要がある。	933	955	1,596	2精査・検証	本事業により広告が掲載された車両が東京都内や日本の空の玄関口である羽田空港に運行した。それにより、多くの方に本市を認知頂く機会となり、本市を訪れて頂くことで賑わいの創出や居住のきっかけとなり、本市の活性化に繋がるため。	北総線沿線の自治体と北総鉄道（株）で、地域の魅力発信に資する広告を作成し、車体外板へのラッピング及び車内広告スペースに掲出する。
8	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：公共交通事業者等特別支援金に要する経費	都市計画課			燃油の価格上昇等が公共交通事業者の経営に及ぼす影響を緩和し、事業の維持及び継続を図る国の交付金等を活用し感染拡大防止策及び事業継続及び燃料高騰分対応を目的に助成する。	バスやタクシー等の運転手が不足していること、燃料高騰の影響も大きいことから、国の交付金等を活用し引き続き助成を行う必要がある。	8,844	18,468	0	2精査・検証	バスやタクシー等の運転手が不足していること、燃料高騰の影響も大きいことから、国の交付金等を活用し引き続き助成を行う必要がある。	国の交付金等を活用し物価高騰に対応した検討をする。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 魅力ある都市機能の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図る。	運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動の確保等、コミュニティバス利用者の利便性について検討する必要がある。	74,859	81,790	87,390	2精査・検証	超高齢社会への対応として、地域活動や生涯学習の参加などからコミュニティバスの運行は不可欠である。また、令和8年度以降の新たな運行計画を策定する必要がある。	東武鎌ヶ谷駅「ききょう号」バス停について、上屋ベンチを設置する。鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会により検討をする。
10	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：北千葉道路沿線土地利用整備構想策定事業	都市計画課	○	○	市長公約である「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」を進めるため、北千葉道路沿線の将来土地利用に係る調査・検討を行い、整備構想を取りまとめる。	北千葉道路の事業化を見据え、市民意向や企業ニーズの把握を踏まえながら、土地利用の方向性及び実現化方策の検討が必要。	0	0	10,000	2精査・検証	土地利用の方向性及び実現化方策の検討を行うため、継続的に事業を進める必要があるため。	市街化調整区域全域の現況把握、各種法令の整理を行い、市街化調整区域を取り巻く課題を明らかにするとともに、将来土地利用方針の検討を行う。
11	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：市街地整備に要する経費	都市計画課			まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。	市街地の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	2,720	3,074	4,787	2精査・検証	効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。	市街地の整備に関する現状を適切に把握し、職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法を検討する。
12	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：近隣商業拠点整備に要する経費	都市計画課			近隣商業拠点の整備に必要な経費の支出。	近隣商業拠点の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	1,379	1,367	1,355	2精査・検証	効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。	近隣商業拠点の整備に関する経費の適正な予算計上を検討する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 魅力ある都市機能の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	都市計画課	○	○	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。	新鎌ヶ谷駅利用者の利便性や駅周辺の回遊性を高められるよう関係機関との調整を整える必要がある。	2,024	43,481	690,481	2精査・検証	広域交流拠点として、更なる魅力あるまちづくりを進めていく必要があるため。	千葉県が所有する東京10号線延伸新線跡地の取得を目指すとともに、当該地において新鎌ヶ谷駅前にふさわしい土地活用を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 持続可能な都市農業の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：6-1-2 事業名：農業総務事務に要する経費	農業振興課			主に消耗品費、賃金（会計年度任用職員）及び放射性物質検査等に係る費用である。	震災から10年以上経過しており、ここ数年は放射線量も安定している。 千葉県や近隣市の状況を踏まえ、事業の在り方を検討する。	4,807	2,055	2,431	2精査・検証	本市では約半数の農業者が消費者に直接販売する直売所を設けており、市が行う農産物の放射性物質スクリーニング検査は、その結果を常に注視する必要があるため。	安心・安全な農産物の提供にあたり、検査対象の品目数や検体数を検証して事業を実施する。
2	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業振興資金融資等に要する経費	農業振興課			農協と覚書を取り交わし預託する。 その預託金を原資として農業者に資金貸付けを行い、利子の一部を市が負担する。	新規就農者の伸び悩みは後継者不足だけではなく、機械・設備購入の負担が大きいと考えられる。 機械・設備購入の際の利子補給を充実させ、農業経営の安定化及び振興を図る必要がある。	25,607	25,534	25,903	2精査・検証	農業経営の安定化等をはかるため、融資制度の効果的な運用を精査・検証する必要があるため。	農業者の更なる利用促進に向け、利子補給率及び融資範囲について、定期的に精査・検証する。
3	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：市民農園に要する経費	農業振興課	○		市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。	本市が進める都市農業において、市街化区域内の農地を農業者以外に貸し出す本制度を継続し、農業への理解を深める必要がある。 近隣の市町村では、民間企業が運営する貸し農園が増えており、その需要は高いと推測される。	1,631	1,631	1,632	2精査・検証	環境整備を行い利用者の利便性を高めていく必要があるため。	引き続き環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上を図り、市民農園の拡充について調査研究する。
4	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：鎌ヶ谷農産物ブランド育成に要する経費	農業振興課	○		市内農産物の販路拡大及び安定供給のためPRを図る。	引き続きブランド化に意欲的な農業者に対して、鎌ヶ谷ブランド農産物認定農家・生産者団体の推進を図るとともに、鎌ヶ谷市の農産物の特色や活用について改めて見直す必要がある。	6,053	5,243	7,128	2精査・検証	市のマスコットキャラクターかまたんや農産物ブランドロゴマーク等を活用した更なる農産物のPRを検討する必要があるため。	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、かまたんを活用した農産物のPRを強化する。 また、販路拡大の新規事業として、可処分所得の多い都心の居住者をターゲットにしたイベントを開催する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 持続可能な都市農業の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：援農ボランティア推進に要する経費	農業振興課	○		援農ボランティア養成講座を実施して、ボランティアを育成・派遣する。	当該事業の目的は、農業者の高齢化による担い手不足の解消であるが、近年は受講修了者の減少から支援を希望する農家の意向がかなえられていない状況である。	250	250	250	2精査・検証	人員不足の傾向にある農業において、改革・改善対策を検討する必要があるため。	受入れ希望の農業者とのマッチングを円滑に行うため、受講内容、募集の工夫、受講期間のあり方を検証し、受入れ希望農家への講座参加を促す。
6	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業振興対策事業に要する経費	農業振興課	○		農業経営の安定化を図るべく、補助金等の支援を行う。	全国的に農業者の高齢化や担い手不足が進行している。 農林業センサスにおいて、基本三指標（経営体数・耕地面積・従事者数）が5年毎の調査の度に減少している。	13,847	11,239	6,568	2精査・検証	営農環境が変化していく中で、各農業団体へ補助金を交付し、本市の農業経営の安定的な発展が必要があるため。	引き続き農業関係団体の安定的な発展のため、補助金を交付する。
7	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業関係者等との連携に要する経費	農業振興課			農業行政全般に係る各種事業の実施案内等の周知徹底と、基本方針の決定を図るための委員報酬。	農家実行組合は、本市からの情報伝達や意見集約など本市農業の推進において重要な役割を果たしている。 農家が減少している現状において、引き続き協働で取り組む必要がある。	155	155	165	2精査・検証	農業者に有益な情報を効率よく提供するため。	農業経営体の発展の観点から、相互連携体制の拡充、農業者にとって有益な情報の周知を積極的に行う。
8	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業関係団体との協力事業に要する経費	農業振興課			農業経営体の育成、健全な運営のために、各農業団体へ負担金を支払う。	全国的に農業者の高齢化や担い手不足が進行している。 農林業センサスにおいて、基本三指標（経営体数・耕地面積・従事者数）が5年毎の調査の度に減少している。	1,225	1,220	1,566	2精査・検証	営農環境が変化していく中で、各農業団体へ補助金を交付し、本市の農業経営の安定的な発展が必要があるため。	引き続き農業関係団体の安定的な発展のため、負担金を交付する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 持続可能な都市農業の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：果樹剪定枝リサイクル事業	農業振興課	○	○	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした糞尿吸着材等を生産する。	従来、果樹剪定枝の処分は、農業者が畑で焼却処分することが通常であった。しかしながら、本市で推進する都市農業では、畑の周辺に住宅が立ち並び、焼却処分が難しくなっている。また、世界的に温暖化が進み環境問題としても捉えられていることから、単純に焼却するのではなく、リサイクルに重点を置く必要がある。	9,753	9,753	20,385	2精査・検証	農業者の負担を軽減するため行政が事業として介入する意味がある。また、環境に配慮した農業を持続する必要があるため。	事業を安定的に実施するため、現在取り組んでいる糞尿吸着剤以外の処理方法を調査研究する。 また、梨の剪定枝等を製鉄に利用する取り組みについて、鉄鋼メーカーであるJFE商事との協議を引き続き進めていく。
10	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：インターネット梨販売事業	農業振興課	○	○	本市の特産品である梨の販路拡大のため、インターネットを活用して梨を販売する農家団体に対し、補助金を交付する。併せてインターネット梨販売のプロモーション等を継続して行う。	本市は、県内有数の梨の産地であるが、産地間競争が激しさを増す中で、鎌ヶ谷の梨の知名度を向上させる必要があるため、当該事業により販路拡大、販売促進、ブランド化の確立を目指す。	1,894	1,567	1,678	2精査・検証	将来的に農家団体が自走できるよう、体制整備を進めるとともに、当該事業を通して梨のブランド化を図る必要があるため。	農家団体の自走に向けて、補助金を段階的に減額していくことから、引き続き安定した販売方法について精査・検証する必要がある。
11	会計名：一般 款項目：6-1-4 事業名：畜産振興に要する経費	農業振興課			鎌ヶ谷市家畜防疫協会等に対して、補助金等の支援を行う。	畜産農家が全国的に減少している中、引き続き、協会と連携し各種伝染病の発生の防止と家畜防疫体制の強化が必要である。	323	311	286	2精査・検証	各種伝染病の発生の防止と家畜防疫体制の確立のため。	継続して家畜の健康管理や防疫体制を整えるため負担金を支払う。
12	会計名：一般 款項目：6-1-5 事業名：農地事務に要する経費	農業振興課			県営手賀沼土地改良施設の維持管理及び印旛沼流域の土地改良施設の維持管理費等に係る負担金を支払う。	昭和43年に完成した手賀沼干拓事業から築後50余年が経過し、老朽化が目立っている。 これまでも排水機能の低下が見られることから、老朽箇所や不良箇所の補修、交換整備を行い施設機能の保全を図る必要がある。	1,194	1,075	1,523	2精査・検証	排水機場の施設維持管理は、受益地域である流域市町村が携わる必要があるため。	引き続き業務内容を精査し、本市の負担割合に応じた事業費を支払う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 持続可能な都市農業の構築】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：13-2-6 事業名：森林環境譲与税基金積立に要する経費	農業振興課			国内における森林の維持や管理、森林資源の活用を促進する。	世界的に環境問題が取り上げられ、木材製品等の利用が増えている。引き続き庁内へ森林環境譲与税の活用を促し有効活用していくことが必要である。	11,662	11,662	10,000	2精査・検証	引き続き精査・検証を行い、事業を推進していく必要があるため。	引き続き木材製品等への活用について推進するため、財政担当課と協力して庁内周知等に取り組む。
14	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：都市計画事務に要する経費	都市計画課	○		市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。	本市の都市施設（都市計画道路等）、地域地図（生産緑地地区等）の変更に伴い、数値地形図データ他備え付け資料図を修正し、都市計画図の印刷、都市計画支援システムデータの更新を行う必要がある。	6,780	4,241	4,325	2精査・検証	広く一般公衆に本市の都市計画を周知する必要があることから必要不可欠である。	生産緑地地区等の変更に合わせて都市計画図を発注する。
15	会計名：一般 款項目：6-1-1 事業名：農業委員会事務局の運営に要する経費	農業委員会事務局	○		農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会等に関する法律に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。	農業委員及び農地利用最適化推進委員が、共通認識を持ち、連携して取り組む必要がある。	10,411	10,770	10,991	2精査・検証	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。	農地の集約・集積を加速するために、農地利用最適化推進委員と農業委員の共同した取り組みを推進する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 商工業の振興及び観光施策の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：5-1-1 事業名：雇用安定事務に要する経費	商工観光課	○		中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。	コロナ禍と比べ持ち直しの動きがあるものの物価高騰等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	3,973	4,060	5,043	2精査・検証	経済、雇用情勢については持ち直しの動きがあるものの物価高騰等の影響が懸念されており、市内の中小企業で働く従業員の福祉の向上及び就労希望者の要望に応えられるよう、求人求職の相談・紹介をし、雇用の安定化を引き続き図っていく必要があるため。	雇用の安定化を図り、求人求職の相談・紹介をしやすくするため、中小企業退職金共済掛金補助金や無料職業紹介所の積極的な周知を行う。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して市広報紙・ホームページ・SNSにより周知及び実施し、積極的な就職支援を行う。
2	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：商工業振興に要する経費	商工観光課	○		市内中小企業等が組織する団体に対して、補助金交付等による支援を行う。	高齢化に伴う閉店や、新規加入者の減少等により、会員数が減少している団体が散見されることから、各団体におけるランニングコスト軽減に係る支援を行う必要がある。	23,507	21,800	24,282	2精査・検証	後継者不足や新規加入者の減少に加え、原材料費の高騰等により、厳しい経済状況であることから、引き続き、各団体に対して支援を行う必要があるため。	老朽化した商店会街路灯の撤去やLED化を促進することにより、高騰が続いている光熱費等の負担軽減を図ることで、アフターコロナにおける各団体のイベントの開催を後押しする。
3	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：中小企業資金融資等に要する経費	商工観光課	○		中小企業に対する資金融資の実行や、当該融資における利子補給金の交付等により、中小企業の支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響に関しては縮小、施策の効果により持ち直し傾向にあったものの、原油価格や物価高騰、円安等の影響により、依然として厳しい経済状況が続いている。	190,877	102,628	99,246	2精査・検証	中小企業の経営環境は、物価高騰等の影響により先行き不透明であることから、引き続き、資金調達に係る支援を行う必要があるため。	市中金利が上昇傾向にあることから、次年度以降の本市資金融資制度の金利の決定における参考とするため、近隣市等と情報交換の促進を図る。また、市ホームページやパンフレットの配架等により、制度の周知を図る。
4	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：企業誘致基本計画推進事業	商工観光課	○	○	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。	今後も地域経済の活性化、雇用機会の創出、税収の増加等に繋がる新たな企業の立地が求められる。北千葉道路整備状況等、本市を取り巻く環境の変化によって、企業進出の機運が高まることが期待される。	3,953	4,084	5,545	2精査・検証	企業誘致は地域経済の活性化及び市の財政基盤の強化に繋がることから、引き続きプロジェクトマネージャーを積極的に活用し、本事業を継続していく必要があるため。	担当者情報共有会議による庁内連携強化に加え、金融機関との更なる連携強化を行っていく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 商工業の振興及び観光施策の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：空き店舗活用事業	商工観光課	○	○	賑わい創出を図るため、商店会の空き店舗を活用の上、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限100万円）を補助する。	売上減少や後継者問題等により店舗の閉店が増加し、シャッター街化している商店会が少なくない。出店の相談があった場合、適切に相談に乗れるよう各地域における課題を把握する必要がある。	3,000	1,000	3,000	2精査・検証	商店会の空き店舗を活用し、集客に役立つ施設及び店舗の開店等を支援することで、賑わいの創出を図っていく必要があるため。	より多くの人に活用してもらえるよう積極的に事業の周知を行う。また、本事業活用にに対し事業継続に繋がるようフォローアップを行う。
6	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：創業支援事業	商工観光課	○	○	民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。	本市では創業支援を行うべく、「創業支援等事業計画」の認定を国から受けている。平成28年度以降、創業支援セミナーを開催しているが、受講者は創業までにある程度の期間を要することから、継続的な支援が必要である。	2,690	2,690	3,000	2精査・検証	セミナーの開催等により、創業機運の醸成及び創業者等をサポートすることで、将来的には商工業の振興を通じた地域活性化に繋がるため。	前年度の実施状況を踏まえ、開催方法や開催時期及び期間について検討し、参加者にとってよりよいセミナーとなるよう努め、参加率の向上を図る。
7	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	商工観光課	○	○	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内事業者の支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化、少子高齢化やデジタル社会の進展等、近年、生活環境が大きく変化し、同補助金の申請内容も多種多様化していることから、多角的な視点による審査が求められている。	4,507	2,007	4,521	2精査・検証	引き続き、補助金交付による新事業の支援を行うとともに、実績報告会の開催による事業者同士の横の繋がりが持てる機会を提供することで、市内商工業の振興及び発展に繋げるため。	多角的な審査が行えるよう、審査委員を増やすとともに、事業者間の更なる連携に寄与するため、積極的な実績報告会への参加を促す。また、空き店舗活用補助金活用者との交流機会を設け、更なる事業者間の繋がりを図る。
8	会計名：一般 款項目：7-1-4 事業名：観光振興に要する経費	商工観光課	○		観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助金を支出する。	市の認知度やブランド力向上に資するため、ふるさと産品の更なる普及・促進に取り組むとともに、観光客のニーズや環境の変化に対応した観光施策を考えていく必要がある。	920	1,958	1,107	2精査・検証	観光は総合産業であり、にぎわいを創出し、市の魅力を向上させていくために、引き続き観光施策を推進していく必要があるため。	観光は総合産業という視点のもと、関係部署や事業者と連携し、第2期観光ビジョンに基づいた事業を実施する。また、第2期観光ビジョンで定めた新規アクションの具体的な取組方法について検討する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 商工業の振興及び観光施策の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：キャッシュレス決済ポイント 還元事業	商工観光課	○	○	市内の対象店舗における支払いの際にキャッシュレス決済（PayPay）を利用した場合、決済1回につき1,000円相当、期間中合計5,000円相当を上限とし、当該消費者に対し15%分のポイントを付与する。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格や物価高騰により、市民生活はひっ迫している。また、市内中小企業等においては、コスト増による経営状況が依然として厳しく、利益を確保することが難しいため、消費の下支えを行い、地域経済の活性化を図る必要がある。	120,570	78,169	0	4終了・廃止・休止	国から交付された地方創生臨時交付金を活用し、実施した事業であるため、単年度で終了とする。	なし

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 消費者の安全及び安心の確保】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：7-1-3 事業名：消費者対策に要する経費	商工観光課	○		消費者被害に対する相談業務や、啓発のための講座の開催及びチラシの配布等を行う。	商品や購入方法の多様化に加え、生活スタイルに大きな違いが出てきたことで、問題が複雑・巧妙化してきている。また、令和4年4月1日民法改正により、成年年齢が引き下げとなったため、対象者に対して啓発する必要がある	6,441	6,605	7,237	2精査・検証	商品や購入方法の多様化、消費者問題の複雑化に対応するため、現在の状況を精査し、事業内容を検討していく必要があるため。	「消費生活」という言葉の認知度向上のため、引き続き講座・啓発チラシの作成を行い、消費者トラブルが身近であることや相談場所があることを広くPRする。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 生涯学習の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：生涯学習の推進に要する経費	生涯学習 推進課			市民の生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する。 また、学校を地域の生涯学習の拠点として、市民の学習や交流の場となるよう地域に開放し、生涯学習・生涯スポーツ活動を推進する。	学校施設開放事業は、施設開放業務だけに留まらず、当該事業を通し、人と人とのつながり、地域とのつながり、子どもたちの見守りにつながる地域社会の形成につながる業務である。その中で、開放施設に限られるなか、より多くの市民が利用できるよう公平で有効な施設の活用が必要であり、利用団体のルール遵守の徹底が必要である。	3,696	3,859	4,288	2精査・検証	鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画を踏まえ、学校施設開放事業等については多くの市民の生涯学習活動の場であることから、引き続き推進していく必要があるため。	平日の個人開放日の拡大について要望に対応できるよう、学校と調整を図り検討する。
2	会計名：一般 款項目：10-4-2 事業名：生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	生涯学習 推進課			安定した施設予約システムの提供や学習機会の充実、学習情報の収集・提供、適切な施設の維持管理を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。学習ニーズに対応した学習情報を提供するため、ニーズの把握や提供方法に工夫が必要である。	33,338	33,227	36,084	2精査・検証	市民の多様な学習ニーズに対応できる事業を実施する。ホームページや掲示物等の様々な媒体を利用し幅広く情報提供する。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関係機関と連携し、魅力ある事業を実施する。ホームページや掲示物等の様々な媒体を利用し幅広く情報提供する。
3	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：学習センターの管理運営に要する経費	生涯学習 推進課	○		地域の学習拠点としての有効性を高め、学習機会の充実、学習情報の収集・提供、適切な施設の維持管理を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。こうしたニーズに応える講座の提供が求められる。	103,038	101,955	116,977	2精査・検証	地域の生涯学習の拠点として、市民の多様な学習ニーズに対応し、サービス向上や学習機会の充実を図る必要があるため。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関係機関と連携を深め、事業を展開していく。また、学習成果の地域還元や、市民相互の交流機会の創出等の方策について創意工夫し事業を実施する。
4	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：学習センター等改修事業	生涯学習 推進課	○	○	学習センターの利便性の向上及び長寿命化を目的とし、安心・安全な学習環境を整えるため改修工事等を行う。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加が予想される。大規模修繕以外の多額の費用のかかる修繕の取扱いは検討が必要である。	239,493	29,655	72,173	2精査・検証	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習の場を安定的に提供するため。	利用者の利便性向上のため、経年劣化が進んでいる施設設備改修工事を行う。北部公民館では下水道、トイレ改修工事設計委託及びLED照明改修工事設計委託を行い、南部公民館ではトイレ改修工事、東部学習センターでは、受変電設備修繕を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 生涯学習の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館の管理運営に要する経費	図書館			図書館システムを活用した図書資料の貸出業務・レザレンス等を行うとともに各世代に向けたサービスを提供する。	生涯学習の意欲の高まりに伴い従来の図書館サービスの提供に加え、多様な情報提供への取組が求められている。	106,008	117,101	117,274	2精査・検証	生涯学習の支援機関として時代の要請に応じ資料の整備・充実及びレザレンス等が求められており、多様な利用者ニーズを把握し応えていく必要があるため。	「鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画」に位置付けられた事業を引き続き実施するとともに、令和6年10月～5年間を契約期間とする図書館システムについて、市民サービスを向上すべく更新作業を実施していく。
6	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館蔵書・資料整備事業	図書館	○	○	社会の要請や地域の実情を踏まえながら、利用者の多岐にわたる要求に的確に応えられるように、必要とする図書や情報を積極的に提供する。	利用者のニーズを踏まえ、多岐にわたる分野において、図書・視聴覚資料の充実が求められている。	15,500	15,500	15,500	2精査・検証	利用者の多様化するニーズを把握し、多岐にわたる分野において図書・視聴覚資料の充実を図っていく必要がある。	令和6年度に実施する外部書庫の設計を見据え、図書館レイアウト、蔵書の保管方法等について検討する。
7	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館改修事業	図書館	○	○	図書館の設備の利便性の向上や長寿命化を目的として建物、設備等の改修工事を行う。	図書館の建物、設備の経年劣化に伴う改修を計画的に行う必要がある。	1,296	56,839	166,951	2精査・検証	昭和62年に開館し37年が経過している施設の状況を把握し、必要な改修を行うとともに利用者のサービスの向上を図っていく必要がある。	令和5年度に実施した外壁等改修工事設計に基づき令和6・7年度の2ケ年で外壁・建具・屋上防水・LED照明・駐車場整備等の工事を行うとともに外部書庫の設計を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 芸術文化の振興及び歴史的資源の保存活用】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：歴史的建造物保存活用事業	文化・スポーツ課	○	○	令和2年に国登録有形文化財となった澁谷家住宅を保存及び活用するために、敷地を含めた公有地化、修繕工事などを実施する。 公開活用に向けた保存活用計画を作成する。	国登録有形文化財に登録されたことにより、市民からの問い合わせも増え、地元の文化財に対する関心は高まっている。 また、地元自治会では自治会館内に澁谷総司資料室を作っており、澁谷家住宅と一体の活用が必要である。	146,991	6,161	3,231	1拡大・拡充	市内最古級の建造物であり幕末草莽の志士澁谷総司の生家でもあるため、市の歴史を知る上でも貴重な文化財であることから、保存・活用の方針を定めて整備工事を進めていく必要があるため。	保存活用計画の文化庁認定を受ける。 保存活用計画に基づき公開に向けた整備工事の基本設計を行う。
2	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：埋蔵文化財活用整理事業	文化・スポーツ課	○	○	平成29年度に本調査を実施した中沢貝塚24次調査、令和2年度に本調査を実施した中沢貝塚29次調査の出土資料を整理、分析し、発掘調査報告書を刊行する。	市内でも大規模な遺跡である中沢貝塚は本調査後に未整理の状態であるため、整理・分析を進めて資料を活用していく必要がある。	3,517	4,103	4,309	1拡大・拡充	令和6年度も令和5年度に引き続き、中沢貝塚24次調査・29次調査の整理作業を実施する。	中沢貝塚24次、29次調査の出土遺物の洗浄・注記分類・接合復元作業を実施する。 中沢貝塚24次調査に関しては出土遺物の実測作業を委託する。
3	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○		指定管理者によるきらりホールとの管理運営及びきらり鎌ヶ谷市民会館の維持管理を行う。	きらりホールは、有料事業も行える本格的なホールであることから、発表の場としての市民のニーズは高い。また、指定管理者による民間業者のノウハウを活用した更なるサービスの向上が見込まれる。	197,318	202,839	202,818	1拡大・拡充	施設の管理運営状況及びサービス向上について、引き続き指定管理者の事業を検証していく。また、設置10年を経過し、経年劣化による不具合が増えている。運営に支障をきたさないよう、きらりホール長寿命化計画に基づき、予防保全の取組みが必要である。	施設の管理運営状況及びサービス向上の視点からモニタリングを実施する。また、設備の状況について把握に努め、舞台運営などに支障がないようにする。さらに、令和7年度から令和11年度までの指定管理候補者を選定し、指定後は新たな指定期間開始に向けた協議及び調整を行う。
4	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：文化財保護に要する経費	文化・スポーツ課	○		文化財の指定・指定文化財の管理・埋蔵文化財発掘調査に関わる業務を行う。	首都圏近郊に位置する本市の地理的環境により、各種開発の波が市内にも及び、埋蔵文化財（遺跡）の保存策を講じる必要がある。	6,577	6,281	7,140	2精査・検証	埋蔵文化財保護事業は行政の責務であり、各種開発が本市でも行われていることから、継続して実施する必要がある。	文化財保存活用地域計画に基づき、市指定文化財・登録有形文化財、その他市内の保存すべき文化財について、所有者と連携しながら適切な管理・活用を行う。埋蔵文化財に関しては、調査が必要な案件は、迅速かつ遺漏のないように対応していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 芸術文化の振興及び歴史的資源の保存活用】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：文化振興に要する経費	文化・ス ポーツ課	○		芸術文化に親しみ、参加できる機会（市民文化祭、芸術鑑賞教室、美術展覧会等）を創出する。	市主催、共催の芸術文化行事の参加者（出演者、出品者、来場者等）の高齢化が進み、高齢を理由に活動から離れてしまう傾向がある。新たなコミュニティの広がりが必要である。	2,366	2,624	2,845	2精査・検証	芸術文化活動への参加機会及び鑑賞機会の提供は、地域に根ざした芸術文化活動の活性化や、新たな市民文化の創造を図るために必要である。	市主催、共催の芸術文化事業を実施し、市民に芸術文化活動への参加機会や芸術文化にふれる機会を提供する。芸術鑑賞教室については、会場変更に伴い実施回数が減ってしまうため、新たな芸術文化の体験機会を提供する。
6	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：民間開発による埋蔵文化財調査に要する経費	文化・ス ポーツ課			本調査が必要と判断した事業地の取扱いについて、事業者と協議を行い、事業者の負担により本調査を実施する。	民間開発で、本調査を実施する場合、事業者との調査委託契約や委託金納入、スケジュール調整などの協議に時間を要するため、迅速な対応が必要である。	794	0	3,139	2精査・検証	民間開発に伴う事業者の費用負担による遺跡の記録保存に対応する業務のため、実施に備える必要がある。	外因的な要素に起因するが、案件が発生した際には迅速に対応する。全額負担が困難な零細業者への県補助の調整を図る。
7	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	文化・ス ポーツ課	○	○	国史跡下総小金中野牧跡の維持管理、周知普及および保存管理を実施する。	史跡を保護するために国史跡として公有化を進め、指定後は周知普及に努めた結果、市の地域資源として市民に浸透してきたことにより、事業実施時などに整備を望む声が寄せられている。	3,957	4,219	75,097	2精査・検証	史跡地を保存活用し、周知普及事業の実施や、清掃管理を行い、史跡に対する市民意識の醸成を図ることが必要となるため。また、所有者での維持が難しくなった県史跡範囲の土地を保護していくために公有地化が必要であるため。	引き続き国史跡を定期的に巡視し、適正な管理を行う。イベント開催に対する制限が無くなったため、コロナ禍以前の規模に戻し、更なる周知に努める。史跡に追加指定された土地の公有地化に向けて準備を進める。
8	会計名：一般 款項目：10-4-6 事業名：郷土資料館の管理運営に要する経費	郷土資料 館	○		郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集し、これを保存及び展示して、市民の利用に供し、その教養学術及び文化の発展に寄与します。	市民の資料活用に対する要望が増えている（昔の地勢調査や学校などの周年史作成での活用希望）ため、資料検索効率の向上 郷土資料館の老朽化と修繕 収集した資料の整理・保管、特に保管場所の確保	13,705	16,118	11,721	2精査・検証	資料の収集・整理を進め、新たに発見、認識された資料を展示や講座などで活用することで、市の歴史に興味を持ってもらう機会も多様となり、より多くの市民の方にふるさと意識の醸成を図ることができた。また、新たな資料発掘にもつながった。	資料の収集、整理、保管の環境の整備を継続して実施していく。  長寿命化に向け、施設管理において、設備の老朽化による不調箇所の確認、施設維持に必要な対応をするための点検実施。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 生涯スポーツの振興】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：スポーツ施設維持補修事業	文化・ス ポーツ課	○	○	スポーツ施設の適正な維持管理のため、施設の修繕及び工事等を行う。	市民が快適にスポーツできる環境を確保するため、今後も施設の維持管理を徹底する必要がある。	52,546	56,977	455,315	1拡大・拡充	各スポーツ施設における安全対策・整備が必要であるため。	スポーツ施設改修等計画に基づき、各施設の改修工事を行っていく。
2	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：体育施設の管理運営に要する経費	文化・ス ポーツ課	○		体育施設の適正な維持管理を行う。	体育施設の老朽化により、計画的な改修を行う必要がある。	90,269	94,195	85,989	2精査・検証	複数の体育施設が老朽化しており、予算の範囲内で計画的に修繕等を行っていく必要があるため。	モニタリングを引き続き実施し、各施設の管理運営状況を把握し、快適な体育施設の維持管理に努める。
3	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：スポーツ振興に要する経費	文化・ス ポーツ課	○		スポーツ活動の推進を図り、生涯にわたり心身ともに健全ないきがいのある暮らしができるようにする。	事業の目的を達成するため、スポーツ関係団体（スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団）事業及び北海道日本ハムファイターズとの連携事業を推進していく必要がある。	18,382	26,334	25,719	2精査・検証	全てのイベントが例年どおり開催できるようになったが、今後のイベント実施方法等について検討する必要があるため。	気温上昇に伴い、夏場のイベント実施について、参加者の安全に十分配慮していく。 市民体育館休館中に行われる市民大会について、学校施設等の代替会場で開催できるように調整する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 協働及び市民公益活動等の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：協働の推進に要する経費	市民活動 推進課	○		協働によるまちづくりの推進を図るため、「鎌ヶ谷市 協働のためのアクションプラン2」に掲げた各施策を展開する。	従来からの少子高齢化や地方分権の進展に加え、新型コロナウイルス感染症収束後も影響を受けており、地域社会を取り巻く環境の変化は著しく、地域課題も新たなものが浮き彫りになるなどさらに多様化しており、まちづくりにおける協働の重要性はますます高くなっている。	1,297	2,155	4,316	2精査・検証	市民公益活動団体の活動の推進のため、「市民活動応援補助金」による活動支援や、地域づくりコーディネーターの活用により多様な主体を繋ぐことで、市の市民公益活動を活性化させる必要がある。	市民公益活動団体の活動や多様な主体の協働の推進のため、「市民活動応援補助金」や地域づくりコーディネーターの活用促進を図るとともに、包括協定を締結した大学との協働事業を実施する。
2	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：地域振興に要する経費	市民活動 推進課			地域振興を図るため、自治会連合協議会等や市民まつり実行委員会への支援を行うもの。	社会意識の変化等による自治会加入率の低下に加え、コロナ禍における社会活動の自粛が徐々に緩和されていることも併い、地域コミュニティ推進に対する期待はむしろ高まっており、市民まつりや自治会活動を通じて地域振興を図る必要が生じている。	17,875	21,034	23,304	2精査・検証	地域活性化やまちづくりに必要となる協働事業であるため。	鎌ヶ谷市民まつりや鎌ヶ谷市自治会連合協議会へ支援を行い、市民まつりや自治会活動を通じて地域振興を図る。
3	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：市民活動推進センターの管理運営に要する経費	市民活動 推進課	○		市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベントの実施、情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。	市民公益活動団体が、従来からの会員の高齢化などによる担い手不足に加え、新型コロナウイルス感染症収束後も影響を受けており、活動が停滞気味であったり、団体の解散を余儀なくされている状態のため、市民公益活動団体の強化や、多様な主体を繋ぐコーディネーターの育成などが必要である。	2,927	3,218	5,349	2精査・検証	市民公益活動団体の活動の推進のため、市の協働アドバイザーや地域づくりコーディネーターの一層の周知を図り、積極的に活用してもらい、市の市民公益活動を活性化させる必要がある。	市民公益活動団体の活動や多様な主体の協働の推進のため、市の協働アドバイザーや地域づくりコーディネーターの一層の周知を図る。
4	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：自治会集会所整備助成事業	市民活動 推進課	○	○	防犯・防災活動や環境美化活動など、地域のコミュニティ活動の拠点となる自治会集会所の新築等に際し補助金を助成するもの。	集会所の建替を希望する自治会への相談対応や、集会所を所有していない自治会へ借家事業の案内など、地域の実情に合った事業を行えるよう支援する必要が生じている。	435	1,156	23,300	2精査・検証	老朽化している自治会が数か所あり、今後も計画的な整備が必要となるため。	富岡自治会集会所借家事業への補助を引き続き実施するとともに、道野辺おおば自治会集会所新築事業への補助を実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 協働及び市民公益活動等の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：2-1-12 事業名：各種相談に要する経費	市民活動 推進課			市民が社会生活を営む中で発生する 様々な問題の解決の援助をするた め、各種相談を実施する。	少子高齢化社会や高度情報化社会な どによる急速な生活環境や地域社会 との関わり方の変化などにより、相 談内容も多様化・複雑化している。	1,716	1,734	1,725	2精査・検証	各種相談に対する市民ニーズが高い ため、引き続き市民が必要としてい る相談を精査し、より効率的な体制 を検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策とし て相談受付可能枠を制限していた が、令和5年5月より相談受付可能 枠の数を新型コロナ流行前に戻して 対応している。
6	会計名：一般 款項目：2-1-13 事業名：コミュニティセンターの管理 運営に要する経費	市民活動 推進課	○		コミュニティセンター及び軽井沢地 区集会所について、市民の自主的活 動の場を提供するため、施設の維持 管理を行うもの。	指定管理者制度が導入されている3 館については、モニタリング等で利 用者のニーズを把握した上で、指定 管理者に対して適正な指導を行い、 継続的に市民サービスの向上を図っ ていく必要が生じている。	52,427	48,001	47,689	2精査・検証	コミュニティセンターは地域住民の 活動及び交流の拠点となっており、 高齢化が進む中、地域住民にとっ ての価値が高まっているため。	引き続き指定管理者へのモニタリン グや利用者懇談会等で利用者からの 意見聴取を実施し、より良い施設の 管理運営を行っていく。
7	会計名：一般 款項目：2-1-13 事業名：コミュニティセンター等改修 事業	市民活動 推進課	○	○	公共施設の長寿命化計画に基づき、 経年劣化した施設の外壁、屋上防水 等の改修を行うもの。	各施設の老朽化が進む中、不具合や 故障が発生する前に予防的な改修を 行うことにより経費を抑制すること が課題となっている。	15,247	11,530	36,238	2精査・検証	公共施設の長寿命化計画に基づき、 今後も計画的な整備が必要となるた め。	引き続き栗野コミュニティセンター 外壁等改修工事を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 共生社会の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：男女共同参画推進に要する経費	市民活動 推進課	○		男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画計画に基づく各施策を実施し、その進行管理を行う。	千葉県では多様性尊重条例が、国では困難女性支援法が施行されるなど人権や男女共同参画を取り巻く状況は変化が著しい。本市も令和7年4月からのパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の施行に向け関係部署が性の多様性に対する意識を持つとともに、次期男女共同参画計画では、これらの新しい分野について盛り込んだ内容を検討していく必要がある。	90	246	192	1拡大・拡充	令和7年度の本市のパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の施行や困難女性支援法の施行に伴う対応として、事業費の増加が見込まれるため。	第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画に基づいた事業を実施し、市民、市職員、事業所に対し男女共同参画の意識の推進を図る。
2	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	企画財政 課	○		多文化共生推進センター（愛称：かまがやワールドプラザ）を拠点として、外国人に関する相談業務の実施、行政情報の発信、個人及び団体相互間の交流場所として提供などを行うもの。	アンケート結果では、多文化共生推進センターの認知度が低い状況であり、市に求めるものとして、交流イベントの実施、相談場所の設置要望が高い。	3,726	3,558	5,496	2精査・検証	オンラインによる交流等が進んだことにより、利用者は減少傾向にあるが、引き続き、市民が多文化共生を理解し、外国人住民との交流、地域連携を推進するための機会を提供していく必要があるため。	・通訳ボランティアの育成及び周知を図り、登録者を増加する。 ・外国人住民から要望の高いイベントの実施や相談体制の充実を図る。 ・外国人住民が必要とする情報をチラシ及びメールなどで発信する。 ・外国人アンケートの結果を踏まえ、改善策を検討する。
3	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：多文化共生・国際交流に要する経費	企画財政 課	○		外国人住民にも住みやすい環境づくりや市民の多文化共生に関する意識醸成を図るため、行政資料の多言語化を実施するとともに、日本語教室や多文化共生に係る事業を実施する団体へ補助を行う。 また、ニュージーランド・ワカタネとの姉妹都市交流を行うとともに、ウクライナ避難民への支援を行う。	・市内在住の外国人人口の推移は、総人口における割合は高くなっている。国籍や使用言語が多様化し、行政手続きにおける対応が求められるため、行政資料の多言語化による窓口支援や、外国人支援を行う団体等と連携する必要がある。 ・ウクライナ避難民への支援について、国際情勢や国による支援の動向等を注視しつつ、市の支援体制を検討する必要がある。	0	995	3,113	2精査・検証	外国人住民の増加が見込まれるため、多文化共生事業等の補助制度を継続して活用されるよう周知する必要があるため。 ウクライナ避難民の支援については、今後も必要な支援を継続する必要があるため。 また、後援した国際イベントの周知などを、引き続き実施する必要があるため。	・外国人支援や多文化共生・国際交流に係る事業の公募を継続して実施するとともに外国人住民による行政手続きが円滑に行われるよう、資料の多言語化を引き続き推進する。 ・外国人アンケートの結果を踏まえ、改善策を検討する。 ・継続的にウクライナ避難民への支援を実施するとともに、姉妹都市交流について、トライデント高校生の受入についてホストファミリーと連携して交流を深める。
4	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	市民活動 推進課			男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業および、女性が抱える様々な問題について自らが解決できるように相談事業を実施する。	効果的に男女共同参画の推進を図るため、ターゲットを明確にし、イベントや講座の実施方法を再検討する必要がある。 DV被害者からの相談が重なった場合に対応できる職員が不足する可能性が生じている。	5,114	5,060	6,582	2精査・検証	男女共同参画の啓発に関しては実施方法の精査をしつつ継続する。一方で、DV被害者等の相談・支援については、相談者の人命に関わる緊急性の高い案件が発生し、複数重なる場合があるため、常に職員が対応できるよう、支援体制を検証する必要がある。	講座等啓発事業についてはニーズを把握しつつテーマを決定する。 DV被害者等の支援のため、迅速な連絡手段の確保や、緊急性の高い相談が重なった場合にも対応できるよう、支援体制について検証を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 共生社会の充実】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：人権施策に要する経費	市民活動 推進課	○		基本的人権を擁護するため、人権擁護委員と連携して相談業務及び啓発活動を実施する。	インターネット上の誹謗中傷や、ジェンダーに関する問題など、社会情勢に応じて発生する差別や偏見の解消に向けた啓発を行っていく必要がある。 人権擁護委員の成り手の減少が懸念される。	497	638	955	2精査・検証	基本的人権の保障については生活の根幹をなすものであり、その啓発については継続的に行う必要があるため。	人権擁護委員と連携して市民に対し相談業務及び啓発活動をすることで、基本的人権意識の定着を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：職員研修に要する経費	総務課	○		研修計画に基づき、階層別に組織が必要としている能力を習得する階層別研修、主体的に自己を高める職員を支援する実務研修および自主研修、高度で専門的な知識を体系的、集中的に習得する派遣研修を実施する。	職員のさらなる能力開発のため、効果の高い研修や、専門職の能力開発に資する研修が求められている。また、より効果的な研修を実施するためにも、研修実施から一定期間後に効果検証を行う必要がある。	2,648	3,761	4,916	1拡大・拡充	効果の高い研修や、専門職の能力開発に資するため、外部講師の活用や他の機関との連携を積極的に取り入れていく。	・能力開発に向け、大学等と連携し、研修を行う。 ・外部講師も活用し、効果の高い研修を実施する。 ・研修実施から一定期間後に効果検証を行う。
2	会計名：一般 款項目：2-1-4 事業名：文書管理に要する経費	総務課			適正文書管理を行う。また、複写機の適正な使用につき指導し、事務の効率化や経費削減を行う。	複写機の使用状況等を把握し、適切な機器の使用等を行うことに努める。	79,019	82,857	83,868	1拡大・拡充	コピー用紙等の価格上昇に対応するため、デジタル化を見据えた庁内のペーパーレス化の検討を行っている。引き続き、国や他自治体の動向を踏まえ、適正文書管理のあり方につき精査していく。	新型コロナウイルスの5類移行による行事等の再開や10月以降の郵便料金値上げにより、印刷や通信運搬費に係るコストの増加が予想されることから、効率的な手段の検討を継続する。また、デジタル化推進に向けた電子決裁の導入に関する検討を行う。
3	会計名：一般 款項目：2-5-2 事業名：諸統計調査事務に要する経費	総務課			国の基幹統計調査等を実施する。	統計調査員の高齢化により、調査員が減少するなど調査環境が年々厳しくなってきている。	1,579	5,815	2,656	1拡大・拡充	調査規模が年度により変動し、令和5年度から7年度にかけては拡大するなか、登録調査員数が減少しており、引き続き調査員確保が必要であるため。一方で調査員の質の確保も重要であるため。	調査員確保の手段を研究し、継続的に統計調査業務ができる新たな調査員を確保する。調査員への説明会の方法についてより確実に理解してもらえよう工夫を要する。
4	会計名：一般 款項目：13-2-1 事業名：財政調整基金積立に要する経費	企画財政課			予期しない収入減少や支出増加等に備え、長期的視野に立った財政運営を行うため、財政調整基金に積立を行うもの。	令和5年度残高見込みは約21億9千万円で、「19億円以上」という財政健全化計画の数値目標の達成が見込まれる。	1,422,044	1,249,329	13	1拡大・拡充	物価高騰や少子高齢化等による不透明な財政状況も考慮のうえ、基金残高を増やしておく必要があるため。	財政健全化計画の数値目標である19億円以上の残高を確保できるように取り組んでいく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：13-2-2 事業名：減債基金積立に要する経費	企画財政課			市債の償還に必要な財源を確保するため、減債基金に積立てを行うもの。	令和7年度にかけて公債費は37億円台という高い水準が見込まれているため、計画的かつ確実な積立てが必要である。	300,557	411,484	50,024	1拡大・拡充	公債費の償還に対応するため、基金残高を確保しておく必要があるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、減債基金への積立てを確実に行う。
6	会計名：一般 款項目：13-2-3 事業名：公共施設整備基金積立に要する経費	企画財政課			公共施設の計画的かつ効率的な整備及び維持管理を行うため、公共施設整備基金に積立てを行うもの。	公共施設の老朽化に対応するため、積極的な積立てが必要である。	300,010	100,241	9	1拡大・拡充	公共施設の老朽化に対応するため、一定程度の基金残高を確保しておく必要があるため。	令和5年度実質収支を活用して、積立てを行う。
7	会計名：一般 款項目：2-1-10 事業名：情報推進に要する経費	企画財政課	○		LGWAN接続系及びインターネット接続系の各種情報システムの導入・更新・運用及び保守を行うもの。	業務効率の更なる向上を目指すため、業務個別デジタル化ではなく、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の観点から、業務のプロセスやデータを標準化・共通化等の変革を前提として、デジタル化を進める必要がある。	96,878	115,109	129,144	1拡大・拡充	デジタル化への対応と同時に、情報セキュリティに求められる水準も高まっているため。	メールセキュリティの向上、ペーパーレス会議システムの正式導入、Office365ライセンスの調達・管理等を実施する。 情報漏えい対策を強化しつつ、デジタルツールの活用等を進めることで、業務の効率化を図る。
8	会計名：一般 款項目：2-1-10 事業名：オンライン業務に要する経費	企画財政課	○		住民記録や税情報などの個人番号利用事務系の各種情報システムの導入・更新・運用及び保守を行うもの。	国が進めるシステムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化に対応する必要があるとともに、高い情報セキュリティを確保する必要がある。	27,441	21,063	35,329	1拡大・拡充	システムの標準化・共通化及び行政手続きのオンライン化に対応するため、業務担当課及びシステムベンダー等と調整を行い、高い情報セキュリティを確保したうえで、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る。	システムの標準化・共通化及び行政手続きのオンライン化に対応するため、業務担当課及びシステムベンダー等と調整を行い、高い情報セキュリティを確保したうえで、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：財務管理に要する経費	企画財政課	○		財務管理を効果的・効率的に行うため、予算編成、執行管理など財務会計システムを運用するとともに、国・県等との調整やふるさと納税返礼品事業、地方公会計制度の推進を行うもの。	予算編成などに対する職員の理解を深める必要がある。 ふるさと納税返礼品事業は総務省基準厳格化により対前年度で減っており、対応を行う必要がある。 地方公会計制度については、活用が課題となっている。	35,592	35,472	54,831	1拡大・拡充	行革プランにおいて、財務会計システムは各所属の意見を踏まえて改善を行うこととしていること、ふるさと納税返礼品事業は令和8年度に寄附額1億円を目標としていること、地方公会計は活用方針に基づく活用を行うこととしているため。	財務会計システムは、庁内意見を踏まえ、反映可能なものから改善を行う。 ふるさと納税返礼品事業は体験型返礼品の充実など対応を行う。 地方公会計制度は、活用方針に基づく活用を行う。
10	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：固定資産税課税事務に要する経費	課税課			土地、家屋、償却資産の所有者に適正な固定資産税を課税するため、登記情報、各課からの情報提供、システム等を活用し、客体の把握、調査、評価を行うとともに、納税義務者に対して適正な通知を行う。	家屋の新築や増築、滅失、固定資産の所有権移転、償却資産の保有状況の変動について、土地係及び家屋係で連携して把握し、固定資産課税台帳を適正に整備する必要がある。	53,507	32,877	40,296	1拡大・拡充	【精査・検証】 ・税制改正などに関する職員の知識の向上や、システム改修の検討など、常に精査・検証していく必要があるため。 【拡大・拡充】 ・令和7年1月のシステム標準化に向けて、標準準拠システムへの移行を着実に実施する必要があるため。 ・償却資産の申告に係る事務について、現在は個別の書類作成や宛名の印刷、封入などを手作業で行っているが、事務の効率化に加えて通知の誤送付の防止を図るべく、業務委託を検討する必要があるため。	・税制改正などの内容の把握及び適正な課税を行う。 ・事務の電子化やオンライン化について、職員のシステムに関する技術習熟度を高めるとともに、紙媒体の減少などコスト削減を継続的に検討する。 ・償却資産の申告に係る事務の委託について、既存の委託業務内容における妥当性や費用対効果を考慮し、効果的な方法の検討、実施に向けた具体的な手続を行う。
11	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁用車管理に要する経費	契約管財課			本市の各種業務で使用する庁用車を安全に使用できるよう、老朽化した車両の更新や適切に維持管理を行う。	本市では、100台を超える庁用車を保有している中で、引き続き、老朽化した車両の更新や適切な維持管理に努めるとともに、更新にあたっては地球温暖化対策に資する車両の選定、道路交通法施行規則の改正に基づく、飲酒運転防止対策を行う必要がある。	45,427	48,048	58,116	1拡大・拡充	本市の公用車更新基準に基づく車両の更新にあたっては、積極的にハイブリット車を選定していくとともに、道路交通法施行規則の改正を踏まえて、アルコール検知器の購入を行う必要があるため。	・車両の老朽化及び新たな更新基準の内容に基づき、庁用車の選定及び更新を行う。（庁用車更新事業で詳細を記載） ・道路交通法施行規則の改正に基づくアルコール検知器の購入及び各課への配布。（運行日誌は改正済） ・安全運転管理者講習会の内容等を踏まえて、各課通知だけでなく、職員の安全運転意識の向上のための有効な取組みを検討する。
12	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁用車更新事業	契約管財課	○	○	老朽化した庁用車について、公用車更新基準に基づき更新し、適正な維持管理を行う。	令和3年10月に国が「温室効果ガスの排出の削減等のため実施すべき措置について定める計画」を決定したことを受けて、公用車更新基準を見直し、エネルギー使用及び排出ガスの抑制された車両を購入する。	3,859	5,824	5,031	1拡大・拡充	本市の公用車更新基準に基づく車両の更新にあたっては、低燃費かつ低排出ガス認定車や、ハイブリット車を選定していく。	公用車更新基準に基づき、脱炭素化を推進するため、電動車を積極的に推進することを基本とし、代替できる電動車がある場合は、原則としてハイブリット車を選定し、代替できない電動車がない場合は、軽自動車等の低燃費の車両及び低排出ガスの認定を受けている車両を選定する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：2-1-6 事業名：出納事務に要する経費	会計課			支出伝票等の審査支払事務や領収済通知書等による収入票の作成及び公金の出納管理を行う。	・出納事務の正確かつ迅速な処理、安全な資産管理など、適正な会計事務の執行を確保する必要がある。 ・本庁舎内の窓口収納について、多様な支払方法の提供による利便性の向上とデジタル化の推進を図るため、会計課窓口にキャッシュレス決済端末を設置し、令和6年10月から運用を開始する。	3,150	4,178	4,815	1拡大・拡充	・キャッシュレス決済端末の設置にかかる費用を計上したため。	・限られた職員数で事務処理を行えるよう、担当事務だけではなく会計事務全般を行うことができるよう業務遂行能力の向上を図る。 ・内国為替制度の公金適用開始に伴い、公金の振込手数料が有料化となる令和7年4月を見据え、支出削減の対策に取り組む。
14	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：総務事務に要する経費	総務課			市の保有する情報の開示請求など情報公開・個人情報保護に関する事務、行政不服審査法に基づく事務等を行うとともに、各種分担金の支出などを行う。	情報公開制度及び個人情報保護制度の趣旨、制度の内容等を職員に周知していく必要がある。	15,140	18,364	19,001	2精査・検証	情報公開制度及び個人情報保護制度についての職員の意識を高めていく必要があるため。各所属で公文書開示請求や保有個人情報の開示請求を受けた際に、法に則った適正な対応を行うため。	情報公開と個人情報保護制度の考え方について、引き続き研修等を実施し、周知・サポートを徹底していく。令和5年度から新たな個人情報保護制度が開始したため、引き続き国や他自治体等の動向をみながら、制度を円滑に運用する。
15	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：訴訟関係事務に要する経費	総務課			法律相談について、顧問弁護士に法的な観点からの助言を受け、適正な市政運営を行うとともに、訴訟が提起された場合は、市の主張を法廷で行う。	出来る限り訴訟への移行とならないよう、より正確かつ丁寧な事務を執り行えるよう助言等のサポート体制が求められる。	880	881	890	2精査・検証	相談内容のポイントを整理し、適切な時期に法律相談ができるように検証する必要があるため。法律相談の効果的な活用を検証するため。	訴訟事務への理解を深め、問題の解決に向けた迅速な対応を行う。法律相談は、意思決定の判断材料であることの意識付けを行う。
16	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：人事管理に要する経費	総務課	○		所属に対する人事ヒアリング、自己申告制度、競争試験を実施し、最適な人材配置、優秀な人材確保を行う。また、人事評価制度や組織等運営委員会等の実施により、業務改善、職員のやる気向上や組織の適正化を図る。	採用試験による人材確保、人事異動によるキャリア形成、人事評価による職員の処遇及び育成、多様な人材が活躍できる職場環境の形成により、職場の活性化や活躍を推進するとともに、誰もが働きやすくなるよう、ワークライフバランスの向上が必要となる。	18,035	19,464	30,586	2精査・検証	職員の持つ能力やスキルを十分に発揮できるよう人事管理を行うとともに、育児休業、子育て休暇や介護休業等を取得しやすい環境を整備し、働きやすい職場環境を整備するため。	・優秀な人材確保のため、採用試験実施について、日程を前倒しするとともに、専門職については公務員試験対策不要のSPIを導入する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：福利厚生に要する経費	総務課			職員の福祉の増進および公務の能率的運営を目的として地方公務員法第42条に基づき、職員の保健、元気回復その他厚生に関する各種事業を実施し、心身の健康の維持増進等を図る。	職員の健康相談・ストレスチェック・定期健診・人間ドックの受診促進、地下休憩コーナーの運営継続・屋上喫茶室の在り方検討等により、引き続き福利厚生を図る必要がある。	10,002	9,138	11,672	2精査・検証	健康管理に関する事項は継続性をもって事業を進める必要がある	引き続き職員の健康相談・ストレスチェック・定期健診・人間ドックの受診をより促進することで心身の健康保持増進を図るとともに、展望喫茶室の在り方を検討する。
18	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：給与管理に要する経費	総務課			職員の給与・手当・共済費の計算・支出・管理・調査・適正化に関する事務を行う。	人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を図る必要がある。	2,882	2,348	2,053	2精査・検証	システム利用で給与等の事務処理は迅速に行えており、今後も事務効率の向上及び人件費の適正化を図る必要があるため。	人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を行う。
19	会計名：一般 款項目：2-5-1 事業名：統計事務に要する経費	総務課			関係機関から必要なデータを収集し、統計かまがやを市のホームページ等で公表する。	市の現状やこれからの動きがより把握しやすい統計情報の提供が求められる。	1,222	1,219	1,522	2精査・検証	必要性の高い統計情報をより利用しやすい形で提供する必要があるため。精度の高い情報の提供及び関係課からの情報収集を効率化するため。	市の統計情報について、市民や関係機関が利用しやすい提供手法等を引き続き検討していく。関係課からの情報提供の効率化、簡略化を検証する。
20	会計名：一般 款項目：13-2-5 事業名：特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立に要する経費	総務課			国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金として管理する。	基金の運用の仕方など、国（防衛省）等の方針の変更等がないか、適宜確認する必要がある。	66,426	60,669	60,668	2精査・検証	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金について、引き続き適正に管理していく必要があるため。有効な活用法について検討を要するため。	北関東防衛局の担当職員と密に連絡をとり、情勢の変化に速やかに対応できるようにする。基金の適正な運用について精査する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：一般 款項目：11-1-1 事業名：土木施設災害復旧に要する経費	企画財政課			予期しない災害等により被災した市が管理する土木施設の復旧作業に伴う予算の確保等を行うもの。	今後30年以内に70%の発生確率とされている首都直下型地震など、常に災害に対する準備は必要となっている。	0	0	3	2精査・検証	予期せぬ災害に対応するため確実に対応する必要があるため。	対応が必要となった場合に、適切な対応を図る。 発災時の国の財政支援制度や予算上の対応などについて、情報収集を行い、有事に備える。
22	会計名：一般 款項目：12-1-1 事業名：借入金元金償還金に要する経費	企画財政課			市債の借入に伴う元金償還を行うもの。	大規模事業で活用した市債の償還が令和7年度まで37億円台という高い水準で続くため、公債費の財源確保が必要である。	3,598,113	3,607,087	3,573,979	2精査・検証	公債費のピークは令和5年度を見込むものの、その後も令和7年度まで37億円程度の水準が見込まれるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、公債費の増に対応するため、計画的に減債基金を確保する。
23	会計名：一般 款項目：12-1-2 事業名：借入金利子償還金に要する経費	企画財政課			市債の借入に伴う利子償還を行うもの。	大規模事業で活用した市債の償還が令和7年度まで37億円台という高い水準で続くため、公債費の財源確保が必要である。また、日銀の政策変更などの影響により、利率が上昇傾向となっているため、注視する必要がある。	137,551	135,699	167,608	2精査・検証	公債費のピークは令和5年度を見込むものの、その後も令和7年度まで37億円程度の水準が見込まれるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、公債費の増に対応するため、計画的に減債基金を確保する。
24	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：企画事務に要する経費	企画財政課	○		効率的かつ持続可能な行政運営を推進するため、行政評価制度に基づき財源を重点的に配分するとともに、人材や資産を適正に配置する。 また、様々な機会を通じて積極的な情報発信により、市の認知度の向上を図る。	・将来のまちづくりに必要な財源確保のため、従来以上の歳入確保・歳出削減の取組が必要である。 ・少子高齢化などに伴う人口動向や市民ニーズを踏まえ公共施設の適正な保有量の把握が必要である。 ・市内外への情報発信として、名刺による市のPR、Instagramの投稿や動画の活用などを継続的に実施する必要がある。	5,334	6,254	9,780	2精査・検証	事務効率向上のため、議事録作成支援システムやAI-OCRの活用を継続的に推進するとともに、市内外への市の魅力の情報発信を強化するなど市の認知度向上を図るため。	従来以上の歳入確保・歳出削減の実現及びデジタル化を図るため、第3次行政改革推進プランの各取組みを推進する。また、Instagramや名刺、広告付封筒、クラウドファンディングなどを活用した市の認知度向上策を継続して実施する。また、市外を対象とした市の認知度アンケートを実施し、その結果をとりまとめ、各施策に活用する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
25	会計名：一般 款項目：13-2-4 事業名：ふるさと基金積立に要する経費	企画財政課			地域活性化事業等への財源を計画的に確保するため、基金に積立を行うもの。	ふるさと基金を活用し、新たな地域活性化事業を展開する必要がある。	55,001	3,002	1	2精査・検証	寄付額を増加させ、魅力発信や特産品等のPRに活用していくため。	本市が契約している事業者だけでなく、他の成果報酬型企業との契約についても検討を行う。
26	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：秘書事務に要する経費	秘書広報課			市長、副市長の公務にあたっての秘書業務及び栄典・表彰に関する事務等を行う。	市長、副市長が快適に効率よく公務を遂行できるよう、日程調整や急な公務の変更などに臨機応変な対応が求められている。また、市政功労表彰の表彰対象者について、庁内に制度の周知を図る必要がある。	2,281	2,465	3,436	2精査・検証	市長、副市長の公務のサポート役として、秘書事務の正確性をより向上させることが重要である。また、市政に功労のあった方への感謝の意を伝えるため、表彰事務を的確に執り行う必要がある。	・行事管理にあたっては複数でのチェック体制を徹底し、情報は係内で共有を図る。 ・市政功労表彰など表彰対象者の要件を確認し、的確に推薦事務を執り行う。
27	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：契約事務に要する経費	契約管財課			契約事務の透明性、中立性及び公正性を確保するため、各種法令のほか、本市の要綱、規程等に基づき事務を執行することにより、適切に契約の相手方となる者を選定するとともに、その選定の過程に係る市民への説明責任を果たす。	成果指標は順調に推移している中で、引き続き、国の制度改革等を踏まえた本市の制度の見直しを行うとともに、事業者や職員の更なる事務負担の軽減等を目的として、入札・契約事務のデジタル化の推進を図っていく必要がある。	5,125	5,011	4,594	2精査・検証	更なる事業者の負担軽減等を目的として、電子契約や契約管理システム導入など、入札・契約事務のデジタル化を推進していく必要があるため	・契約主管課が行う契約事務を法令や本市の要綱等に基づき適正に実施する。 ・国の制度改革等の情報収集及びその情報を踏まえた本市の制度改革の検討 ・令和6年度は、各システム業者の説明会（オンライン含む）への参加や、導入済みの市への視察を行うなど、契約事務のデジタル化や電子契約導入に向けた情報収集を行う。
28	会計名：一般 款項目：2-2-1 事業名：市税の賦課等に要する経費	課税課			地方税法及び市税条例に基づき納税義務者にとって、公平公正な税負担とするため適正な課税を実施する。	正確かつ効率的・効果的な実施のために、今後も課税客体の捕捉を推進していく必要がある。	11,587	11,706	12,580	2精査・検証	毎年度の税制改正に関する情報収集を行うとともに、新たな制度や制度変更の把握及び条例の改正を行っていく必要がある。	税制についての情報収集・意見交換を行うため、各種研究会等に積極的に参加し、職員の税務知識の向上を図るとともに、税務行政についての調査研究を行い、複雑化する税制に対応していく。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
29	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：市民税課税事務に要する経費	課税課	○		確定申告時期における課税資料の分類、整理及び入力を行い個人市民税の当初課税を適正に行う。また複雑化する税制度に対応できるよう税務の研究や他市との情報交換や課題研修を行う。	税務行政について調査研究を行い複雑化する税制度に対して対処する必要がある。 また、申告受付から納税通知書発送時までの間に事務が集中するため、会計年度任用職員等を活用し事務の効率化を図る必要がある。	56,451	57,698	76,087	2精査・検証	毎年度、各所から提出される課税資料を正確に把握・分類・入力を行うとともに、令和5年度の確定申告相談会において予約制度を導入したことで、寄せられた意見を参考に改善策を講じる必要がある。	令和5年度から、確定申告における予約制度を導入したが、運用に際して様々な意見が寄せられたため、令和6年度については改善策を（電話回線の増加、フリーダイヤルの導入等）講じた上で実施する。
30	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：諸税課税事務に要する経費	課税課			軽自動車税や法人市民税等を課税するため、軽自動車税は車両登録や廃車等の処理を行い課税する。また、法人市民税は、法人の登録や調査等を行い、申告や実態調査に基づき課税する。	軽自動車税は、転出や再転入等の異動が多いため、納税義務者を適正に把握する必要がある。 法人市民税は、未申告である法人に対して実態調査を行い、申告指導のうえ、適正な課税を行う必要がある。	11,569	9,548	20,740	2精査・検証	関係機関等との連携を密にして、円滑な税務運営により、課税客体を適正に把握する。また、公平・公正な課税となるよう税制改正等に対応し、常に見直しをしていく必要がある。	・引き続き、関係機関等との連携を密にして、円滑な税務運営により、軽自動車税を賦課する。 ・法人の実態把握や申告指導を進め、法人市民税を賦課する。 ・システム標準化に向けた、必要なシステム改修を行い、利便性の向上や事務の効率化を図る。
31	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：税務地図情報システムに要する経費	課税課	○		固定資産の異動の把握のため、航空写真、地図、課税台帳等と関連する各種データを加工・管理し表示するシステムにより、視覚的に確認し、課税客体を正確に把握することで適正な固定資産の評価につなげる。	固定資産の異動によるシステムの更新を引き続き行い、正確性を維持し、適正な課税に努めていく。	26,498	24,622	25,401	2精査・検証	航空写真、地番図・家屋図、課税データ等を整備する必要があり、必要に応じて改善することで、課税客体を正確に把握し、評価・課税の適正化を図る必要があるため。	・システムや確認方法の改善を検討し、課税客体の補足の精度を向上させる。 ・評価の精度向上のため、引き続き地図情報システムの習熟や改善を図る。
32	会計名：一般 款項目：2-2-1 事業名：市税の徴収等に要する経費	収税課	○		法令に基づき公正かつ公平な市民負担の確保と債権の適正な管理のため、市税の徴収に必要な滞納整理（督促、催告、納付相談、猶予及び滞納処分）を行い、徴収率の向上及び収入未済額を縮減させるもの。	一時に納付が困難な滞納者に対して適正な猶予の適用及び納付管理。 分納不履行者に対しての速やかな差押等の実施。	9,128	10,907	14,774	2精査・検証	引き続き、効果的な財産調査や差押の手法の研究、事務の迅速化や効率化を行うことで、徴収率向上及び収入未済額を縮減していく必要があるため。	1 pipitLINQを引き続き活用し、預金調査及び差押執行を迅速化する。 2 公売可能な不動産、動産について、インターネットによる公売又は千葉県による合同公売を実施する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
33	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：徴収事務に要する経費	収税課			期限内納付推進のため、納付方法等、納税書の利便性を高めていくとともに市税の徴収に必要な収納管理を行う。	令和5年度から各種納付書に地方税統一QRコードが印字され、窓口納付の対応可能な金融機関が増えるとともに、スマホ決済アプリやクレジットカードでの納税が可能となり、納付機会の拡充が図れる。	87,997	94,537	98,152	2精査・検証	地方税統一QRコードによる納付にあたり、納税者の利便性は向上しているが、収納方法の一部に納付日から計上日まで1ヶ月程度の期間を要するものがあり、徴収率への影響について検証する必要がある。	市県民税特別徴収及び法人市民税の再発行納付書、督促状及び催告書に地方税統一QRコードの導入や、Web口座振替受付サービスの導入など、更なる市民サービスの拡充を図る。
34	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費	市民課	○		法定受託事務として、次の事務を行う。 ・戸籍事務 ・住民基本台帳事務 ・マイナンバーカードに関する事務 また、キャッシュレス決済サービスなどの推進により、事務の効率化と利用者の利便性の向上を図る。	国の補助金を活用して実施する戸籍、住民基本台帳及び印鑑登録を管理するシステムの標準化について、国から示されるスケジュールや仕様に合わせてシステムベンダーと作業スケジュールを調整し、当初や補正で予算を確保していく必要がある。マイナンバーカードについては、交付のピークは越えた一方で、5年に一度の電子証明書の更新、制度の開始当初に取得した者の更新対応をしなければならぬと共に、保険証のマイナンバーカードへの移行に伴う、特急発行も開始される。キャッシュレス決済サービスについては、利用割合が増加している。	99,544	103,970	129,119	2精査・検証	戸籍事務及び住民基本台帳事務におけるシステム標準化に着実に対応する必要がある。マイナンバーカードについては、引き続き交付率の向上を図ると共に、更新手続きや特急発行に対応する必要がある。キャッシュレス決済サービスについては、引き続き利用割合の向上を図る。	・戸籍システム及び附票システムの振り仮名導入 ・マイナンバーカードの特急発行 ・自動釣銭機の改刷対応
35	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：住居表示事務に要する経費	市民課			建物等新築届及び住居番号の変更等の届出に基づき、住居表示を付番し、住居表示台帳図を作成、閲覧に供する。	正確な事務処理を行い、利用者の利便性の向上を図る。なお、建物等新築届等の受付件数は近年高い水準で推移しており、しばらくその傾向が続くものと見込まれる。	97	108	100	2精査・検証	件数の多寡に関わらず、事務の水準を一定以上に保つ必要がある。	これまでの事務水準は維持しつつ、事務処理の正確性と迅速性を向上させる。
36	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：旅券事務に要する経費	市民課			鎌ヶ谷市民だけではなく、県内在住者も含め、旅券の申請受理、交付を行う。	旅券事務の正確性を保ち、不正取得がないよう事例研究を行い、申請者の利便性向上を図る。令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、日本人の海外渡航も増加し、旅券業務も今後増えると見込まれる。	20,583	40,703	53,563	2精査・検証	多くの申請があった場合も事務処理の正確性を保ち、不正取得がないよう事例研究を行い、職員の受付・交付スキルを更に向上させる。	令和6年10月1日から旅券の電子申請を導入し、申請し易い環境を整備する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
37	会計名：一般 款項目：2-4-2 事業名：選挙啓発に要する経費	選挙管理 委員会事 務局			政治参加の重要な方法の一つである選挙について、有権者に重要性を認識してもらい、投票意識の高揚を図る。	各種選挙において、若年層の投票率が低い。	336	431	457	2精査・検証	有権者の選挙への関心が高まるよう、より効果的な啓発事業を実施するよう改善を図っていく。	他市における先行事例について調査・研究し、模擬投票や出前授業の実施等について検討する。
38	会計名：一般 款項目：2-6-1 事業名：監査委員事務局の運営に要する経費	監査委員 事務局			定例監査、例月現金出納検査及び決算審査・財政健全化審査を行う。	事務の合理化、適正化及び効率化といった視点に立った監査を執行すること。	1,431	1,366	1,488	2精査・検証	地方自治法で定められているため。	監査対象事務の問題点を把握し、効率的・合理的な行政運営を図れるよう、監査を実施していく。
39	会計名：一般 款項目：1-1-1 事業名：議会事務局の運営に要する経費	議会事務 局			市議会の適正かつ円滑な運営のため、本会議や委員会の開催、委員会の所管事項に係る調査、会議録の作成、議会だよりの発行などを行う。	・地方分権がより一層進む状況のなかで、引き続き議会活動等の透明性の確保やその内容を広く周知すること及び新たな政策提案が求められている。 ・議会中継システムについて、令和7年10月末までの契約となることから更新やリプレイスについて検討する必要がある。 ・効率的かつ効果的な議会運営の一環として、オンライン会議等のICT化の推進を図る必要がある。	24,914	26,135	41,235	2精査・検証	・より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続きICT化や会議録作成に必要な機器の導入に係る検討を行う必要があるため。	・委員会室のマイクシステムについて、リプレイスを行う。 ・オンライン会議の実施について、「議員のみ参加」の議会だより編集委員会については、今後も試行を重ねながら、導入に向けた調整を行う。 ・「議員・職員への参加」となる会議へのオンラインの導入については、議員との協議が必要なことから、国や他市議会等の動向を確認しながらその方向性について、関連課と協議を行う。
40	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：マイナポイント事業に要する経費	企画財政 課			マイナンバーカードを取得し、所定の手続きを行った者に対してポイントを支給するマイナポイント事業について、パソコンが不慣れな利用者のために、事業終了までの間、設定支援ブースを設置し、パソコンや支援員を配置してマイナポイントの設定支援を行うもの。	マイナポイント取得のためのマイナンバーカード申請期限が令和5年2月末へ延長するとともに、マイナポイント付与期間も令和5年9月末へ延長した。 設定支援の他、継続的に付与確認のための問合せ対応が必要であるだけでなく、事業終了後のマイナポータル支援が必要である。	26,810	21,785	0	3縮小・統合	マイナポイント設定支援ブースは、国のマイナポイント事業開始から設置していたが、令和5年9月末をもってマイナポイント事業が終了するため。 マイナポイント事業は終了したが引き続き、マイナポータル支援窓口は設置する必要があるため。	引き続き保険証の設定などマイナポータルに関する支援を実施する（企画事務に要する経費）。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 財政の健全化及び行財政改革の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
41	会計名：一般 款項目：2-4-1 事業名：選挙管理委員会事務局の運営に要する経費	選挙管理委員会事務局			選挙を適正に執行するため、選挙人名簿について法及び関連規定に基づく登録事務及び抹消事務を行い、適正に管理する。	選挙人名簿の管理方法が簿冊管理である。	4,495	4,557	9,987	3縮小・統合	本市の基幹系業務システム標準化基本方針に基づき、令和6年度は選挙人名簿管理に係るシステム標準化対応支援業務を実施する。	選挙人名簿管理に係るシステム標準化対応支援業務を電算管理業者への委託事業として実施する。
42	会計名：一般 款項目：2-4-3 事業名：千葉県議会議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。	事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費節減に努める。	9,784	20,818	0	4終了・廃止・休止	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引き続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を行う。
43	会計名：一般 款項目：2-4-4 事業名：市議会議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。	事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費節減に努める。	181	48,754	0	4終了・廃止・休止	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引き続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 公共施設の適正な管理運営の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁舎管理に要する経費	契約管財課			市庁舎における公務の円滑適正な管理執行を目的として、市庁舎における秩序の維持及び使用の規制並びに災害の防止その他市庁舎の保全に関する必要な事務を行う。	市庁舎の施設、設備等の老朽化が進行しており、市民の利用や執務の実施に支障が生じないよう、適切な管理を行い、計画的に修繕を実施していく必要がある。	128,316	130,970	155,046	1拡大・拡充	施設の老朽化に対応した修繕等（非常放送設備、給排水管、受水槽等）、地球温暖化対策の推進に向けた照明のLED化を実施していく必要があるため。	・市庁舎の照明のLED改修工事の実施及び他の公共施設分の全体状況の把握を行う。 ・庁用車駐車場及び利用者駐車場の整備を行う。
2	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：市庁舎改修等事業	契約管財課	○	○	市庁舎の施設、設備等を適切に維持管理するため、使用開始から一定の年数を経過したもの、修繕の回数が増えているもの等に関し、計画的に改修を行い、施設の長寿命化を図る。	施設や設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化を図るためには、緊急度等を勘案し、計画的に改修等を実施していく必要があるとともに、改修等の実施にあたっては、休館等ができないため業務に支障が生じないよう、一定の配慮を行う必要がある。	1,524	42,868	180,183	1拡大・拡充	市庁舎の建設から45年以上が経過しており、長寿命化を図るためには、今後も給排水設備や受水槽、外壁・屋上防水等の改修を行っていく必要があるため。	・市庁舎の照明のLED化については、令和5年度に行った実施設計を基に改修工事を行う。
3	会計名：一般 款項目：8-1-3 事業名：施設建設監理に要する経費	建築住宅課	○		他課から依頼を受けて行う営繕業務	厳しい財政状況を反映して改修工事のサイクルは伸びてきているが、施設の老朽化に対する改修は必須であり、今後も継続していく。	1,191	957	964	1拡大・拡充	市民サービスの維持、向上を図る為には適正な施設管理、改修が必要。	脱炭素化など施設改修の依頼事業が多く、また、その他にも修繕についての相談も多いことから、施設点検等積極的に事前調整を行うと共に、安全、適切な工事監理を実施する。
4	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：企画事務に要する経費	企画財政課	○		効率的かつ持続可能な行財政運営を推進するため、行政評価制度に基づき財源を重点的に配分するとともに、人材や資産を適正に配置する。 また、様々な機会を通じて積極的な情報発信により、市の認知度の向上を図る。	・将来のまちづくりに必要な財源確保のため、従来以上の歳入確保・歳出削減の取組が必要である。 ・少子高齢化などに伴う人口動向や市民ニーズを踏まえ公共施設の適正な保有量の把握が必要である。 ・市内外への情報発信として、名刺による市のPR、Instagramの投稿や動画の活用などを継続的に実施する必要がある。	5,334	6,254	9,780	2精査・検証	事務効率向上のため、議事録作成支援システムやAI-OCRの活用を継続的に推進するとともに、市内外への市の魅力の情報発信を強化するなど市の認知度向上を図るため。	従来以上の歳入確保・歳出削減の実現及びデジタル化を図るため、第3次行財政改革推進プランの各取組みを推進する。また、Instagramや名刺、広告付封筒、クラウドファンディングなどを活用した市の認知度向上策を継続して実施する。また、市外を対象とした市の認知度アンケートを実施し、その結果をとりまとめ、各施策に活用する。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 公共施設の適正な管理運営の推進】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：工事検査に要する経費	契約管財課			本市が発注した工事の品質確保を目的として、鎌ヶ谷市工事検査要領に基づく、工事検査業務を適正に実施する。	発注した工事の品質の確保には、引き続き、本市の要領に基づき、適切に工事検査を実施する中で、効果的かつ効率的な工事検査の実施に向けて、国や県などの新たな取組等の情報を収集する必要がある。	456	532	614	2精査・検証	引き続き、品質の確保に向けて、適切に検査事務を実施していく必要がある中で、国や県の取組等の情報収集に努める。	・品質の確保に向けて、引き続き、工事検査要領に基づく、検査事務を実施する。 ・国で進めているICTの活用、県で進めている検査書類のスリム化など、発注者及び受注者の双方にとってメリットが高いと思われる取組の検討を行う。
6	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：財産の取得等に要する経費	契約管財課			本市が保有する普通財産に関して、除草など適正な管理を行うとともに、遊休土地にあっては売払いなど有効活用を図っていく。	引き続き、防草シートの設置など適正な管理に努めていく必要があるとともに、小規模など売却に適さない用地に関しては、広告付き看板の設置など、売却以外の有効活用を検討する必要がある。	8,470	2,447	2,351	2精査・検証	引き続き、除草等の維持管理や売却に向けた看板設置を行っていくが、売却以外の有効活用策として、広告付き看板の設置を検討していく中で、屋外広告物の規制等を把握した上で、実施の可否を検討する必要があるため。	・引き続き、鎌ヶ谷二丁目の用地売却に努める。 ・小規模な用地の有効活用として、広告付き看板を設置するため、県の有料広告の取扱いの調査、他の自治体の事例の把握等を行う。
7	会計名：一般 款項目：13-1-1 事業名：用地借上に要する経費	契約管財課			県立鎌ヶ谷高等学校用地及び通学路用地について、学校の使用等に支障が生じないよう、地権者からの用地の借上げを行う。	県立鎌ヶ谷高等学校用地については、借地部分があるため、安定的に使用できるよう、引き続き、地権者と協議し、用地購入に努めていく必要がある。	1,676	1,676	1,677	2精査・検証	県立鎌ヶ谷高等学校の用地が安定的に使用できるよう、引き続き、用地の購入に向けて地権者と協議を継続していくため。	* 県立鎌ヶ谷高等学校用地については、定期的に地権者と協議を行い、地権者側の状況が整った段階で、購入の手続きを行う。 * 通学路については、引き続き、借地での契約の手続きを行う。

令和6年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）【施策 行政情報等の積極的な発信】

No.	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和6年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-3 事業名：広報に要する経費	秘書広報課	○		市民生活に必要な情報を提供し、市政への理解と協力を得るために広報紙を発行し、併せて市ホームページ等で行政情報を更新する。	広報紙については、より多くの市民が閲覧できる環境（配布方法、配置場所等）の整備を要する。市ホームページ等については、ウェブアクセシビリティの向上、情報発信の充実を図る必要がある。	26,157	28,098	30,058	2精査・検証	広報紙の毎月1日及び15日の発行を安定的に継続するとともに、広報紙の配布方法、配置場所については引き続き検証が必要なため。また、市ホームページについては、次の長期継続契約について検証する必要があるため。	広報紙の配置場所について、新たに市内の店舗等（高齢者施設）へ働きかけを行い拡充を図る。市ホームページについては、次回の契約更新時に向けて、引き続き、見直すべき事項等の洗い出しを行う。
2	会計名：一般 款項目：2-1-3 事業名：市公式LINE情報発信事業	秘書広報課	○	○	新型コロナワクチン接種の予約に使用していた市公式LINEアカウントを活用し、効果的なプッシュ型の情報発信を行うもの。	・行政情報の発信ツールとして、より便利なものに発展させていく必要がある。 ・ワクチン接種予約で蓄積されていた友だち登録者数を維持、さらに増やしていくため、PRを図っていく必要がある。	2,226	3,920	2,469	2精査・検証	市民にとって重要な行政情報の発信を行い、重要な情報発信ツールとして定着させるため。また、より便利な情報発信ツールとするべくメニュー画面やチャットボットの見直しを行っていく必要があるため。	市民にとって有益な情報がコンスタントに発信できるよう、各所属と調整を図る。また、各所属へ働きかけを行い、チャットボットやメニューボタンの見直しを図る。